

学習院大学史料館所蔵史料目録 第23号

## 常陸国下館藩家老牧家資料目録

学習院大学史料館

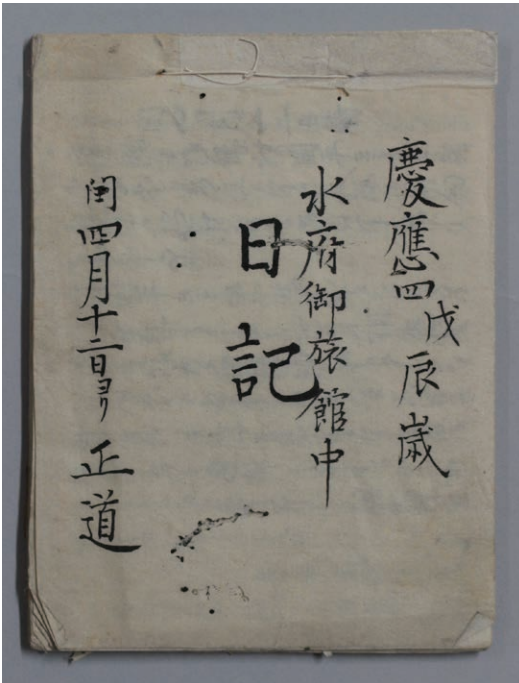
学習院大学史料館所蔵史料目録 第23号

## 常陸国下館藩家老牧家資料目録

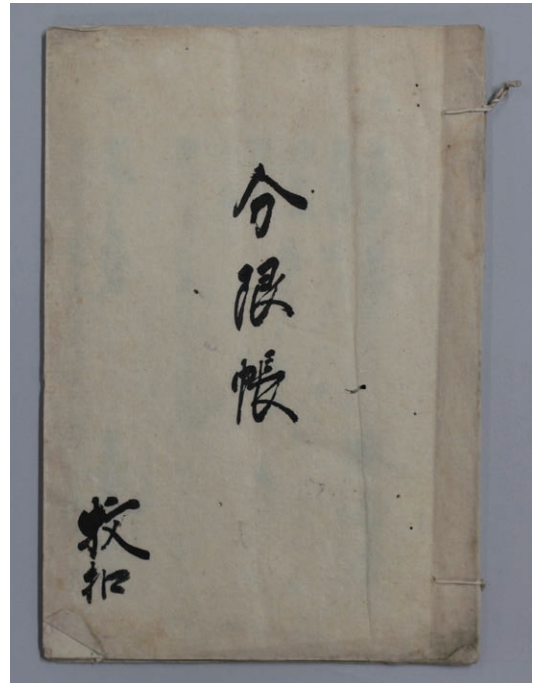
# 凡 例

- 一、本目録は、常陸国下館藩家老牧家資料の目録である。同書掲載の資料群は、学習院大学史料館が所蔵する（伝来については解説を参照）。
  
- 一、本目録は、昭和63年（1988）に刊行された『常陸国下館藩家老牧家文書目録』（学習院大学史料館編）に、新たに寄贈された資料を追加して再編集したものである。なお、今回再編するにあたっては資料番号や表題などを変えている。
  
- 一、古文書資料は【資料番号】・【マイクロ】・【年代】・【表題】・【差出・作成】・【宛名】・【形態】・【数量】・【備考】の順に記載した。
  
- 一、マイクロフィルムがある場合は、マイクロ欄に◇印で示し、原資料はなく、マイクロフィルムのみ所蔵するものは◆で示した。
  
- 一、[文書の分類] 文書は主題分類（A～M）を施し、分類ごとに編年することを原則とした。ただし、各分類の下にさらに同じ主題どうしを集めた場合には（A下館藩a～dなど）細かく分けて編年した。
  
- 一、[文書の年代・編年] 表紙あるいは文書末尾箇所に記されたものを年代として採録した。ただし、文書の内容等から年代が推定できる場合には（ ）を付した。また文書の差出人、受取人等の没年が判明する場合には没年を基準として編年した。  
年不詳であっても明らかに近世のものである場合には慶応四年（1868）以前に置いた。  
[A－d下館藩儀礼書状の編年] 受取人である牧家の当主順で編年を行った。当主が特定できない場合は後においた。当主ごとでは差出人により
  - ①石川（下館藩主）家当主順
  - ②それ以外は五十音順とし、それぞれのグループ内で編年を施した。そのため編年が崩れた点がある。  
[H－b書簡近代の編年] 受取人である牧家の当主順（牧正道、牧正寛）で編年を行った。そのため編年が崩れた点がある。
  
- 一、[文書名] 表紙、表題に記されたものを採録した。ただし、表紙、表題がないもの、表題だけでは内容が不明瞭なものなどは、目録作成者が必要に応じて（ ）で補った。

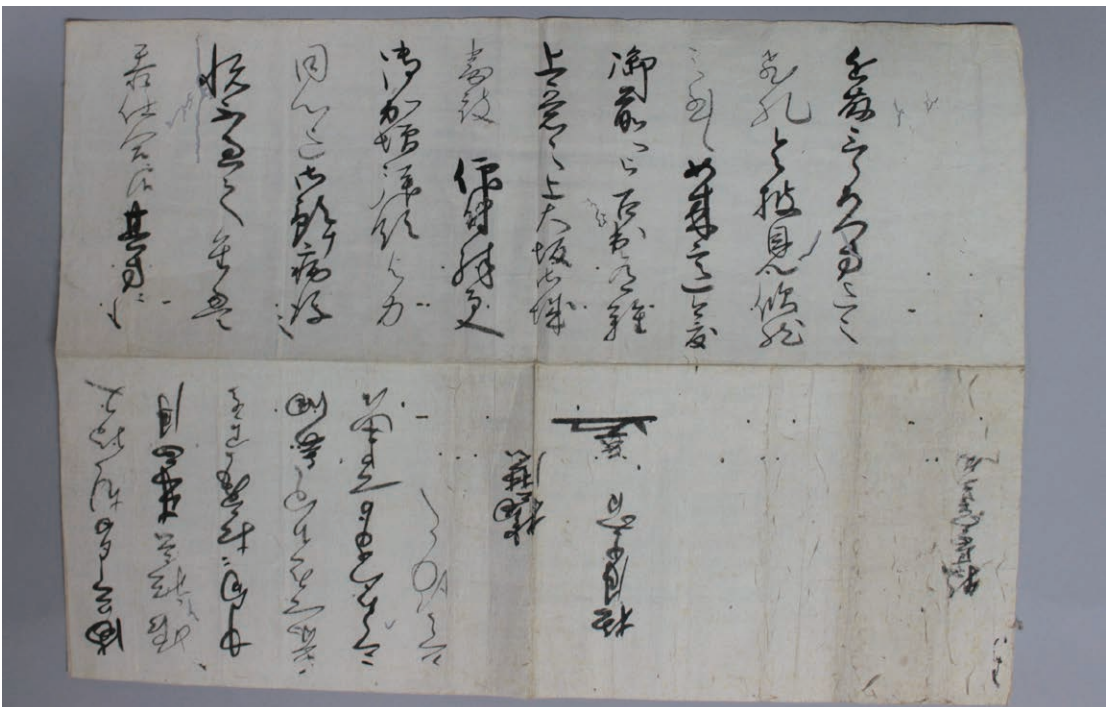
- 一、[文書の差出人（作成者）・受取人（宛名）] 文書の末尾箇所に記された差出人・受取人、あるいは表紙に記された作成者を採録した。ただし、文書の内容等で差出人・受取人が推定できる場合には（ ）を付して記した。
  
- 一、[形態] 主に、縦帳、横帳、横半帳、状（縦紙・継紙）、絵、絵図、短冊、折本、綴、巻物、写真、名刺、地図、服章に分けた。ただし包紙（封筒）のあるものは、その旨を記し、「包紙」・「封筒」・「包」とそれぞれに記載した。
  
- 一、[数量] 備考に「包紙とも」「封筒とも」等とある場合は、それらを含めた数を記した。
  
- 一、虫損、破損はその状態により、□・□□で示した。
  
- 一、モノ資料は【資料番号】・【年代】・【表題】・【落款】・【印】・【法量】・【形態】・【数量】・【備考】の順に記載した。
  
- 一、絵画・書の法量は、原則、全体の縦×横（cm）を記した。それ以外のモノ資料の法量の記載は、資料ごとに異なる。
  
- 一、モノ資料の落款・印章が判明しているものについては記し、未判別のもの是有無のみで記した。
  
- 一、昭和63年刊行の目録は、主に長佐古美奈子（当館学芸員）が作成にあたった。その後、新たに寄贈を受けた文書部分を追加し、改めて野尻泰弘（当館元助教）が再編集を行った。本目録作成に関しては、柳澤恵理子（当館助教）が統括し、小口康仁（当館リサーチ・アシスタント）、高山征季（学習院大学大学院博士前期課程）、阿部亜由美（学習院大学文学部哲学科）が協力した。新規資料のうち、主にモノ資料に関しては、池田宏氏（学習院大学非常勤講師）、中嶋諒氏（当館客員研究員）、田中潤氏（当館EF共同研究員）の協力を得た。文書部分については長佐古・野尻分をそのまま踏襲している部分もある。



① 「水府御旅館中日記」  
[資料番号 1-A-a-83]



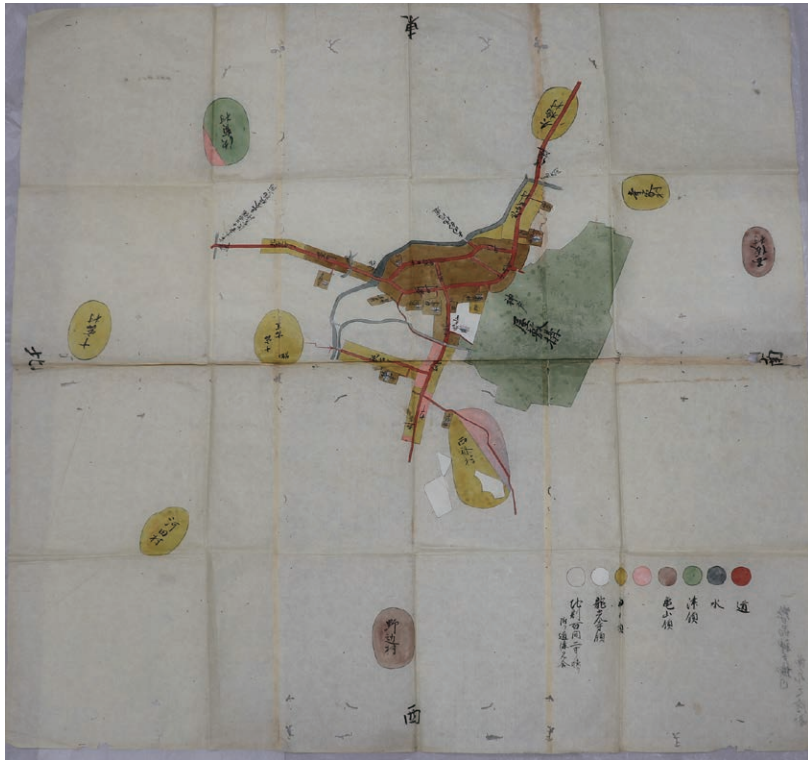
② 「分限帳」  
[資料番号 1-A-b-2-1]



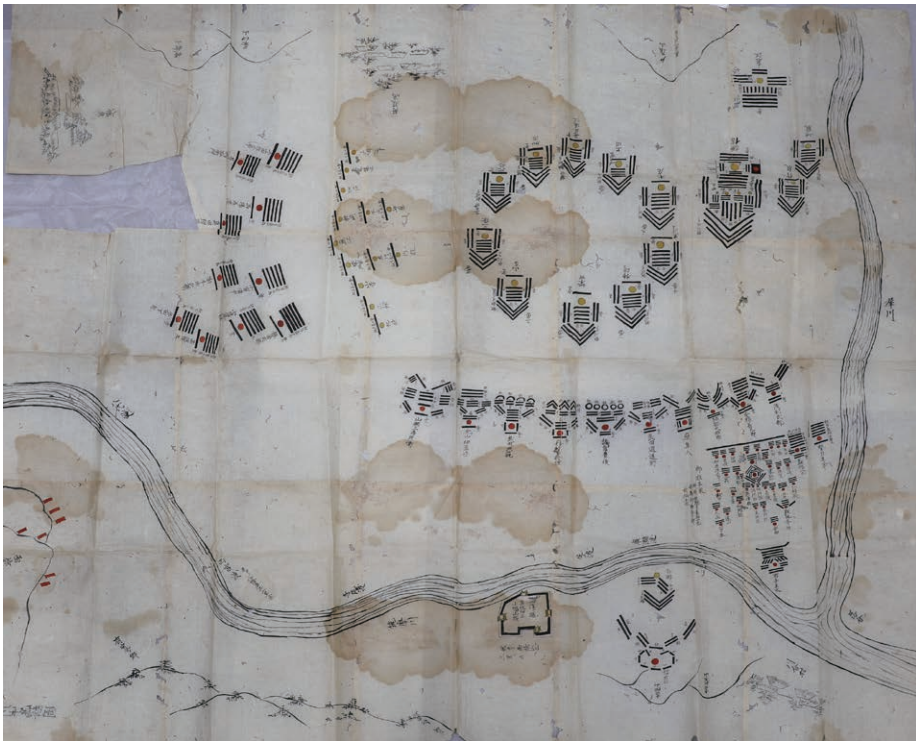
③ (書状、大坂勤番を仰せ付けられ加増を受けた旨)  
[資料番号 1-A-d-1]







⑥ 勢州神戸城内堀外之絵図 [資料番号 1-J-a-1]



⑦ 川中島合戦図 [資料番号 1-J-a-16]









⑨ 伝土佐光芳筆「柿本人麿図」  
[資料番号 2-A-12]



⑩ 「薄紫糸威二枚胴具足」  
[資料番号 2-B-1]

(第13紙)

(第12紙)



(第17紙)

(第16紙)



(第21紙)

(第20紙)



(第25紙)

(第24紙)



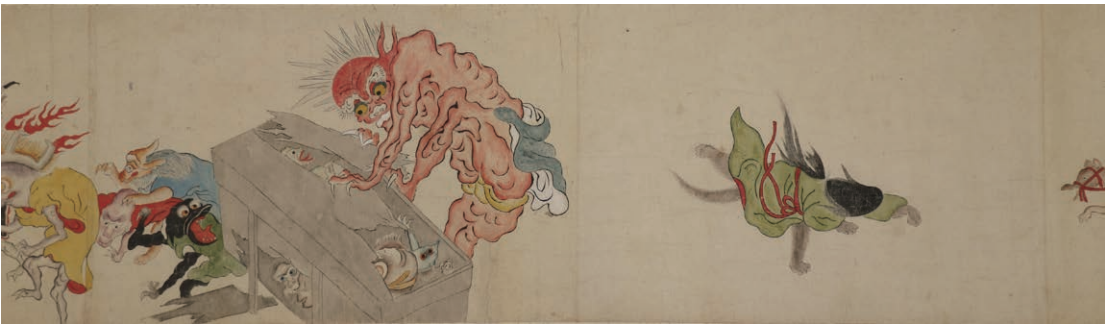
(第11紙)

(第10紙)



(第15紙)

(第14紙)



(第19紙)

(第18紙)



(第23紙)

(第22紙)





⑪ 「百鬼夜行絵巻」 [資料番号 2-A-1]

(第3紙)

(第2紙)

(第1紙)



(第5紙)

(第4紙)



(第7紙)

(第6紙)



(第9紙)

(第8紙)





# 目 次

1. 古文書	
A. 下館藩	14
a. 藩政	14
b. 家臣	24
c. 財政	26
d. 儀礼	26
B. 系図・親類書	60
C. 冠婚葬祭	64
D. 炮術・武術	66
E. 家計	72
F. 養蚕	82
G. 日記	82
H. 書簡	82
a. 近世	82
b. 近代	84
I. 教育関係	90
J. 学芸・宗教	98
a. 絵図	98
b. 詩歌	102
c. その他	104
K. 東京帝国大学史料編纂掛	110
L. 書籍	112
M. その他	112
2. モノ資料	
A. 絵画・書	130
B. 武器・武具	134
C. 装束	136
D. その他	138
解説	140
家系図	147

# 常陸国下館藩家老牧家資料

## 1. 古文書

### A. 下館藩

#### a. 藩政（触・法制）

資料番号	マイク	年代	表題
A-a-1	◇	(寛文元年以前)9月2日	(書状、公儀からの書付写・「其元役人」の書付を送った旨)
A-a-2	◇	貞享2年9月	御意之覚（神戸城地で「俄事」のときに不調法のないよう常々心懸けるべき旨、江戸で変事があった場合下知なくして下向すべからざる旨)
A-a-3	◇	享保3戌年閏10月28日	新金銀ヲ以当戌ノ十一月ヨリ通用可仕覚（「新金銀引替之法」など11条)
A-a-4	◇	元文元年5月	覚（世上金銀不足につきこのたび金銀吹改の旨、慶長金・乾字金等と取り混ぜ滞りなく通用すべきことなど5条)
A-a-5	◇	元文元辰年5月	此度金銀引替之儀来月十五日ヨリ金銀座にて引替候間可得其意候（為替両替之者に申しつけ金銀引替をすることなど、2条。駿河町泉屋三右衛門など「金銀取集候右為替之者」10名を記す)
A-a-6	◇	安永8年4月	寛保三亥年二月御触（寛保3年の親類等による出奔人届出について触、宝暦4年の「惣而御咎被仰付候者一類差控伺差出候覚」、「戊七月廿九日堀田相模守様御渡候御書付」を記す)
A-a-7	◇	安永8年5月27日	宝暦九己卯年十一月廿八日堀田相模守様御渡被成候御書付池田筑後守様より被成御達候写左之通（母出奔跡其子相続につき)
A-a-8	◇	天明6年10月23日	(老中より達し、御三家登城の上老中ら御叱りの記事。閏10月5日田沼主殿頭二万石収公・大坂蔵屋敷・居屋敷引払につき)
A-a-9	◇	天明7年7月1日	天明七丁未七月朔日被 仰出御書付之写（「有徳院様御代之通」精勤すべき旨の上意書付写、「阿部伊勢守殿御達候御書付写」、「松平越中守殿御達候御書付写」)
A-a-10	◇	天明8年4月2日	越中守殿弾正大弼殿松田小兵衛ヨリ御渡被成候御書付之写
A-a-11	◇	天明8年6月	牧野備後守殿御渡候御書付之写（小堀和泉、不正・不行跡につき、領知召し上げ、身柄お預け)
A-a-12	◇	天明8年7月	松平越中守殿御渡候御書付写式通（領中産物献上について、凶作・米価高につき家中在府人数を減らすべき旨)
A-a-13	◇	天明8申年12月18日	松平越中守殿御代官へ被達候書付之写（百姓が髪・服装を分相応にするよう教諭すべき旨の達書)
A-a-14	◇	寛政元年2月17日	寛政元二月十七日越中守殿被仰渡候御書付写（奥医師へ医業出精すべき旨の達書、加納遠江守への請書)
A-a-15	◇	寛政元年3月	松平越中守殿御渡候御書付写（菓子・火事羽織頭巾など7条につき、結構なる品の売買を停止する旨の達書)
A-a-16	◇	寛政元年3月	寛政元年西三月松平越中守殿御鷹匠方江御達被成候御書付写（鷹野の趣意・鷹場の農民につき)
A-a-17	◇	寛政元年3月	大坂ニ而之御触書写（貸金銀につき、連印は五七人・三四ヶ村に限るべき旨ほか1条)
A-a-18	◇	寛政元年4月22日	(松平陸奥守勝手不如意につき御前貸金上納延期などにつき)
A-a-19	◇	寛政元年6月	松平伊豆守殿御渡候御書付写（隠鉄砲所持・発砲者を出訴すべき旨、鉄砲改帳の取調・差出につき)
A-a-20	◇	寛政元年6月	牧野備後守殿御渡候御書付写（諸大名留守居不慎につき)
A-a-21	◇	寛政元酉年6月	牧野備後守殿御渡候御書付写（諸大名留守居不慎につき)
A-a-22	◇	寛政元年9月16日	西九月十六日 初鹿野河内守様・池田筑後守様御番所二而 町年寄三人・御用達町人七人出席 札差蔵宿共江被仰渡候御書付写（棄捐令)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石播磨守（花押）	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	端裏書：「安永八亥四月／高木殿江戸勤番之節信左衛門へ被聞合之由、同人扣之写」
		状、継紙	1	端裏書：「安永八年五月廿七日 便り／有田氏ヨリ奥山氏江自分書状ニ申来ル書付之写シ」
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
	(大目付江)	状、継紙	1	
(土井能登守内 真鍋彦五郎)	御詰衆（大目付江）	状、継紙	1	端裏書：「天明八申ノ年公儀被仰出書写」
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	「御医師江御達書」
	御詰衆（大目付江）	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
(小田切) 石見守（直年）・(松平) 土佐守（貴弘)		状、継紙	1	
	松平陸奥守 名代 有馬兵部 大輔	状、継紙	1	
	御詰衆（大目付江）	状、継紙	1	端裏書：「寛政元西六月」
	御詰衆（大目付江）	状、継紙	1	端裏書：「寛政元西六月」
	御詰衆（大目付江）	状、継紙	1	
		状、継紙	1	端裏書：「寛政元酉年九月被仰出書写シ」

資料番号	マイク	年代	表題
A-a-23	◇	寛政元年9月	松平越中守殿御渡候御書付写三通（1万石につき50石の割合を以て領内固穀すべき旨）
A-a-24	◇	寛政元年9月	（5ヶ年間の儉約令）
A-a-25	◇	寛政元年9月	牧野備後守殿御渡候御書付写（留守居組合寄合を停止すべき旨）
A-a-26	◇	寛政元年11月	牧野備後守殿御渡候御書付写（綿実問屋・仲買差し止めの触）
A-a-27	◇	天保8年3月3日	（「御補佐」への任命書）
A-a-28-1	◇	文久2年	土屋采女正様牧野遠江守様ヨリ御廻達相成候御書付口上（攘夷勅使の件の両脚達書・諸藩へ上意の書付・官位一等辞退の上意老中口達・田安大納言官位一等辞退および隠居願の達書）
A-a-28-2	◇	12月	（達書、水戸家へ勅諭につき諸向へ）
A-a-29	◇	卯年10月	覚書（10月1日～29日の公務関係日記）
A-a-30	◇	未年8月	万石以下御旗本之面々江申聞候覚（衣服等につき儉約令、7条）
A-a-31	◇	7月	阿部伊勢守殿御渡候御書付写（文武師範の名前・流儀を書き出すべき旨）
A-a-32	◇		御老中様方被仰合書付之写（着服規定、4条）
A-a-33	◇		大目付・御目付 江渡候相達候書取
A-a-34	◇		久名尻夷大將月之位による一揆の企てにつき書付
A-a-35	◇		御定書目録
A-a-36	◇		御仕置大概評定所掛看板御文言

a 藩政（勤役・軍役）

資料番号	マイク	年代	表題
A-a-37	◇	寛文3年4月	日光御社参記
A-a-38	◇	延宝8年8月23日	將軍宣下規式
A-a-39	◇	享保18年	式万石御軍役行列
A-a-40	◇	寛延4年閏6月10日	大御所様御出棺御行列次第書
A-a-41	◇	天明8年9月13日	日光御参駕御往来之覚書
A-a-42	◇	天明8年9月	日光御門主様江被遣候御樽肴参候節之一件扣
A-a-43	◇	天明8年9月	（日光）御祭礼御奉行被成御勤候節□□御帰府迄手扣之写、其外□□被罷出
A-a-44	◇	文久3年2月	寛永三丙寅年九月家光公御上洛御供、文久三癸亥年二月家茂公御上洛御休泊并御参内御行列
A-a-45	◇	文久3年2月	芝上野御参詣日并御名代御手前御年忌早覧
A-a-46	◇	元治2年6月	御征伐御進発御行列帳
A-a-47	◇	明治元年11月	練兵手留
A-a-48	◇	辰年9月	野州鉢石宿出張御人数割帳
A-a-49	◇	戊年11月18日	琉球人参候節覚
A-a-50	◇	6月23日	覚（御朱印頂戴・領地目録差出・郷村帳差出につき）
A-a-51	◇	6月	口上覚（石川内膳に來秋大坂加番仰せ付けられたい旨の願い）
A-a-52	◇	8月	（覚、御当勤・御在邑大名衆の名前）
A-a-53	◇		勤番中之心覚書（上野・増上寺御成などの際の心得）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
	（雁之間詰御奏者番江）	状、継紙	1	端裏書：「寛政元酉年九月公儀被仰出書三通之内」
		状、継紙	1	端裏書：「寛政元酉年九月公儀被仰出書三通之内」
		状、継紙	1	端裏書：「寛政元酉年九月公儀被仰出書写」
	御詰衆（大目付江）	状、縦紙	1	
	松平越中守	状、継紙	1	
		状、継紙	2	包紙：「公儀ヨリ被仰出書写二通」文久二年の達の写し
		状、継紙	1	
達		冊、横半帳	1	
		状、継紙	1	
	御詰衆（大目付江）	状、継紙	1	
		綴	1	
丹波守	（大目付・御目付江）	状、縦紙	1	後欠
		状、継紙	1	後欠
		冊、縦帳	1	「壺」（表紙）
		冊、縦帳	1	「ほ印」（表紙）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、横帳	1	「ち印」（表紙）
		冊、横半帳	1	
牧		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
牧正達		冊、横半帳	1	
		冊、縦帳	1	
牧正達		冊、横半帳	1	
和田倉御組合御番所 牧性		冊、横帳	1	
牧正道		冊、縦帳	1	奥書：「文久三癸亥年二月、江府勤番中伊藤□織方ヨリ借写、牧正道」
		冊、横帳	1	年代は写本年代
牧正道		冊、横半帳	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
石川若狭守使者牧甚五兵衛・案内松本武右衛門		状、縦紙	2	袋とも
石川内膳家來大橋庄右衛門		状、縦紙	2	包紙とも
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
A-a-54	◇		御軍役行列下帳
A-a-55	◇		御番所御当番非番御出馬行列
A-a-56	◇		(達書、五節句月次御札に登城すべき旨)
A-a-57	◇	9月4日	一 御用番戸田采女正様ヨ左之御奉書御到来 (御用につき登城すべき旨、請書)
A-a-58	◇		(覚、石川中務少輔・石川近江守・石川若狭守御登り・御下向の年時)

a 藩政 (その他)

資料番号	マイク	年代	表題
A-a-59		寛永10年9月	公期 覚書 (慶長～寛永期の諸大名・牧家の動向書上)
A-a-60	◇	(寛文元年以前)3月2日	(書状、其元しまり之儀を牧志摩同様に申し付ける旨)
A-a-61	◇	(寛文元年以前)9月2日	覚 (神戸郡代・町奉行・米払役の任命および代官役の任命と決定法についての申し渡し)
A-a-62	◇	(貞享4年以前)3月12日	(書状、勝手不如意につき知行預かり置くことを家中の者へ申し聞かざるべき旨)
A-a-63	◇	(貞享4年以前)4月9日	(書状、我等遠慮につき御目見等首尾よく済むよう家中の者山田へ代参に遣わし御祓并熨斗鮑差越し満足の旨)
A-a-64	◇	(貞享4年以前)5月22日	(書状、我等遠慮御免なされて御目見致すべき旨大加賀守宅にて言い渡され満足である旨家中・郷中へも申し渡すべき旨)
A-a-65	◇	(貞享4年以前)11月25日	(書状、罷り下るにつき用意を万端にすべき旨)
A-a-66	◇	(貞享4年以前)12月21日	(書状、植村土佐守らから和睦の申し入れがあったため平石殿にお下りいただきたい旨)
A-a-67	◇	(明和7年以前)4月5日	(書状、国廻衆順見につき河内領の二人の代官に申し付けるべき心得)
A-a-68	◇	天明7年7月1日	(達書、御役第一に奉公すべき旨など)
A-a-69	◇	寛政3年4月	差上申御請之事 (御用銀利足年貢差継につき)
A-a-70	◇	(寛政7年以前)7月8日	(書状、石川若狭守病気のため薬服用につき)
A-a-71	◇	(文化3年以前)10月24日	(家督御礼目録)
A-a-72	◇	(文化3年以前)10月26日	(書状、御家督拝見の節の様子)
A-a-73	◇	文化6年9月写	先年居宅焼失之節、持伝へ候品々之内焼失左之通
A-a-74-1	◇	天保13年9月	(書状、再勤仰付、先般の通り高五百石を差遣す旨)
A-a-74-2	◇		(書状、御役料・扶持並の通り下し置く旨)
A-a-74-3	◇	9月	(書状、牧志楽が再勤を申し付けられたので上牧に改めて役儀を勤めるべき旨)
A-a-75-1	◇	天保13年10月13日	相撲対談一札之事 (手金受取・約定金支払いにつき)
A-a-75-2	◇	天保13年10月13日	相撲対談一札之事 (手金渡し・約定金支払いにつき)
A-a-76	◇	嘉永2年12月23日	覚 (朱印・筆・拝領品収蔵相済につき)
A-a-77	◇	(嘉永2年以前)1月20日	(書状、急ぎの用向あるにつき出府すべき旨)
A-a-78	◇	嘉永4年10月～明治10年2月	諸覚 (公務関係)
A-a-79	◇	文久3年12月	御書取写 (小姓具足送付につき関所通行許可の覚)
A-a-80	◇	元治元年9月	口上 (筑波山浪士引払いにつき使者口上)
A-a-81	◇	慶応4年4月～5月	水府御旅館中御用書留
A-a-82-1	◇	慶応4年閏4月11日	覚 (官軍・幕府軍の動静を記す書付)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
牧性		冊、横帳	1	
		状、縦紙	2	包紙とも
	石川中務	状、縦紙	1	端裏書：「石川中務江」
安藤対馬守・太田備中守・戸田采女正・松平伊豆守	石川中務殿	状、継紙	1	
		状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、縦帳	1	50丁／内容は慶長～寛永期のもの
石播磨守 (花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
播磨 (花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
若狭総良 (花押)	牧志摩殿・紅林源右衛門殿・高坂由太夫殿	状、折紙	1	
若狭総良 (花押)	牧志摩殿・近藤佐之右衛門殿	状、折紙	1	
若狭総良 (花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
若狭守総良 (花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
若狭総良 (花押)	牧志摩殿・近藤佐之右衛門殿・紅林源右衛門殿	状、折紙	1	
石若狭守総候 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	
奉行		状、継紙	1	
御領分式拾式ヶ村庄屋・年寄・百姓代・大庄屋三人	御役所様	状、縦紙	1	
名川古左衛門・細木典膳	石川若狭守様・牧甚五兵衛様・有田半助様	状、継紙	1	
伊藤庄太夫	甚五兵衛様	状、継紙	1	端裏書：「御再答」
中村兵兵衛	甚五兵衛様	状、継紙	1	
富松正奥		状、継紙	1	
近江	牧志楽との	状、継紙	3	包紙2点／上包：「御直書 牧志楽方江」／中包：「小一兵衛」
	牧志楽江	状、縦紙	1	
	牧甚五太夫江	状、縦紙	1	
相撲年寄桶山藤蔵	下館松三郎殿・同忠吉殿	状、継紙	1	
下館町松三郎・同忠吉	桶山藤蔵殿	状、継紙	1	
牧志摩守他7名		状、継紙	1	端裏書：「嘉永二酉」
近江総貨 (花押)	牧志摩殿	状、縦紙	1	
牧正道		冊、横半帳	1	
御名家来伊藤高蔵	房州様中田御関所御番衆中	状、継紙	1	
護持院権僧正使者三橋森造		状、縦紙	1	
□□家老		冊、縦帳	1	
角之助・常五郎		状	4	状4点一括



資料番号	マイク	年代	表題
A-a-82-2	◇		江戸御武器
A-a-82-3	◇	6月	覚（御取次格以下の者書付）
A-a-83	◇	慶応4年4月12日～5月晦日	水府御旅館中日記
A-a-84	◇	慶応4年6月1日	（書状、当秋も昨年同様召し抱えてほしい旨・越後の戦況）
A-a-85	◇	慶応4年6月21日	建言（奥羽鎮撫先鋒へ加入を願うか上京して帰順を嘆願するか早々決断すべき旨）
A-a-86	◇	慶応4辰年7月	乍恐以書付奉申上候（常陸国下館藩の情勢）
A-a-87	◇	（慶応4年以前）1月23日	（書状、家督相続・五百石・年寄上席仰せ付けられたことへの祝い）
A-a-88-1	◇	（慶応4年以前）5月23日	（書状、年寄政務取扱頼み入る旨）
A-a-88-2	◇	（慶応4年以前）6月1日	（書状、政務御頼みにつき役料下付と借上につき）
A-a-89	◇	（慶応4年以前）12月17日	（書状、御用につき明日二の丸へ罷り出るべき旨）
A-a-90	◇	（慶応4年以前）	（書状、牧乾の召し出しにつき祝）
A-a-91	◇	明治2年1月	東京・河州自書留
A-a-92	◇	明治2年1月～7月	自書案
A-a-93	◇	辰年7月18日	乍恐以書附奉願上候（村方における盗みの吟味願い）
A-a-94	◇	午年4月	（書付、家中の面々博奕・諸勝負等慎むべき旨）
A-a-95	◇	酉年12月	下館ニ而被仰出候趣相達之上ニ而御目付御家中之面々江申聞置候覚（下書き、御手当金支給につき）
A-a-96	◇	酉年12月22日	下館ニ而被仰出候趣相達之上ニ而御目付御家中之面々江申聞置候覚（御手当金支給につき）
A-a-97	◇	酉年12月26日	下館ニ而人割扶持ニ被仰付候面々へ被仰出覚（手当金下し置くにつき儉約して奉公につとめるべき旨）
A-a-98	◇	酉年12月	江戸表ニ而申達候跡ニ而御目付申聞候覚（手当金につき・御益筋の存寄があれば書付にして差し出すべき旨）
A-a-99	◇	酉年12月	下館ニ而人割扶持ニ致し候面々へ被仰出覚（手当金下し置くにつき儉約して奉公につとめるべき旨）
A-a-100	◇	戌年2月1日～2月29日	（御用留）
A-a-101	◇	亥年7月	口上之覚（江戸屋敷勤の者心得）
A-a-102	◇	亥年11月	御家中御触之下書（家中面々の着服につき）
A-a-103-1	◇	亥年11月	御家中之面々着服之儀此度改左之通り被 仰出候
A-a-103-2	◇	亥年11月	御家中之面々着服之儀此度改左之通り被 仰出候
A-a-104	◇	亥年11月	被仰出下書（家中よりの御借上御用捨の旨）
A-a-105	◇	2月4日	（触書、半知借り上げを行う旨）
A-a-106	◇	3月10日	（書付、武具・馬具・幕など行列荷物について）
A-a-107-1	◇	3月17日	白川一門統之荒増
A-a-107-2	◇		縁家衆名前書
A-a-107-3	◇		出務代統之覚
A-a-107-4	◇		彼五領六ヶ村組合（組合村名書上）
A-a-107-5	◇		（戒名書上）
A-a-107-6	◇		（書状・断簡）
A-a-108	◇	4月3日	覚（武具出来・上納につき）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、縦紙	1	後欠
		状、継紙	1	
正道		冊、横半帳	1	
越後国赤沢村半平	常州下館八幡屋御主人様	状、継紙	2	包紙とも／差出・宛名・日付及び「尊下要用」と記す
和田守外		冊、縦帳	3	ひも、包紙とも／ひもに付箋（「被仰出御届ノ内弥五郎弼之書状」）
御名家来富松何右衛門・舟木盛衛		状、継紙	1	
鶴殿五郎兵衛	牧乾様	状、継紙	2	包紙とも
若狭	牧乾との	状、縦紙	2	包紙とも
	牧乾殿	状、縦紙	1	
雨森頼母・柴田理兵衛	牧乾殿	状、継紙	1	
		状、継紙	1	後欠
執政		綴	1	
		綴	1	
村々願人	石川若狭守様御内御重役中様	状、継紙	2	包紙とも
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
月番牧志摩他		冊、縦帳	1	
		綴	1	
御家老共	御目付江	状、継紙	1	
柴田・有田・牧	御目付江	状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前欠
与力樋口仲右衛門・御家来神山乙右衛門		状、継紙	1	
牧	牧野	状、継紙	1	
承蔵	甚五兵衛様	状、継紙	3	札1枚（「志摩事牧其野」と記す）を挟む／包紙とも
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	3	
宅間夫右衛門	牧正右衛門殿	状、継紙	1	前欠
いとや善四郎	下館様御役人衆中様	状、継紙	1	

資料番号	マイクロ	年代	表題
A-a-109	◇	6月2日	(書状、作十郎・七郎次訴訟につき内済への見通し)
A-a-110-1	◇	6月27日	(書状写、正金引替につき五千兩調達方の経緯)
A-a-110-2	◇	7月23日	(書状写、住居・官名・家中官名などの取り計らい方)
A-a-110-3	◇	7月25日	(書状写、明治の官名廃止などにつき)
A-a-110-4	◇	8月15日	(書状写、藩主帰藩の動向につき)
A-a-111	◇	8月14日	口達(御用・西国の様子などにつき)
A-a-112	◇	9月11日	(書状、養子内約についての来書・返書)
A-a-113	◇	9月19日	覚(御用向出精につき都合八人扶持を下し置く旨)
A-a-114	◇	9月	覚(大町年寄・下町年寄前書上)
A-a-115	◇	11月19日	川味勝助江申渡(俵助十郎妻子召し連れ出奔につき)
A-a-116	◇		御直書(勝手掛り差免ずる・慎みを申し付ける旨)
A-a-117	◇		御定目
A-a-118	◇		御家中御触書下書(家中儉約につき)
A-a-119	◇		諸用控(続書・精進日・代々誓詞起請文前書など)
A-a-120	◇		(御定目)
A-a-121	◇		(書付、諸役人心得につき)
A-a-122	◇		(書状、願書差出方につき)
A-a-123	◇		紀州様御勝手向難渋二付当九月御家中半知ニ被仰付候被仰出書内見仕候ゆへ颯と写候而入尊覧候
A-a-124	◇		知行割合(高百石・四ツ物成の知行差借の覚)
A-a-125	◇		神戸札場ヨリ近在道法
A-a-126	◇		大久保甚兵衛様□月廿五日ニ飯村□兵衛ヲ御呼被成被仰□趣之覚書
A-a-127	◇		(書上、拝領地・抱屋敷の坪数について)
A-a-128	◇		(書上、筒・具足などの武具数)
A-a-129	◇		(書上、具足・陣笠などの武具数)
A-a-130	◇		口上の覚(家督御礼につき)
A-a-131	◇		御家督付御祝儀御家中之面々江被下覚
A-a-132	◇		下館御家中之面々御中小姓以上江御意(家督につき)
A-a-133-1	◇		(家督御礼目録)
A-a-133-2	◇		いた之仕上ヶ
A-a-134	◇		(中務への家督祝の品々覚)
A-a-135	◇		北方御墓(石川総茂墓碑銘写)
A-a-136	◇		(石川家代々戒名書上)
A-a-137	◇		(石川家先祖戒名等書上)
A-a-138	◇		(石川家先祖事跡書上)
A-a-139	◇		(石川主殿頭忠総・大久保権右衛門忠為略歴)
A-a-140			(石川播磨守総長以降歴代当主事跡書上)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
富松	衣笠様	状、継紙	1	前欠
五郎太夫	志摩様	綴	1	
平六	志摩殿	綴	1	
平六	志摩殿	綴	1	
森川太門(花押)・上牧衛守(花押)・雨森頼母(花押)	牧其野様	綴	1	
平六	□□□殿	綴	1	
牧野備前守様御使者根岸弥次右衛門		状、継紙	1	
	峯村利兵衛	状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
	牧志摩江	状、縦紙	2	包紙とも
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前欠
		状、継紙	1	後欠
	御供番頭以上・奥番頭役・同平士	状、継紙	1	奥書：「右紀州公御直書ニ而御家中へ為御触申出候由」
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	前後欠
常磐井・ほか4名	いし川中務殿江	状、継紙	2	包紙とも
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、縦紙	1	「性善院殿」(寛文元年)～「宝蓮院殿」(文化2年)
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	前後欠
		冊、横帳	1	10丁／内容は慶長～宝暦期のもの

b 家臣

資料番号	マイク	年代	表題
A-b-1	◇	(文化3年以前)	覚帳 (御坊主頭ほか宛行・勤番被下金・下館御領分村数等につき)
A-b-2-1	◇	(天保13年以降)	分限帳
A-b-2-2	◇	5月	(石川総貨家督・任官・死去年月日書上)
A-b-3	◇	嘉永2年8月写	御本家様御分知之節附人并老万石御加増之節被召出候面々覚書
A-b-4-1	◇	嘉永7年	覚 (御拝領の品々を蔵より出し入れしたときの人名書上)
A-b-4-2	◇		(書簡下書きカ)
A-b-5	◇	文久3年5月	御組方席順帳
A-b-6	◇	卯年8月	御徒士目付御徒士格小頭御譜代組本組長柄組中間 (分限帳書抜)
A-b-7	◇	未年5月	覚 (館隼八郎高・役職書上)
A-b-8	◇	亥年4月	(具足所持・拝借人名書上)
A-b-9	◇	3月5日	(牧野衛盛へ忠治名跡・高四百石・取次役を仰せ付けられた際の渡方割合などについての書付)
A-b-10	◇	3月22日～晦日	船割帳 (大殿様御供の家中男女船割)
A-b-11	◇		石川家分限帳
A-b-12	◇		(御勝手方姓名書上)
A-b-13	◇		(忌中人名等書上)
A-b-14	◇		(供揃書上)
A-b-15	◇		御病中御送葬之掛り (金銀高・人名書上)
A-b-16	◇		(役職・人名・手当金書上)
A-b-17	◇		(役職・手当金書上)
A-b-18	◇		(行列人数書上)
A-b-19	◇		(行列人数書上)
A-b-20	◇		家覚 (人名書上)
A-b-21	◇		(人名書上)
A-b-22	◇		(人名書上)
A-b-23	◇		(人名書上)
A-b-24-1	◇		(取次・給人等の人名書上)
A-b-24-2	◇		御勝手 (人名書上)
A-b-24-3	◇		覚 (徒士・組之者の人名書上)
A-b-25	◇		(備えの人数・武具数などの覚)
A-b-26	◇		(人名書上)
A-b-27	◇		(人名書上)
A-b-28	◇		(備えの人数・武具数などの覚)
A-b-29	◇		尾張高帳 薩摩高帳 粟名高帳 坤
A-b-30	◇		松平加賀守様御家中給帳
A-b-31	◇		松平越中守様御家中縁者衆
A-b-32	◇		御家中席順人数帳
A-b-33	◇		(石高・役職・人名書上)
A-b-34	◇		合印書付 (水戸殿人数総印など)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
正達		冊、横帳	1	
牧扣		冊、竖帳	1	
		状、継紙	1	表紙～1丁目挟込
柴田		冊、横半帳	1	「雨森氏扣之由川崎氏に借写之」
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	
小頭 北井彦治郎ほか13名		冊、竖帳	1	
		冊、横半帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前欠
高橋吉右衛門	西村弥平太様	状、継紙	1	
		冊、横帳	1	
		状、折本	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		冊、横帳	1	前後欠
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	
石川内牧		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	
		冊、横半帳	1	
		冊、横帳	1	
		状、折紙	1	
		冊、横帳	1	他藩
		状、継紙	1	他藩／「右之通頼母に申来ル」とあり
		冊、竖帳	1	

c 財政（尊徳趣法）

資料番号	マイク	年代	表題
A-c-1	◇	嘉永7年3月	御趣法勘定取調帳
A-c-2	◇	嘉永7年3月	御趣法勘定土台帳
A-c-3	◇	嘉永7年3月	御趣法勘定土台帳
A-c-4	◇	嘉永7年3月	趣法勘定土台帳
A-c-5	◇	嘉永7年3月 (慶応2年12月16日)	御趣法勘定取調帳

c 財政（その他）

資料番号	マイク	年代	表題
A-c-6	◇	寛政2戌年12月	覚（河内国内領分村々寛文元年・寛政二年の家数・人数書上）
A-c-7	◇	寛政7年11月1日	寛政七年十一月朔日下館町人上金之目録扣
A-c-8	◇	天保9年5月4日	常陸国真壁郡 河内国古市郡石川郡 領知郷村高辻帳
A-c-9	◇	嘉永7年8月9日	常陸国真壁郡 河内国古市郡石川郡 領知郷村高辻帳
A-c-10	◇	丑年1月	御修覆御入ヶ積
A-c-11	◇	丑年9月	又四月朔三月迄之手形表者
A-c-12	◇	寅年5月	御殿御普請御入ヶ差引書
A-c-13-1	◇	未年11月	覚（金子受取証）
A-c-13-2	◇	未年11月	覚（金子受取証）
A-c-14	◇	申年12月	覚（女中仕切）
A-c-15-1	◇		被仰出之下書 式通
A-c-15-2	◇	亥年10月	内積り（米5046石余の使途内訳）
A-c-15-3	◇	10月	覚（初度・後・下館御売米代）
A-c-15-4	◇		（水村村神主鳥居大和惣社修覆につき米十石下されるべき旨の書付）
A-c-15-5	◇		（御納戸表払いなどの書付）
A-c-16	◇	7月11日	（書状、一人金子一枚ずつ差し出すことを了承した旨）
A-c-17	◇	11月初旬	御仁恵御救小屋江施行明細書 外二近辺隣町施し名前付
A-c-18	◇	11月	冥加金目録
A-c-19	◇		河内御領分村之略図
A-c-20	◇		慶妙院様御附女中へ先年被下左之通此度も左之通被下候様取斗申候
A-c-21	◇		（商人・職人名書上）
A-c-22	◇		（勝手向難渋につき取締として其方申年より戌年まで三ヶ年勤番申し付ける旨）

d 儀礼（五代 志摩正虎（甚五兵衛）宛）

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-1	◇	万治3年12月15日	（書状、大坂勤番を仰せ付けられ加増を受けた旨）
A-d-2	◇	（貞享4年以前）1月4日	（書状、年始の祝詞・真鴨二羽に対する答礼）
A-d-3	◇	（貞享4年以前）1月5日	（書状、肴一種に対する答礼）
A-d-4	◇	（貞享4年以前）1月12日	（書状、年賀への答礼）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
牧		冊、横帳	1	
牧		冊、横帳	1	
中村兵左衛門ほか4名		冊、横帳	1	奥書：「慶応二丙寅年十二月十六日、立会勘定ニ而相改」

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
石川近江守	本多下総守殿・牧野備前守殿	冊、縦帳	2	袋あり
石川重之助	本多中務大輔殿・青山大膳允殿	冊、縦帳	2	袋あり
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	奥書：「子年御物成代は神戸分御物成御勘定無御座付書載不申候」
		状、継紙	1	
年番中村・奥山	牧様	状、継紙	1	
年番奥山・中場	牧様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状	1	
		状、継紙	1	
衣笠兵太夫		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、折紙	1	
衣笠文次	牧志摩様	状、継紙	1	
		冊、横帳	1	
	小川村左五右衛門ほか4名	状、折紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
播磨（花押）	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
石若狭総良（花押）	牧志摩殿	状、折紙	1	
若狭（花押）	牧志摩殿	状、折紙	1	
若狭総良（花押）	牧志摩殿	状、折紙	1	















資料番号	マイク	年代	表題
A-d-156	◇	(享保17年以前)1月21日	(書状、暦首の嘉儀かつ宇津采女正旧頼叙爵の知らせに対する答礼)
A-d-157	◇	(享保17年以前)1月23日	(書状、年甫の挨拶への答礼)
A-d-158	◇	(享保17年以前)1月13日	(書状、年甫の挨拶への答礼)
A-d-159	◇	(享保17年以前)1月21日	(書状、年甫の挨拶への答礼)
A-d-160	◇	(享保17年以前)12月12日	(書状、寒中見舞への答礼)

d 儀礼 (八代 十右衛門均正 (正扶、椿翁) 宛)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-161-1	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-161-2	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-162	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-163	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-164	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-165	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-166-1	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-166-2	◇	(明和7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-167	◇	(明和7年以前)8月28日	(書状、御城入交代が済み満悦の旨)
A-d-168	◇	(明和7年以前)12月20日	(書状、その方に縁談が無くては家のしまりにかかわることなど、委細源左衛門より承るべき旨)
A-d-169	◇	明和元年8月22日	口上之覚 (同姓主殿頭死去につき悔やみへの答礼)
A-d-170	◇	明和元年9月7日	(書状、今般家督仰せ付けられ大慶、肴一折送られ過分の旨の答礼)
A-d-171	◇	明和元年9月11日	(書状、今般家督相済み祝儀として肴一折送られ過分の旨)
A-d-172	◇	明和元年11月4日	(書状、今般初めて在所への御暇仰せ出されたことへの祝儀に対する答礼)
A-d-173	◇	宝暦2年5月21日	(書状、今般御年寄上座仰せ付けられるにつき来状への返書)
A-d-174	◇	(寛政2年以前)1月5日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-175	◇	(寛政2年以前)1月6日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-176	◇	(寛政2年以前)1月9日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-177	◇	(寛政2年以前)1月12日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-178	◇	(寛政2年以前)2月8日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-179	◇	(寛政2年以前)11月28日	(書状、寒中尋向への答礼)
A-d-180	◇	(寛政2年以前)12月8日	(書状、寒中尋向への答礼)
A-d-181	◇	(寛政2年以前)12月14日	(書状、寒中尋向への答礼)
A-d-182	◇	(寛政2年以前)6月29日	(書状、暑中尋向への答礼)
A-d-183	◇	(寛政2年以前)12月21日	(書状、寒中尋向への答礼)
A-d-184	◇	明和元年9月5日	(書状、今般同氏左門願いの通り隠居仰せ付けられ家督相違なく下し置かれるにつき御紙面の趣への答礼)
A-d-185	◇	宝暦3年4月2日	(書状、岩之丞去月十九日御目見につき祝儀に対する答礼)
A-d-186	◇	宝暦9年12月7日	(書状、帯刀儀細井金兵衛殿願いの通り婿養子仰せ出されたにつき祝儀に対する答礼)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
大加賀守忠英 (花押)	牧十右衛門殿・保田左兵衛殿	状、継紙	1	
大加賀守忠英 (花押)	牧十右衛門殿・保田与宗右衛門殿	状、継紙	1	
大加賀守忠郁 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	
大加賀守忠郁 (花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
大加賀守忠郁 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
若狭総候 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石左近将監	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石主殿頭総堯 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石主殿頭総堯 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石主殿頭総堯 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石川民部総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石川伊予守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
石川阿波守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川縫殿総相 (花押)	牧十右衛門様	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	

d 儀礼（九代 甚五兵衛正達（仙十郎、仙蔵）宛）

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-187	◆	明和7年11月11日	(書状、家督仰せ付けられたにつき嘉詞として目録の通り到来につき祝着の旨)
A-d-188	◇	(寛政7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-189	◇	(寛政7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-190	◇	(寛政7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-191-1	◇	(寛政7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-191-2	◇	(寛政7年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-192	◇	(享和2年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-193	◇	(享和2年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-194	◇	(享和2年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-195	◇	(享和2年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-196	◇	(享和2年以前)1月7日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-197	◇	(享和2年以前)8月28日	(書状、御城入交代が済み満悦の旨)
A-d-198	◇	(文化3年以前)1月15日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-199	◆	(文化3年以前)1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-200	◆	(文化3年以前)1月13日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-201	◇	(安永9年以前)1月8日	(書状、弥無事御勤めの由の芳札に対する答礼)
A-d-202	◇	(安永9年以前)1月11日	(書状、年始の嘉儀・芳札に対する答礼)
A-d-203	◇	(安永9年以前)1月15日	(書状、年始の嘉儀・芳札に対する答礼)
A-d-204	◇	(安永9年以前)1月20日	(書状、年始の嘉儀・芳札に対する答礼)
A-d-205	◇	(安永9年以前)6月8日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-206	◇	(安永9年以前)6月18日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-207	◇	(安永9年以前)6月25日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-208	◇	(安永9年以前)7月8日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-209	◇	(安永9年以前)11月29日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-210	◇	(安永9年以前)12月9日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-211	◇	(安永9年以前)12月11日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-212	◇	(文化3年以前)1月13日	(書状、年頭の祝詞に対する答礼)
A-d-213	◇	(文化3年以前)1月28日	(書状、年頭の祝詞に対する答礼)
A-d-214	◇	(文化3年以前)6月15日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-215	◇	(文化3年以前)7月11日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-216	◇	(文化3年以前)12月9日	(書状、暑中御尋向に対する答礼)
A-d-217	◇	(安永9年以前)1月15日	(書状、御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-218	◇	(安永9年以前)1月21日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-219	◇	(安永9年以前)1月31日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事につき珍重の旨)
A-d-220	◇	(安永9年以前)6月28日	(書状、暑中尋向に対する答礼)
A-d-221	◇	(安永9年以前)閏6月8日	(書状、暑中尋向に対する答礼)
A-d-222	◇	(安永9年以前)7月18日	(書状、暑中尋向に対する答礼)
A-d-223	◇	(安永9年以前)7月18日	(書状、暑中尋向に対する答礼)
A-d-224	◇	(安永9年以前)11月29日	(書状、寒中尋向に対する答礼)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
内膳総弾（花押）	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
若狭総弾（花押）	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
若狭総弾（花押）	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
若狭総弾（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
若狭総弾（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
若狭総弾（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
中務総般（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
内膳総親（花押）	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
近江総親（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
近江総親（花押）	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、折紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、折紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、折紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙十郎殿	状、折紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-225	◇	(安永9年以前)12月9日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-226	◇	(安永9年以前)12月24日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-227	◇	(文化3年以前)1月10日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-228	◇	(文化3年以前)1月13日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-229	◇	(文化3年以前)1月14日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-230	◇	(文化3年以前)1月15日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-231	◇	(文化3年以前)1月19日	(書状、年甫の嘉儀・御状披見、いよいよ御無事御加年につき珍重の旨)
A-d-232	◇	(文化3年以前)6月17日	(書状、暑中尋向に対する答礼)
A-d-233	◇	(文化3年以前)6月25日	(書状、暑中尋向に対する答礼)
A-d-234	◇	(文化3年以前)8月13日	(書状、暑中尋向に対する答礼)
A-d-235	◇	(文化3年以前)12月6日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-236	◇	(文化3年以前)12月18日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-237	◇	(文化3年以前)1月9日	(書状、年始の御祝詞に対する答礼)
A-d-238	◇	(文化3年以前)1月11日	(書状、年始の御祝詞に対する答礼)
A-d-239	◇	(文化3年以前)1月18日	(書状、年頭の嘉詞・芳札に対する答礼)
A-d-240	◇	(文化3年以前)1月21日	(書状、年始の御祝詞に対する答礼)
A-d-241	◇	(文化3年以前)1月22日	(書状、年始の御祝詞に対する答礼)
A-d-242	◇	(文化3年以前)4月24日	(書状、芳札披見、今般其元御家老上座仰せ付けられ目出度く存ずる旨)
A-d-243	◇	(文化3年以前)11月2日	(書状、同姓不幸の節の御悔やみに対する答礼)
A-d-244	◇	(文化3年以前)閏12月5日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-245	◇	(文化3年以前)1月27日	(書状、年頭の祝詞に対する答礼)
A-d-246	◇	(文化3年以前)1月15日	(書状、年始の祝詞に対する答礼)
A-d-247	◇	(文化3年以前)1月28日	(書状、年頭の祝詞に対する答礼)
A-d-248	◇	(文化3年以前)6月10日	(書状、暑中見舞いに対する答礼)
A-d-249	◇	(文化3年以前)7月8日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-250	◇	(文化3年以前)12月3日	(書状、寒中見舞いに対する答礼)
A-d-251	◇	(文化3年以前)12月19日	(書状、寒中見舞いに対する答礼)
A-d-252	◇	明和3年1月25日	(書状、牧十右衛門隠居、仙十郎家督につき来状への返書)
A-d-253	◇	明和7年9月12日	(書状、若狭守様御不幸につき御見廻としての御紙面の趣を承知した旨)
A-d-254	◇	(安永9年以前)1月9日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-255	◇	(安永9年以前)1月11日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-256	◆	(安永9年以前)1月11日	(書状、年始の御紙面に対する御礼)
A-d-257	◇	(安永9年以前)1月18日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-258	◇	(安永9年以前)6月28日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-259	◇	(安永9年以前)6月26日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-260	◇	(安永9年以前)閏6月17日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-261	◇	(安永9年以前)7月12日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-262	◇	(安永9年以前)12月11日	(書状、寒気見舞いの御紙面に対する答礼)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石川阿波守総恒(花押)	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、折紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、折紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、折紙	1	
石川阿波守総恒(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
石川山平総詳(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	牧甚五兵衛様・雨森又右衛門様	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	牧甚五兵衛様・雨森又右衛門様・奥山小一兵衛様	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	牧甚五兵衛様・雨森又右衛門様・奥山小一兵衛様	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	牧甚五兵衛様・雨森又右衛門様・奥山小一様	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	牧甚五兵衛様・雨森又右衛門様・奥山小一兵衛様	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	牧甚五兵衛様・雨森又右衛門様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、折紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、切紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、折紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	



資料番号	マイク	年代	表題
A-d-263	◇	(安永9年以前)12月15日	(書状、寒気見舞いの御紙面に対する答礼)
A-d-264	◇	(安永9年以前)12月25日	(書状、寒気見舞いの御紙面に対する答礼)
A-d-265	◇	(安永9年以前)4月3日	(書状、今般真吉が御目見を滞りなく申し上げた旨の御紙面に対する答礼)
A-d-266	◇	(文化3年以前)1月8日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-267	◇	(文化3年以前)1月9日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-268	◇	(文化3年以前)1月10日	(書状、屋敷普請出来、旧蠟28日引き移った旨の御紙面に対する答礼)
A-d-269	◇	(文化3年以前)1月11日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-270	◇	(文化3年以前)1月13日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-271	◇	(文化3年以前)1月15日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-272	◇	(文化3年以前)1月15日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-273	◇	(文化3年以前)1月18日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-274	◇	(文化3年以前)1月21日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-275	◇	(文化3年以前)2月10日	(書状、先達て屋敷類焼の節の見舞いの御紙面に対する挨拶)
A-d-276	◇	(文化3年以前)3月27日	(書状、去る29日手前屋敷類焼につき御見舞いとして御示しの趣に対する答礼)
A-d-277	◇	(文化3年以前)4月28日	(書状、今般御家老上座仰せ付けられたことについての御紙面に対する挨拶)
A-d-278	◇	(文化3年以前)6月21日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-279	◇	(文化3年以前)6月25日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-280	◇	(文化3年以前)7月18日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-281	◇	(文化3年以前)10月13日	(書状、寿清院様御病気の処、死去を知らせた紙面に対する挨拶)
A-d-282	◇	(文化3年以前)10月29日	(書状、婿養子願いの通り仰せ出されにつき御紙面に対する挨拶)
A-d-283	◇	(文化3年以前)12月15日	(書状、養女の願いが済んだ御悦としての御紙面に対する答礼)
A-d-284	◇	(文化3年以前)12月11日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-285	◇	(文化3年以前)12月15日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-286	◇	(文化3年以前)12月23日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-287	◇	(文化3年以前)12月	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-288	◇	(寛政4年以前)1月15日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-289	◇	(安永2年以前)1月15日	(書状、年頭の御紙面に対する答礼)
A-d-290	◇	(文化3年以前)1月15日	(書状、年頭の御状に対する答礼)
A-d-291	◇	(文化3年以前)6月18日	(書状、婚姻の祝儀に対する答礼)
A-d-292	◇	(文化3年以前)8月23日	(書状、忌明けにつき挨拶状)
A-d-293	◇	(安永元年以前)6月16日	(書状、今度の祝儀に対する礼状)
A-d-294	◇	(安永9年以前)2月7日	(書状、年甫の嘉儀・芳札披見、いよいよ御無事につき珍重の旨)
A-d-295	◇	(安永9年以前)1月9日	(書状、年始の嘉詞に対する答礼)
A-d-296	◇	(安永9年以前)1月9日	(書状、年始の嘉詞に対する答礼)
A-d-297	◇	(安永9年以前)1月6日	(書状、年始の嘉詞に対する答礼)
A-d-298	◇	(安永9年以前)6月23日	(書状、暑気尋向に対する答礼)
A-d-299	◇	(安永9年以前)閏6月4日	(書状、暑気尋向に対する答礼)
A-d-300	◇	(安永9年以前)12月18日	(書状、寒気尋向に対する答礼)
A-d-301	◇	(文化3年以前)1月6日	(書状、年始の嘉詞に対する答礼)
A-d-302	◇	(文化3年以前)1月7日	(書状、年始の嘉詞に対する答礼)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、折紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、折紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、折紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川縫殿総相(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
石川左門総彬(花押)	牧甚五兵衛様	状、継紙	1	
石川左門総朋(花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	
土近江守雄年(花押)	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
土近江守雄年(花押)	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
土近江守雄年(花押)	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
三志摩守明次(花押)	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
三志摩守明次(花押)	牧仙蔵殿	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、折紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙十郎様	状、折紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	



資料番号	マイク	年代	表題
A-d-303	◇	(文化3年以前)1月8日	(書状、年始の嘉詞に対する答礼)
A-d-304	◇	(文化3年以前)1月11日	(書状、婚姻への嘉詞に対する答礼)
A-d-305	◇	(文化3年以前)5月12日	(書状、不幸につき悔状への答礼)
A-d-306	◇	(文化3年以前)6月8日	(書状、平産についての嘉詞に対する答礼)
A-d-307	◇	(文化3年以前)6月9日	(書状、暑気尋向に対する答礼)
A-d-308	◇	(文化3年以前)6月21日	(書状、暑気尋向に対する答礼)
A-d-309	◇	(文化3年以前)8月12日	(書状、暑気尋向に対する答礼)
A-d-310	◇	(文化3年以前)11月29日	(書状、寒気尋向に対する答礼)
A-d-311	◇	(文化3年以前)12月2日	(書状、寒気尋向に対する答礼)
A-d-312	◇	(文化3年以前)12月19日	(書状、寒気尋向に対する答礼)
A-d-313	◇	(文化3年以前)12月27日	(書状、寒気尋向に対する答礼)
A-d-314	◇	(文化3年以前)3月7日	(書状、家成公・忠総公ほかの御判・御自書の写し取りなど)
A-d-315	◇	(文化3年以前)11月1日	(書状、先日拝借した書物のお礼と家の蔵書について)

d 儀礼(十代十右衛門正供(民也、志摩、志楽)宛)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-316	◇	(文化9年以前)1月	(書状、年賀への答礼)
A-d-317	◇	(文化9年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-318	◇	(文化9年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-319	◇	(文化9年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-320	◇	(文化9年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-321	◇	(文化9年以前)1月28日	(書状、御城入交代が済み満悦の旨)
A-d-322	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-323	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-324	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-325	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-326	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-327	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-328	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-329	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-330	◇	(天保6年以前)1月3日	(書状、年賀への答礼)
A-d-331	◇	(天保6年以前)1月7日	(書状、年賀への答礼)
A-d-332	◇	(天保6年以前)8月28日	(書状、御城入交代が済み満悦の旨)
A-d-333	◇	(文化9年以前)11月1日	(書状、家督相違無く仰せ付けられた旨の紙面に対する返書)
A-d-334	◇	(文化9年以前)12月11日	(書状、寒中見舞いに対する答礼)

d 儀礼(十一代志摩正道(乾、其野、帰童)宛)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-335	◇	(嘉永2年以前)1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-336	◇	(嘉永2年以前)1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-337	◇	(嘉永2年以前)1月3日	(書状、年頭の挨拶)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙十郎様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、折紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	
水土佐守忠寛(花押)	牧仙蔵様	状、折紙	1	
松本武右衛門秀英(花押)	牧志摩様	状、継紙	1	
松本武右衛門秀英(花押)	牧仙蔵様	状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
重之助総承(花押)	富松源之右衛門殿・牧民也殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
中務総承(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
中務総承(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
中務総承(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
中務総承(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
重之助総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
重之助総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
中務総承(花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	牧民也様	状、継紙	1	
石川岩之丞総集(花押)	雨森又右衛門様・奥山小一様・牧民也様	状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
近江総貨(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
近江総貨(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
近江総貨(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-338	◇	1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-339	◇	1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-340	◇	1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-341	◇	1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-342	◇	1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-343	◇	1月3日	(書状、年頭の挨拶)
A-d-344	◇	12月20日	(書状、寒中見舞いに対する答礼)
A-d-345	◇	1月5日	(書状、寒中見舞いに対する答礼)
A-d-346	◇	7月11日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-347	◇	12月28日	(書状、寒中見舞いに対する答礼)
A-d-348	◇	12月	(書状、寒中見舞いに対する答礼)

d 儀礼 (四代志摩正景 or 五代志摩正虎宛)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-349	◇	(元禄15年以前)7月29日	(書状、其地替り無い由につき欽悦の旨)
A-d-350	◇	(元禄15年以前)10月28日	(書状、梅もどきの送付・広い屋敷を拝領したことについて)
A-d-351	◇	(宝永4年以前)1月10日	(書状、年始嘉慶其元私宅へ入来の由につき欣然の旨、歳暮の雉子二つ送られ祝着の旨)
A-d-352	◇	(宝永4年以前)4月12日	(書状、今度十左衛門に加増につき鮭塩引二尺送られ欣然の至りに存ずる旨)
A-d-353	◇	(宝永4年以前)5月7日	(書状、今度入部の祝儀として一荷兩種贈られ欣然の至りに存ずる旨)

d 儀礼 (五代志摩(甚五兵衛)正虎 or 六代甚五兵衛正易宛)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-354	◇	(貞享4年以前)1月17日	(書状、年始の嘉儀として鷹一羽到来に満足の旨)
A-d-355	◇	(貞享4年以前)11月9日	(書状、奥方平産男子誕生につき其許医師衆が相詰めたことなどへの礼状)
A-d-356	◇	(貞享4年以前)11月晦日	(書状、我等縁辺を仰せ付けられた祝儀として鷹二羽贈られ祝着の旨)
A-d-357	◇	(宝永4年以前)3月3日	(書状、御肴一種贈られ欣然の至りである旨)
A-d-358		(宝永4年以前)3月21日	(書状、上屋敷普請出来・移住の祝儀として肴一種を贈られ欣然の旨)
A-d-359		(宝永4年以前)5月12日	(書状、同姓下野守婚礼首尾よく済んだことの祝儀として肴一種を贈られ欣然の旨)
A-d-360		(宝永4年以前)5月12日	(書状、酒井勝之助方より結納首尾よく済んだことの祝儀として肴一種を贈られ欣然の旨)
A-d-361	◇	(宝永4年以前)6月18日	(書状、江戸の近江殿には変わりの無い旨、我等在所へお暇下され今晚四日市まで到着した旨)
A-d-362		(宝永4年以前)6月24日	(書状、桑酒一樽・真桑瓜一籠への礼と病気の見舞い)
A-d-363		(宝永4年以前)6月27日	(書状、桑酒一樽・真桑瓜一籠への礼、主水殿無事にて明日御出の旨)
A-d-364		(宝永4年以前)7月2日	(書状、水野隼人正殿へ下野守方よりの結納が首尾よく済んだことへの祝儀として鯛一箱贈られ欣然の旨)
A-d-365		(宝永4年以前)10月4日	(書状、鱒二貫巻贈られ欣然の旨)
A-d-366		(宝永4年以前)10月23日	(書状、肴一種贈られ欣然の旨)
A-d-367		(宝永4年以前)11月16日	(書状、兩種を贈られ欣然の旨)
A-d-368		(宝永4年以前)12月2日	(書状、肴一折贈られ欣然の旨)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
若狭総管(花押)	牧乾殿	状、折紙	2	包紙とも
重之助総管(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
若狭総管(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
若狭総管(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
若狭総管(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
若狭総管(花押)	牧志摩殿	状、折紙	2	包紙とも
石川楨之助総銚(花押)	牧乾様・柴田理兵衛様・雨森頼母様	状、折紙	2	包紙とも
石川楨之助総銚(花押)	牧志摩様・柴田佐左衛門様	状、折紙	2	包紙とも
石川楨之助総銚(花押)	牧志摩様・高木権兵衛様	状、折紙	2	包紙とも
石川楨之助総銚(花押)	牧志摩様・高木権兵衛様	状、折紙	2	包紙とも
石川楨之助総銚(花押)	牧志摩様・高木権兵衛様	状、折紙	2	包紙とも

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石市正総氏(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
石川市正総氏(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
石主殿頭昌勝(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
石川主殿頭昌勝(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	
石主殿頭昌勝(花押)	牧志摩殿	状、折紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石川若狭守総良(花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
若狭総良(花押)	牧甚五殿	状、折紙	1	
若狭守総良(花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、折紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
石主殿頭憲之(花押)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	









資料番号	マイク	年代	表題
A-d-448	◇	(安永2年以前) 5月22日	(書状、今般御年寄中の上座を仰せ付けられたことにつき来状への挨拶)
A-d-449	◇	(安永2年以前) 6月16日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-450	◇	(安永2年以前) 7月4日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-451	◇	(安永2年以前) 7月7日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-452	◇	(安永2年以前) 12月6日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-453	◇	(安永2年以前) 12月7日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-454	◇	(安永2年以前) 12月15日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-455	◇	(安永2年以前) 12月15日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-456	◇	(安永2年以前) 12月28日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-457	◇	(安永2年以前) 12月28日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)

d 儀礼 (牧志摩 (不明) 宛)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-458	◇	(寛政7年以前) 1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-459	◇	(寛政7年以前) 1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-460	◇	(寛政7年以前) 1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-461	◇	(寛政7年以前) 1月3日	(書状、陽春の佳慶珍重の旨)
A-d-462	◇	(寛政4年以前) 1月9日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-463	◇	(寛政4年以前) 12月24日	(書状、寒気見舞いに対する答礼)
A-d-464	◇	6月19日	(書状、文や・勇硯・春立が渴命に及んでいる由につき餓死に至らぬよう計らってほしい旨)

d 儀礼 (牧岩次郎宛)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-465	◇	(宝暦元年以前) 1月18日	(書状、年甫の祝詞に対する答礼)
A-d-466	◇	(宝暦元年以前) 12月28日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-467	◇	(宝暦元年以前) 12月28日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-468	◇	(安永4年以前) 1月12日	(書状、年頭の祝詞に対する答礼)
A-d-469	◇	(安永4年以前) 1月15日	(書状、年頭の祝詞に対する答礼)
A-d-470	◇	(安永4年以前) 12月17日	(書状、寒中尋向に対する挨拶)
A-d-471	◇	(安永2年以前) 1月15日	(書状、年始の祝詞に対する答礼)
A-d-472	◇	(安永2年以前) 1月18日	(書状、年頭の嘉儀の紙面に対する答礼)
A-d-473	◇	(安永2年以前) 6月25日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-474	◇	(安永2年以前) 10月8日	(書状、妹婚礼の祝儀に対する御礼)
A-d-475	◇	(明和元年以前) 1月6日	(書状、年甫の嘉儀・芳札に対する答礼)
A-d-476	◇	(明和元年以前) 1月7日	(書状、年甫の嘉儀・芳札に対する答礼)
A-d-477	◇	(明和元年以前) 6月3日	(書状、土用中尋向に対する答礼)
A-d-478	◇	(明和元年以前) 12月4日	(書状、寒中尋向に対する答礼)
A-d-479	◇	(明和元年以前) 12月14日	(書状、寒中尋向に対する答礼)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧十右衛門様	状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
若狭総弾 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	
若狭総弾 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	
若狭総弾 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	
若狭総弾 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	
石川左門総彬 (花押)	牧志摩様	状、継紙	1	
石川左門総彬 (花押)	牧志摩様・三輪権太夫様	状、継紙	1	
若狭守	牧志摩殿・有田半介殿	状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石川備中守総為 (花押)	牧岩次郎殿	状、継紙	1	
石川備中守総為 (花押)	牧岩次郎殿	状、折紙	1	
石川備中守総為 (花押)	牧岩次郎殿	状、継紙	1	
石川監物総共 (花押)	牧岩次郎殿	状、折紙	1	
石川監物総共 (花押)	牧岩治郎殿	状、継紙	1	
石川備中守総為 (花押)	牧岩次郎殿	状、継紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧岩次郎殿	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧岩次郎様	状、折紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧岩次郎様	状、継紙	1	
石川左門総朋 (花押)	牧岩次郎様	状、継紙	1	
大出羽守忠興 (花押)	牧岩次郎殿	状、継紙	1	
大出羽守忠興 (花押)	牧岩次郎殿	状、折紙	1	
大出羽守忠興 (花押)	牧岩次郎殿	状、折紙	1	
大出羽守忠興 (花押)	牧岩次郎殿	状、継紙	1	
大出羽守忠興 (花押)	牧岩次郎殿	状、継紙	1	

d 儀礼（牧十右衛門（不明）宛）

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-480	◇	1月20日	(年頭の祝詞に対する御礼)
A-d-481	◇	6月20日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-482	◇	6月22日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-483	◇	7月5日	(書状、暑気見舞いに対する答礼)
A-d-484	◇	10月26日	(書状、今般御政事向御取斗仰せ付けられ珍重の旨、御紙面披見の挨拶)
A-d-485	◇	6月20日	口上之覚（在所への御暇を下された祝としての昨日の御入来に対する答礼）
A-d-486	◇	1月11日	(書状、年序の祝辞に対する答礼)
A-d-487	◇	4月2日	(書状、此度用向きにて相越し大儀の旨、肴到来への礼)
A-d-488	◇	7月2日	口上之覚（今度御用仰せ付けられて昨日御入来、主水殿よりの御伝言委細承り届けた旨、自分に申し置かれたことへの答礼）
A-d-489	◇	9月2日	(書状、同姓主水殿先月22日に初めて首尾よく御目見し目出度い旨、鴨二羽進献のこと)
A-d-490	◇	12月28日	(書状、寒中見舞いに対する答礼)

d 儀礼その他

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-491	◇	明和3年	佳名（正均様御隠居名柳源公御考則御直書）
A-d-492	◇	天明元年11月	覚書（御上御一門様方名前書上、年始の節御書など）
A-d-493-1	◇		(書状、其の地の弟子中に伝達を頼む旨)
A-d-493-2	◇		(書状、左京大夫次男を御屋敷様養子にすることにつき相談)
A-d-493-3	◇		長刀ノ柄ノ寸法
A-d-494	◇	寛政7卯年7月	御家中之面々江申達（牧野銚蔵様を御養子として願うことにつき）
A-d-495-1	◇	寛政7年9月11日	(書状、若狭守様重病のため中務様を御順養子とし銚蔵様御養子の件はお断りすることについて)
A-d-495-2	◇		(書状、若狭守様重病のため中務様を御順養子とし銚蔵様御養子の件はお断りすることについて)
A-d-495-3	◇		(書状下書き、若狭守様重病のため中務様を御順養子とし銚蔵様御養子の件はお断りすることについて)
A-d-496	◇	寛政8年12月26日	(大殿様御自詠御染筆一幅・弁慶書翰写一幅の拝領覚)
A-d-497	◇	寛政12年4月	御袴着御祝（式次第）
A-d-498	◇	(文化13年以前)5月20日	(書状、暑気見舞い)
A-d-499-1	◇	文政12丑年5月29日	正寿院様御葬式御雑用請払帳
A-d-499-2	◇		新葬内々扣帳
A-d-500-1	◇	10月1日	御飲到来ものおほへ
A-d-500-2	◇		御見舞到来のおほへ
A-d-500-3	◇	嘉永5年3月29日	大檀那御床揚若旦那被召出御内祝蒙物
A-d-501	◇	嘉永7年11月15日	(人名書上)
A-d-502	◇	慶応4年閏4月	願書留（再縁組願いなど）
A-d-503	◇	卯年9月28日	(放光院病氣中に骨折りして酒・吸物・肴二種くださった者の名前書上)
A-d-504	◇	亥年11月	覚（於富喜様御仕切金70両で取り計らう旨）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
石川鎌吉総儔（花押）	牧十右衛門様・雨森又右衛門様・川崎才兵衛様	状、継紙	1	
石川鎌吉総儔（花押）	牧十右衛門様・川崎才兵衛様	状、継紙	1	
石川鎌吉総儔（花押）	牧十右衛門様・川崎才兵衛様	状、折紙	1	
石川鎌吉総儔（花押）	牧十右衛門様・川崎才兵衛様	状、継紙	1	
石川鎌吉総儔（花押）	牧十右衛門様	状、折紙	1	
石主殿頭	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
石川監物総共（花押）		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
石川主税	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
		状、継紙	1	端裏書：「石川主殿頭様御手跡」
石川鎌吉総儔（花押）		状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
藤忠寛		状、継紙	2	包紙とも
		冊、横半帳	1	
大嶋雲五郎典算（花押）	牧甚五兵衛様	状、継紙	2	包紙とも
雲五郎	甚五兵衛様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	2	包紙とも
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、折紙	2	包紙とも
三浦志摩守前次（花押）	石中務少輔様	状、継紙	1	
古谷道八・土嶋□□左衛門		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	前欠
		冊、横半帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-505	◇	2月27日	御祝儀手続
A-d-506	◇	3月24日	(書状、結納・娘の様子などについて)
A-d-507-1	◇	9月19日	下館御家中覚(料理につき)
A-d-507-2	◇		江戸御料理被下覚
A-d-508	◇	9月21日	御家督ニ付河州表ニ而御祝儀被御下候覚
A-d-509	◇	11月	追願(目録)
A-d-510	◇	12月22日	(書状、婚姻が整ったことへの祝辞・勤番のことについて)
A-d-511-1	◇		答演(書状、病気見舞いへの答礼)
A-d-511-2	◇		(漢詩)
A-d-512	◇		呈 御生盆(金五拾疋の目録)
A-d-513	◇		もくろく(干鯛一折・御樽一荷)
A-d-514	◇		(目録、白銀貳拾三両)
A-d-515	◇		(目録、銀子二枚)
A-d-516	◇		(目録、白銀一枚)
A-d-517	◇		(目録、干鯛一折)
A-d-518	◇		(目録、干鯛一折)
A-d-519	◇		(目録、刀一腰)
A-d-520	◇		(目録、鯉節一箱・御樽代千疋)
A-d-521	◇		(目録、野菜一折)
A-d-522	◇		箱上書(目録書式共)
A-d-523	◇		(目録、日向守様・主殿頭様・奥方様へ清池院様より)
A-d-524	◇		御家督料理ノ義ニ付
A-d-525-1	◇		御相続(談カ) 御招之御方様
A-d-525-2	◇		(御逝去御届等についての人名書上)
A-d-526	◇		放光院様御病中御出棺迄も骨折相勤候面々被下覚
A-d-527	◇		(書状、年頭の挨拶)
A-d-528	◇		(書状、新年の挨拶)
A-d-529-1	◇		(書状、志摩殿安否の問い合わせ・りうきう風流行のことなど)
A-d-529-2	◇		別紙(書状、品物の調達について)
A-d-530	◇		(覚書、殿様・清池院様への献上物・人名書上)
A-d-531	◇		(書状、清池院を訪ねる日取りにつき)
A-d-532	◇		覚(献立)
A-d-533	◇		(覚、肴を出された者の書上)
A-d-534-1	◇		(書付、阿蘭陀文字について)
A-d-534-2	◇		(和歌三首)
A-d-534-3	◇		(石川家法名書上)
A-d-534-4	◇		(石川若狭守総候までの石川家代々履歴)
A-d-535	◇		御法名(石川家代々法名書上)
A-d-536	◇		(供揃えについての書上)
A-d-537	◇	(寛永10年以前)9月7日	(御内書、重陽の祝儀としての小袖到来につき礼状)
A-d-538	◇	(元禄2年以前)	(書状、来状への答礼)
A-d-539	◇	(元禄6年以前)	(書状、年賀の挨拶への答礼)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、折紙	1	
定右衛門	志摩様・乾様	状、継紙	1	前欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
衣笠兵太夫		状、継紙	1	
柴田藤七	牧志摩様・高木権之丞様	状、継紙	1	
榊原仰了		状、継紙	1	
		状、継紙	1	断簡
	御弟子中	状、縦紙	1	水引付き
	牧野四郎右衛門	状、縦紙	2	包紙とも
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
	牧志摩江	状、縦紙	1	
松平大炊頭		状、折紙	1	
		状、縦紙	1	
牧十右衛門正扶		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、折紙	1	
元□	御壺門様かた	状、折紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
清	まき甚五兵衛様	状、継紙	2	包紙とも
御役所		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、折紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	前後欠
(印)	堀尾山城守殿	状、折紙	1	家光印／酒井雅楽頭申し渡し
紀伊中納言光貞(花押)	石川若狭守殿	状、折紙	1	
尾張宰相綱誠(花押)		状、折紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-540	◇	(元禄7年以前)1月11日	(書状、年賀の挨拶への答礼)
A-d-541	◇	(元禄11年以前)1月12日	(書状、年賀の挨拶への答礼)
A-d-542	◇	(元禄13年以前)1月26日	(書状、年賀の挨拶への答礼)
A-d-543	◇	(宝永2年以前)1月11日	(書状、年賀の挨拶への答礼)
A-d-544	◇	(正徳2年以前)1月12日	(書状、年始の嘉詞を甲府殿に洩達した旨)
A-d-545	◇	(正徳3年以前)1月11日	(書状、新春の芳簡への答礼)
A-d-546	◇	7月9日	(書状、忌中見舞に対する答礼)
A-d-547	◇	6月	(書状、大坂加番を仰せ付けてほしい旨)

d 儀礼 (明治期)

資料番号	マイク	年代	表題
A-d-548	◇	明治10年1月	石川家負債元利調
A-d-549-1	◇	明治11年5月	記 (樹照院扶持米・僕婢扶持給取調・請取証)
A-d-549-2	◇		(畑・林の書上)
A-d-550-1	◇	明治11年5月20日	(書状、総管様御供にて帰郷予定のところ、重之様樹照院様へ対面願 いにつき御供にて帰郷の旨、ほか)
A-d-550-2	◇	明治11年5月20日	(書状、重之様出立について)
A-d-551	◇	明治19年12月15日	明治十九年十二月十五日旧君送別会来会人名
A-d-552	◇	明治19年12月15日	明治十九年十二月十五日花月亭ニ於テ旧君送別会開会出納覚
A-d-553-1-1	◇	明治36年11月27日	記 (大蔵省告示第九十四号・大蔵省告示第百号及びそれに伴う金円 公債証書当籤の通達)
A-d-553-1-2	◇	明治36年11月29日	(書状、大蔵省告示による金円公債証書当籤について)
A-d-553-1-3	◇	明治36年12月7日	(書状、延設について御親様も御意よろしい旨)
A-d-553-2	◇	12月4日	記 (木材代など受取証)
A-d-553-3	◇	1月13日	(書状、協議での積もり書を送付するが控えが無いので帰宅の際に持 参してほしい旨)
A-d-553-4	◇	11月30日	記 (ハリ代など受取証)
A-d-553-5	◇		(戸籍写、石川重之・みつ・浚)
A-d-553-6	◇		御賄料未払分・御手許分
A-d-553-7	◇		(包紙)
A-d-553-8	◇		(封筒)
A-d-554	◇	明治36年12月31日	記 (購入品代金請求書)
A-d-555	◇	明治37年1月27日	記 (御用達金受取内訳)
A-d-556-1	◇	明治37年2月17日	(通知文、国庫債券応募の際は当銀行へ申し込みくださる旨)
A-d-556-2	◇	明治37年2月26日	(通知文、国庫債券応募につき国家非常の場合は華族諸侯に特殊の取 り計らいをする旨)
A-d-556-3	◇		国庫債券発行規程 (写)
A-d-556-4	◇	明治37年3月日	国庫債券応募申込書
A-d-557-1	◇	明治37年2月19日	(通知文、臨時総会を開き国庫債券応募の協議をする旨)
A-d-557-2	◇	明治37年2月19日	(通知文、義挙として国庫債券応募の勧告)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
柳沢出羽守保明 (花押)	石川主水様	状、折紙	1	
紀伊宰相綱教 (花押)	石川主水殿	状、折紙	1	
尾張大納言光友 (印)	石川主水殿	状、折紙	1	
紀伊中納言綱教 (花押)	石川近江守殿	状、折紙	1	
小出丹後守有雪 (花押)	石川主水様	状、継紙	1	
尾張中将吉通	石川近江守殿	状、折紙	1	
堯圓 (花押)	石川主水殿	状、折紙	1	
石川内膳	松前主馬さま	状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、横帳	1	
石川立政	上牧正徳	冊、縦帳	1	
		状、縦紙	1	断簡
衣笠政好	牧・上牧・高橋・井上様	状、縦紙	2	封筒とも
奥山麓	牧婦童様・上牧正徳様・外 惣代衆御中	状、縦紙	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
大蔵大臣		状、縦紙	2	封筒とも
御本家石川様家扶 堀池長積・ 岩城雄 (印)	御末家石川様御家扶 高橋 矩常殿・大日方直廉殿	状、縦紙	1	
石川成秀様家扶	石川重之様御家扶 高橋矩 常殿・大日方直廉殿	状、縦紙	1	
建具屋国吉	石川様	状、縦紙	1	
岡田	牧君	状、継紙	1	
板谷善吉	石川重之様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
大日方	牧婦童様	状、継紙	1	「華族令在中」とあり
大日方直廉	石川様内 牧婦童様	封筒	1	「書類入」とあり／追って書き「高 橋氏及□議員諸士江宜敷奉願候也」
	石川様	状、継紙	1	
石川重之家扶代 牧婦童	堀江亀一郎殿	状、縦紙	1	
株式会社十五銀行取締役取 園田孝吉		状、縦紙	2	封筒とも
株式会社十五銀行頭取 園田孝吉		状、縦紙	1	
(代理取扱株式会社十五銀行)		状、縦紙	1	
株式会社十五銀行取次	日本銀行御中	状、縦紙	2	記入なし／書式2部
華族会館長 公爵 徳川家達		状、縦紙	2	封筒とも
華族会館長 公爵 徳川家達		状、縦紙	1	余白に申し込み等の事情につい て書き込みあり



資料番号	マイク	年代	表題
A-d-557-3	◇	明治37年2月19日	(通知文、恤兵・戦死者遺族救助の寄附を本館へ申し出てほしい旨)
A-d-558	◇	明治37年3月4日	証明(石川重之転籍証明書)
A-d-559	◇	明治37年3月21日	本紙端書(国庫債券応募申込高の内475円が募集外れになったことにつき)
A-d-560	◇	明治37年3月日	(書状下書、軍事多事につき戸田様先代一周忌出席辞退を勧める建言)
A-d-561	◇	2月2日	(書状、婚礼の次第について)
A-d-562	◇	2月7日	(書状、縁女道具・看板等につき)
A-d-563	◇	3月2日	記(購入品代金請求書)
A-d-564	◇	3月22日	(書状、雑用金持参の節、小使金7円持参されたい旨)
A-d-565	◇	3月24日	(書状、本家岩城家扶への依頼につき町田・大日方氏と打ち合わせてほしい旨)
A-d-566	◇		支払残予算(支払い残高内訳)
A-d-567-1	◇	1月31日	記(釘代等書付)
A-d-567-2	◇	1月31日	記(代金等書付)
A-d-568-1	◇		東京ヨリ御廻し之品(什器・夜具などの道具の書付)
A-d-568-2	◇	6月30日	(金銭高の書付)
A-d-568-3	◇		記(什器・夜具などの道具の書付)
A-d-569	◇		(書状、至急お目にかかりたい旨)

## B 系図・親類書

資料番号	マイク	年代	表題
B-1	◇	享保13年2月 享保16年3月(貼紙)	覚(先祖勤書・親類書上)
B-2	◇	享保16年3月	(親類書上)
B-3-1	◇	享保20年3月	覚(先祖勤書・親類書上)
B-3-2	◇		覚(先祖勤書)
B-4	◇	(享保年間)	覚(先祖勤書)
B-5	◇	明和3年2月	金性御名乗(正遠の名乗りの書付)
B-6	◇	天明5年4月25日	過去記(牧家代々戒名覚)
B-7-1	◇	寛政13年1月23日	(曾祖父源五兵衛日記の記事書き抜き)
B-7-2	◇	文化元年7月	文化元子年七月羽州牧志津摩殿へ右之趣正遠申遣候(由緒書につき牧村郷土牧次右衛門の件書付)
B-8	◇	文化13年8月	親類書
B-9	◇	文政元年7月	精霊年回繰出(牧家過去帳)
B-10		安政5戊午年11月	由緒書(富松内膳正賢～牧十右衛門)
B-11	◇	(安政5年以降)	(牧十右衛門・上牧退塾勤書)
B-12	◇	安政7年閏3月	宗旨証文之事
B-13	◇	万延元年閏3月	覚(牧家宗旨証文)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
華族会館長 公爵 徳川家達		状、竖紙	1	
茨城県真壁郡下館町長 早瀬建(印)		状、竖紙	1	
日本銀行	茨城県真壁郡下館町六 石川重之殿	状、継紙	1	
牧帰童	石川子爵閣下	状、竖紙	1	
石川幸□	奥山大人	状、継紙	1	
石川	奥山様	状、継紙	1	
	石川様	状、継紙	1	
重之	牧・大日方殿	状、継紙	1	
石川	牧帰童殿	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
板谷利兵衛	石川様	状、継紙	1	
板利	石川重之殿	状、継紙	1	
		状、折紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
石川	牧兄閣下	状、継紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
牧藤左衛門	加藤斎院殿	状、継紙	1	端裏書:「享保十三申年差出由緒書控滝見助右へ相渡、□作殿御留守、御留守詰也/藤左衛門正房」
牧藤左衛門	加藤斎院殿	状、継紙	1	前欠
牧藤左衛門	加藤斎院殿	状、継紙	1	端裏書:「享保二十乙卯三月十一日滝見助右衛門殿へ持参控/加藤斎院組 藤左衛門」
加藤斎院組 牧藤左衛門		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	前後欠
高野尚白	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
牧左兵衛均正		状、継紙	1	後欠
牧志津摩		状、継紙	2	包紙上書:「寛政十三年西正月廿三日/織田左近将監様御家中牧志津摩持参書付式通」
		状、継紙	1	
石川中務少輔家来 東八太夫・奉公人 錦		状、竖紙	1	
十一代牧正道		状、継紙	1	
		冊、横半帳	1	20丁
		冊、竖帳	1	
撰州嶋上郡上牧村 本澄寺 観成院 印	大日方嘉右衛門殿・田中三郎兵衛殿・星野右門殿	状、継紙	1	端裏書:「□旨証文下書」
牧志摩	大日方嘉右衛門殿・田中三郎兵衛殿・星野右門殿	状、継紙	1	端裏書:「万延元年庚申年閏三月改、下書」

資料番号	マイク	年代	表題
B-14	◇	万延元年閏3月	宗旨証文之事
B-15	◇	万延元年閏3月	(書状、当藩中一統宗門改年につき前々の通り観成院印形・証文を送ってほしい旨)
B-16	◇	明治4辛未年8月	覚(親類名前書上)
B-17	◇	明治19年1月12日	記(親類名前書上)
B-18	◇	明治31年11月14日	親類書
B-19-1	◇		(先祖書、牧十右衛門～当人牧十右衛門正扶)
B-19-2	◇	明治37年9月8日	親族書
B-20	◇	昭和7年12月	牧家子孫系図
B-21	◇	子年4月	牧十左衛門殿先祖并覚書
B-22	◇	子年4月	牧十左衛門殿先祖并覚書
B-23	◇	子年8月	親類書
B-24	◇	辰年2月	(親類名前書上)
B-25-1	◇	巳年3月	親類書
B-25-2	◇		牧氏先祖書
B-25-3	◇		鶴殿氏系図ヌキ書・富松氏系図抄
B-26	◇	閏1月5日	(書状、宗門改の際の観成院証文受取につき別紙書状を撰州鶴殿村鶴殿五郎兵衛方へ届けてほしい旨)
B-27	◇	4月15日	(書状、宗門改・観成院証文につき返書)
B-28	◇	4月	親類書
B-29	◇	12月	覚(親類名前書上)
B-30	◇	12月	覚(親類名前書上)
B-31	◆		橘姓牧家系図
B-32	◇		橘氏牧家系図
B-33	◇		先祖書(牧内膳正賢～甚五兵衛正易)
B-34	◇		(先祖書、富松内膳正賢～当人牧十右衛門正供)
B-35	◇		由緒書(富松内膳正賢～牧仙蔵正達)
B-36	◇		(牧家由緒書抜)
B-37	◇		親類書
B-38	◇		覚(親類名前書上)
B-39	◇		覚(撰州嶋上郡鶴殿村親類書)
B-40	◇		(撰津・肥後の親類書)
B-41	◇		(覚書、親類書廻方・結納のこと等)
B-42	◇		(覚書、牧正扶・正達履歴)
B-43	◇		(牧家過去帳、永禄～明和)
B-44	◇		(牧家過去帳、寛永～天明)
B-45	◇		(牧家戒名書上)
B-46	◇		(牧家戒名書上)
B-47	◇		(徳川家・石川家・牧家代々戒名一覧)
B-48	◇		(法名書付)
B-49	◇		(法名書付)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
撰州嶋上郡上牧村 本澄寺 観成院 印	大日方嘉右衛門殿・田中三郎兵衛殿・星野右門殿	状、継紙	2	短冊とも(「万延元庚申年攝州上牧村本澄寺観成院江遣シ候宗」)
		状、継紙	1	後欠
牧仙十郎 印		冊、縦帳	1	
上牧三郎		状、継紙	1	
牧正覚		状、折紙	1	
		冊、縦帳	1	
牧正寛		状、折紙	1	
		状、継紙	1	
伊庭五郎兵衛	牧十左衛門様	状、継紙	1	
伊庭五郎兵衛	牧十左衛門様	状、継紙	1	
遠山左衛門		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
味岡空之允		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
牧志摩	和田五郎太夫様	状、継紙	1	端裏書:「下書」
鶴殿五郎兵衛	牧志摩様	状、継紙	2	包紙とも
横田藤馬		状、折紙	3	
牧十右衛門		状、継紙	1	
牧十右衛門		状、継紙	1	
		状	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		冊、縦帳	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		状、折紙	1	
		状、折紙	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
		冊、横帳	1	
		冊、横半帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	前欠

C 冠婚葬祭

資料番号	マイク	年代	表題
C-1	◇	貞享2年7月23日	万頭書并御□□覚
C-2	◇	天明2年4月	当家諸式礼
C-3	◇	天明7年	西ノ暮改所々文通之覚
C-4-1	◇	文化3年8月19日	(書状、父甚五兵衛病死につき悔状)
C-4-2	◇	2月29日	(書状、先年提出の天和年中先祖書が見当たらないため、この度の御用にあたって差し出すべき旨)
C-5	◇	安政元年1月23日	(書状、11月9日御賢父死去につき悔状)
C-6	◇	安政元年正月	(書状、父親死去につき悔状)
C-7	◇	安政元年4月15日	(書状、去冬牧志摩死去の趣を申し越され委細承知の旨)
C-8	◇	明治39年8月1日	金婚式賀帖
C-9	◇	明治45年3月30日	祭文(西南の役から日露戦役に至る本郡出身殉難者の霊を祭る文)
C-10	◇	大正8年3月29日	吊詞(牧正寛死去につき)
C-11	◇	申年7月	覚帳(盆に遣わした手拭などなどの書付ほか雑記)
C-12	◇	1月5日	(書状、年賀の挨拶)
C-13	◇	1月15日	(書状、年賀の挨拶)
C-14	◇	1月25日	(書状、年賀の挨拶)
C-15	◇	1月	御床飾御膳部之次第
C-16	◇	2月2日	(書状、縁組の祝状)
C-17	◇	2月19日	(書状、年賀の挨拶)
C-18	◇	2月27日	(書状、十右衛門方へ嫁した娘のことにつきよろしく頼む旨)
C-19	◇	2月27日	二月廿七日献立
C-20-1	◇	2月28日	(書状、年賀の挨拶)
C-20-2	◇	4月20日	(書状、逗留の礼および砲術についての意見)
C-21	◇	5月1日	(書状、婚姻が無事済み安心、種村の発案でいまして逗留する旨)
C-22	◇	8月19日	(書状、甚五兵衛死去につき葬式を済ませたことなど)
C-23	◇	8月19日	(書状、姫子帰りの節の礼など)
C-24	◇	8月21日	八月廿一日被召呼候而御料理被下(御本丸御坊主・西丸御坊主名前書上)
C-25	◇	10月28日	(書状、花嫁への祝儀が間に合わないことを前もって知らせる旨)
C-26	◇	11月9日	おれん嫁入一件
C-27	◇	11月18日	(書状、法事の節は吉郎兵衛に世話になったので厚く挨拶すべき旨)
C-28	◇	11月26日	(書状、寒中見舞い)
C-29	◇		(書状、年頭の挨拶)
C-30	◇		(書状、年賀の挨拶)
C-31	◇		(書状、御引移り万端滞りなく済みめでたい旨)
C-32	◇		(書状、年賀の挨拶)
C-33	◇		(書状、年始の挨拶)
C-34	◇		(書状、太兵衛死去につき悔状への返信)
C-35	◇		御悔帳(人名書上)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、横半帳	1	
勝茂(花押)	中沢力之助殿	冊、縦帳	1	「服部氏蔵書印」あり
		冊、横半帳	1	
牧庄右衛門正専(花押)・牧監物正常(花押)・牧三耕正□(花押)	牧民也様	状、折紙	1	
平岩文左衛門	牧藤左衛門殿	状、継紙	1	
鶯殿五郎兵衛正豊(花押)	牧乾様	状、継紙	1	
加藤源六	牧乾様	状、継紙	1	
摂州上牧 観成院	常州下館御城内 牧乾様	状、継紙	2	包紙とも
		状、折本	1	状2点挟み込み
(牧正寛)		状、継紙	1	未完
下館町長 水越喜之助		状、継紙	1	
		冊、横半帳	1	
加藤源六鷹蔵(花押)	牧様	状、折紙	1	
加藤源六(花押)	牧志摩様	状、折紙	1	
田口吉之助義信(花押)	牧志摩様・御近士中	状、折紙	2	包紙とも
		状、継紙	2	包紙とも
牧野四郎右衛門光保(花押)	牧十右衛門様	状、折紙	1	
遠山空之丞正高(花押)	牧志摩様	状、継紙	1	
種村深右衛門高明(花押)	奥山忠右衛門様	状、折紙	1	
		状、継紙	1	
加藤半蔵戴基(花押)・加藤源六鷹蔵(花押)	牧乾様	状、折紙	2	包紙とも
加藤源六鷹蔵(花押)	牧志摩様・牧乾様	状、継紙	2	包紙とも
牧野	牧様	状、継紙	1	
牧庄右衛門正専(花押)	富松源吾右衛門様	状、折紙	1	
種むらつた	まき御あね様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
種むらつた	まき御姉様	状、継紙	1	
		冊、横帳	1	
退梨	志摩様	状、継紙	1	前欠
米屋平太郎茂晴(花押)	牧志摩様・御侍衆中様	状、折紙	1	
あい	お数殿	状、折紙	1	
自伝院	牧御あね様	状、折紙	1	
定右衛門内	御姉様	状、折紙	1	
		状、折紙	1	
		状、折紙	1	
つた	御あね様	状、継紙	1	後欠
		冊、横帳	1	

資料番号	マイク	年代	表題
C-36	◇		目出度（嫁入道具など書上）
C-37	◇		覚（婚礼につき）
C-38-1	◇		御結婚式次第
C-38-2	◇		祝詞ノ抜粹
C-39	◇		（書状、志摩初孫の祝儀に対する礼状）
C-40	◇		蠟中至來物覚
C-41	◇		（贈答品書上）
C-42	◇		覚（料理献立）
C-43	◇		覚（料理献立）
C-44	◇		（献立表）
C-45	◇		（献立表）
C-46	◇		賀 牧先生之功績

#### D 炮術・武術

資料番号	マイク	年代	表題
D-1	◇	慶長17年	（刀の銘の書上）
D-2-1	◇	慶長18年2月	（兵学系統図等）
D-2-2	◇		火箭之薬
D-2-3	◇		（砲術の図説）
D-3	◇	慶長19年	（砲術秘伝書）
D-4	◇	寛永11年孟夏	（弓術秘伝書）
D-5	◇	寛永18年1月	如手引集（刀の目利き心得）
D-6	◇	慶安5年8月9日	（馬術心得書）
D-7	◇	享保13年9月28日	大坪本流遠乗桜狩秘法
D-8	◇	明和9年5月	小町目録（砲術伝書の目録）
D-9	◇	天明7年6月	鎗術覚書
D-10	◇	寛政11年5月	馬道具蓋具
D-11-1	◇	寛政11年7月	高麗流八條手綱目録
D-11-2	◇		高麗流八條秘密之巻
D-12	◇	享和元年11月	享和元年酉霜月六日於城州深草山萩野流坂本孫之進門人大筒町打并昼夜相図之覚
D-13	◇	享和3年8月	萩野流増補新術式百目玉大矢炮録之図
D-14	◇	（文化3年以前）酉年11月	覚（鉄砲放数書上）
D-15	◇	（文化3年以前）	（覚、音無シ上ケ薬法ほか大筒・小筒などの打ち方の解説）
D-16-1	◇	文化14年11月17日	目録（甚五兵衛の懇望により銃術極意ヶ条の返却を延期する旨）
D-16-2	◇	11月12日	（書状、亡父様より譲られた砲術の書物類を預けておくので披見・修行なさるべき旨）
D-17	◇	文政7年11月	（鉄砲技術皆伝書）
D-18	◇	嘉永元年4月4日	（誓詞覚、小屋入相伝につき）
D-19	◇	嘉永4年7月26日	萩野流稽古打（順番・人名書上）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、折紙	2	包紙とも
		状、継紙	1	
西法院	早川殿	状、折紙	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前欠
		状、継紙	1	前後欠
天泉八十翁		状	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
竹田聴賢忠直（花押）	牧仙十郎殿	状、継紙	1	
秀光	牧仙十郎殿	状、継紙	3	
		状、継紙	1	
牧七郎右衛門		状、継紙	2	
難波一捕斎久永（花押）	今井為兵衛尉殿	状、折本	1	
葛巻源左衛門尉義次（花押）		冊、縦帳	1	綴じひも欠
蜂屋理左衛門（花押）	浅山左次兵衛殿	冊、横半帳	1	
吉江武左衛門尉重長（花押）	石川角弥殿	冊、縦帳	1	
斎藤主税藤原定易・丸佐助菅原義□・等水軒（花押）	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
三木十左衛門・東忠左衛門慶致・東忠左衛門	名 殿	状、継紙	1	端裏書：「此書追而巻物ニ懸可置事」
牧正達		冊、横半帳	1	
高原右仲直定（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
高原右仲直定（花押）	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		冊、横帳	1	
牧正達		状、継紙	1	
牧正達		状、継紙	1	
牧正達		状、折本	1	「牧」印／「正達」印
萩野三代照良門人 安田良助知屋（カ）（花押）	牧十右衛門殿・渋谷柳助殿・加納弥五郎殿	状、折紙	2	包紙（表に「萩野流伝書目録」の墨書あり）
安田良助知屋（花押）	牧十右衛門殿	状、折紙	1	
当流三代 萩埜六兵衛照長・安田碧圓入道知屋（花押）	牧志摩殿	状、継紙	1	
今井藤太・永井半次・坂の弥三郎	牧志摩殿	状、継紙	1	
		冊、横半帳	1	



資料番号	マイクロ	年代	表題
D-20	◇	(嘉永6年以前)9月13日	(書状、逗留中の心遣いへの礼と近況、神文認方についての意見)
D-21	◇	嘉永7年閏7月1日・2日	嘉永七年寅閏七月朔日二日出久下河原荻野流百目玉巢中式尺六寸所持之筒にて玉町并ニ雑木林火矢五町中り打
D-22	◇	嘉永7年11月20日	極意神文前書之事
D-23	◇	(安政期)	荻野流砲術段格之覚 (ほか打薬法・稽古要領など書付)
D-24	◇	安政6年3月19日	采幣伝 (秘伝書)
D-25	◇	慶応3年12月	御積立金請取帳
D-26	◇	慶応3年12月	慶応三丁卯年十二月改荻野流砲術場格 (師範・皆伝・極意・免状等の人名書上)
D-27	◇	丑年2月	(書状、槍術上達につき新判頭並に加える旨)
D-28	◇	寅年7月	覚 (東郷・西郷への貸付馬金手形の額)
D-29	◇	午年4月	自得流火術
D-30-1	◇	午年6月	覚 (鉄砲代金書上)
D-30-2	◇	9月26日	覚 (代金書上)
D-30-3	◇		覚 (料金の書上)
D-31	◇	午年11月9日	(午年十一月九日、太田撰津守ほか御城請取の際の陣立て)
D-32	◇	申年10月5日	覚 (大工手間代・屋根屋手間代など)
D-33	◇	申年12月29日	覚 (鉄砲稽古面々より内借増金を受け取った旨)
D-34	◇	酉年7月21・22日	荻野流砲術西七月廿一日廿二日出久下村河原追善打として抱打中り打早打乱火矢巻鉋録城内打□□打矢鉋録壺寸三分五厘矢玉打順名面
D-35	◇	戌年5月	(書状、槍術練磨昇進により古伴頭部に加入せしめる旨)
D-36-1	◇	戌年8月20日	奉願口上之覚 (病気のため常州湊濱への湯治につき十五日の暇を下されたい旨)
D-36-2	◇	1月11日	(書状、旧蠟燭参について願いが認められたことへの御礼と年賀の祝儀)
D-36-3	◇	2月10日	(書状、年始の書面を殿様に達した旨)
D-36-4	◇	8月10日	(覚、築場での代金支払いにつき書付)
D-36-5	◇	9月11日	口上 (二ノ丸見廻り終了後、拙宅に立ち寄ってほしい旨)
D-36-6	◇	12月2日	覚 (弓術稽古の入用につき)
D-37	◇	亥年4月	老陽大寸合 (火縄の扱い方などにつき書付)
D-38	◇	3月2日	(書状、亡父様同様砲術師範となられるにつき訪問したいが、異国船一件のため遠慮する旨)
D-39	◇	3月25日	(書状、砲術修行のため岩槻藩田口吉之助・佐々木兼作・田中秀次が訪問してきた旨)
D-40	◇	6月3日	(書状、遠乗りの際の含葉の処方について)
D-41	◇	7月28日	荻野嫡流派稽古打名前
D-42	◇	9月25日	(書状、遣わされた馬二疋を預かっている旨)
D-43	◇	10月23日	(書状、柳助様十七回忌、勘太夫様百か日の追善打の様子について承った旨)
D-44	◇	11月28日	(書状、二百目玉筒についてのお問い合わせに対して委細を図面にしたので検討してほしい旨)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
加藤源六鷹蔵 (花押)	牧志摩様・牧乾様	状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
石川重之助内 坂野弥三郎信光 (花押)	牧乾殿・忍 加藤源六殿	状、継紙	2	包紙とも
		冊、横半帳	1	
石川管公理 (花押)	牧乾殿	状、折紙	2	包紙とも
高嶋良輔 (印)・金五郎	牧様ほか4名	冊、横半帳	1	
		状、継紙	1	
大嶋雲五郎 (花押)	牧十右衛門殿	状、継紙	1	
戸田尉右衛門		状、継紙	1	
三坂清右衛門久豊 (花押)		状、継紙	1	
井上与三兵衛 (印)		状、継紙	1	端裏書：「境鉄砲仲ニ差出候書付」／破断2箇所
大坂庶物町式丁目 御武具馬具用草類 火事羽織所 中村屋伊左衛門	東忠左衛門様	状、継紙	1	
小山甚兵衛	東忠左衛門様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
戸田尉右衛門		状、継紙	1	
牧志摩	戸田尉右衛門	状、継紙	1	端裏書：「四月十三日内借之分返可申候」
		冊、横帳	1	
大嶋雲五郎 (花押) (印)	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
牧志摩	江戸下館当役宛殿	状、継紙	1	
三上源太夫忠典 (花押)	牧志摩様	状、継紙	1	
伊藤平六景慶 (花押)・中村弥兵衛正雅 (花押)	牧志摩殿	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
柴田	牧様	状、継紙	1	
永島作太郎	牧様	状、継紙	1	
関信見		状、継紙	1	端裏書：「不免他見可秘者也」
加藤源六鷹蔵 (花押)	牧様	状、継紙	1	
加藤源六鷹蔵 (花押)	牧志摩様	状、折紙	1	
高原右仲直定 (花押)	牧甚五兵衛様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	
高原右仲直定 (花押)	牧甚五兵衛様	状、継紙	1	
加藤源六鷹蔵 (花押)	牧志摩様	状、継紙	1	
加藤源五郎 (花押)	牧甚五兵衛様	状、折紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
D-45	◇	12月	覚（刀一腰の目録）
D-46	◇		皆伝極秘書
D-47	◇		乱打小屋入神文前書之事
D-48	◇		極意神文前書之事
D-49	◇		小笠原流早込鉄砲秘事
D-50	◇		矢兼拳秘伝目録之内ニ認有之分抜書
D-51	◇		(砲術書序文)
D-52	◇		秘伝（春木五左衛門相伝）
D-53	◇		鉄砲薬之法・続松之法
D-54	◇		矢玉拵之覚
D-55	◇		伊藤新左衛門方花間法
D-56	◇		三木流棒火矢打薬法
D-57	◇		(矢玉拵えの覚)
D-58	◇		(矢の目録)
D-59	◇		(砲術関連項目書上げ)
D-60	◇		蒔田村字麦之内ニおゐて萩塾流二百目玉単中二尺八寸濤筒筒玉町稽古打名前
D-61	◇		直才目録（砲術伝授者名前書上げ）
D-62	◇		伊賀流方円管舎之図
D-63-1	◇		萩野流五拾目出筒抱
D-63-2	◇		(砲術に関する覚書)
D-64	◇		覚（鉄砲の相図など）
D-65	◇		覚（鉄砲の仕様）
D-66	◇		(書状添書、奥方様へしかるべきよう伝えてほしい旨、百目筒について当夏拝見にまかり出る旨)
D-67	◇		(享和元年城州深竹山町打の節の相図の控、文化元年武州徳丸原での筒立放の覚)
D-68	◇		(稽古打につき順番・人名書上)
D-69	◇		(稽古打につき順番・人名書上)
D-70	◇		(覚書、百目矢場相図について)
D-71	◇		三百目矢拵往来など
D-72	◇		陸地より山江打節の矢倉見込より下タヲ見込事（飛距離と仰射角の関係図）
D-73	◇		百目巢中貳尺三寸筒短割之覚
D-74	◇		百目昼相図数六本
D-75	◇		六貫目玉筒巢中三尺貳寸五分焼破拾町（筒寸法書付）
D-76	◇		百目矢砲録矢数四本（筒寸法書付）
D-77	◇		二百目玉筒 巢中二尺貳寸（筒寸法書付）
D-78	◇		(大筒の図)
D-79	◇		(大筒の見取図)
D-80	◇		(書状、昨日土屋様にて三百五十目打を見物し感心した旨)
D-81	◇		(御氏御師南を仰せ蒙られたことを祝う歌一首)
D-82	◇		献捷録卷之一 人数押

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、継紙	1	
加藤源六鷹藏（花押）(印)		冊、縦帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	案文
		状、継紙	1	
		冊、横半帳	1	
大橋昌辰		状、継紙	1	前欠
	今井為兵衛尉殿	状、折本	1	前欠
		冊、縦帳	1	
牧		冊、横半帳	1	
		状、折本	1	前欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前欠
		状、折紙	1	前欠
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		状、絵図	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		綴	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、絵図	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、絵図	1	
		状、絵図	1	
		状、継紙	1	前後欠
千本亭松茂		状、継紙	1	端裏書：「忍御藩加藤先生の筆」
		状、継紙	1	

資料番号	マイクロ	年代	表題
D-83	◇		献捷録卷之十一 軍用
D-84	◇		(刀一腰の目録)
D-85	◇		(刀剣の図解)
D-86	◇		馭馬廿七ヶ條
D-87	◇		曲験金之卷 (馬術相伝書)
D-88	◇		(書状、馬のひむしの仕方について)
D-89	◇		(書状、遠乗りの際の馬の飼料について)
D-90	◇		執鎗手段
D-91	◇		(書付、剣道の防具について)
D-92-1			刀剣受授法
D-92-2			刀剣受授法
D-92-3			長太刀目録
D-92-4			穴澤流長太刀
D-92-5			射撃法
D-92-6			小笠原流弓道
D-92-7			小笠原流食膳
D-92-8			點心次第

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		冊、堅帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
		状、継紙	1	前後欠
		冊、堅帳	1	
		状、継紙	1	
		卷子	1	絵あり／慶長17年の年紀あり
		卷子	1	絵あり／慶長17年の年紀あり
		卷子	1	慶長18年の年紀あり
		卷子	1	慶長18年の年紀あり
		卷子	1	絵あり／慶長17年の年紀あり
		卷子	1	絵あり／慶長17年の年紀あり
		卷子	1	絵あり／慶長17年の年紀あり
		卷子	1	絵あり／慶長17年の年紀あり

## E 家計

資料番号	マイクロ	年代	表題
E-1	◇	元禄2己巳年8月4日	預り申御家鋪田畠之事 (御屋敷四畝八歩など)
E-2-1	◇		拵書付
E-2-2	◇	元禄15午年9月3日	(刀作成・備前国盛ヶ原・代金子五枚)
E-2-3	◇	享保2酉年3月3日	(刀作成・美濃千平院・代金子五枚)
E-2-4	◇		(スリ上・刀・金三枚五両)
E-2-5	◇		(スリ上・中脇差・金貳枚)
E-2-6	◇		(スリ上・中脇差・金壹枚五両)
E-3-1	◇	正徳3年12月19日	永代売渡し候田地之事
E-3-2	◇	正徳4午年7月4日	預り申御家屋敷畠之事 (御屋鋪四畝八歩など)
E-4	◇	寛政元酉年6月	御屋敷一札之事 (御屋鋪御年貢払方につきなど書上)
E-5-1	◇	文化元甲子年11月	預申金子之事 (合金百両預りにつき)
E-5-2	◇	8月	口上之覚 (屋根大破建直代金の金策につき)
E-6-1	◇	文政9丙戌年10月	借用申金子之事 (金貳拾兩借用につき)
E-6-2	◇	文政9丙戌年12月	借用申金子之事 (金三兩借用につき)
E-6-3	◇	文政9丙戌年12月	覚 (金五両金子借用につき)
E-6-4	◇	文政10亥年1月	覚 (金貳兩三歩預りにつき)
E-6-5	◇	戊年12月19日	覚 (金三歩元金五十兩利足請取につき)
E-6-6	◇	戊年12月26日	覚 (金拾兩借用につき)
E-6-7	◇	亥年1月15日	覚 (金子差引書上)
E-6-8	◇	12月11日	覚 (金貳百疋)
E-6-9	◇	12月	覚 (金貳朱銀三匁六歩利金につき)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
上牧村預り主久右衛門印ほか2名	牧甚五兵衛様ほか1名	状、堅紙	1	
		包紙	1	
本阿 (花押)		状、折紙	1	刃剣拵代金
本阿 (花押)		状、折紙	1	刃剣拵代金
		状	1	刀銘書
		状	1	刀銘書
		状	1	刀銘書
牧十右衛門印	牧庄右衛門殿ほか2名	状、堅紙	1	
預り主吉郎右衛門印ほか2名	牧重右衛門様	状、堅紙	1	
御屋鋪守吉郎右衛門印ほか2名	牧庄右衛門殿ほか1名	状、堅紙	1	
東忠左衛門印ほか2名	雨森又右衛門殿	状、堅紙	1	
雨森浪江		状、継紙	1	
渋谷傳左衛門 (印)	八幡屋清兵衛殿	状、堅紙	1	
柴田理兵衛 (印)	牧志摩様ほか1名	状、継紙	1	
牧志摩 (印)	川崎才兵衛様	状、継紙		
川崎才兵衛 (印)	牧志摩様	状、堅紙	1	
八幡屋清兵衛 (印)	渋谷傳左衛門様	状、堅紙	1	
牧志摩 (印)	川崎才兵衛様	状、堅紙	1	
才兵衛	志摩様	状、継紙	1	
川崎才兵衛 (印)	牧志摩様	状、継紙	1	
川崎才兵衛 (印)	牧志摩様	状、堅紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
E-6-10	◇		覚（金子差引書上）
E-6-11	◇		覚（金拾五兩の利足につき）
E-7	◇	天保3壬辰年12月	借用仕金子之事（金拾兩借用につき）
E-8	◇	天保3壬辰年12月	借用申金子之事（金貳兩拝借につき）
E-9	◇	天保4巳年1月	覚（七兩之内金五兩借用につき）
E-10	◇	天保6乙未年3月	借用仕金子之事（金拾兩借用につき）
E-11	◇	嘉永3戌年12月	借用申金子之事（金三兩借用につき）
E-12	◇	嘉永5壬子年1月～	御扶持米通
E-13	◇	嘉永7甲寅年2月吉日	金銭請払帳
E-14	◇	安政3丙辰年6月	御役料米代金請取通
E-15	◇	安政4丁巳年1月～	金銭請払通
E-16	◇	安政6己未年12月	金銭請払帳
E-17	◇	慶応3年	慶応三丁卯年暮向中勤
E-18	◇	明治元戊辰年12月	当辰暮請払向調帳
E-19	◇	明治2己巳年1月17日	辰暮諸向買掛払帳
E-20	◇	明治9年6月23日～	（金銭出納覚）
E-21-1	◇	明治9年12月8日	（秩禄公債代金受取につき）
E-21-2	◇		玉火矢免帖序
E-22	◇	明治9年12月	為池田家御他借元利取調
E-23	◇	明治10丁丑年11月29日	（金銭出入帳）
E-24	◇	明治23年3月31日	納税額（合計金拾七円五拾六銭壹厘）
E-25	◇	明治27年1月12日	記（金八円・御賄料請求）
E-26	◇	明治28年5月8日	廿八年五月八日茶葉賃借目方扣
E-27-1	◇	明治28年11月	領取証（金五拾銭・撃剣場建設費補助金）
E-27-2	◇	明治□年3月9日	（包紙・金貳拾五銭・両陛下御結婚二十五年御祝儀）
E-28	◇	明治36年11月17日・11月20日	設計書（代金見積・追加ノ部）
E-29	◇	明治37年1月29日	支払見積り（土蔵工事代金などメ金百七拾壹円八拾五銭三厘）
E-30	◇	明治37年2月	明治三十七年二月旧暮払予算（総計メ金貳百九拾三円六拾三銭）
E-31	◇	明治37年2月～	三十七年二月ヨリ現在費（メ金千貳百貳拾円四拾八銭）
E-32-1	◇	明治37年3月6日	小為替金受領證書（金壹円貳拾五銭・記号番号とと二八六〇五）
E-32-2	◇	明治37年3月6日	小為替金受領證書（金壹円貳拾五銭・記号番号とと二八六〇六）
E-32-3	◇	明治37年3月6日	小為替金受領證書（金壹円貳拾五銭・記号番号とと二八六〇七）
E-32-4	◇	明治37年3月6日	小為替金受領證書（金壹円五拾銭・記号番号とと二八六〇八）
E-33	◇	明治37年6月	三十七年六月迄支払（土蔵建築代金など）
E-34-1	◇		（お祝いの金品書上）
E-34-2	◇	明治39年8月	金婚賀之節盃配当
E-34-3	◇	明治39年8月1日	牧婦童金婚賀之節来客
E-35	◇	明治43年1月1日	円借用證（金參百拾円）
E-36	◇	12年～14年	記（12年～14年までの小作米・扶持米・献納米などの覚）
E-37	◇	14年	（利子米・小作米の覚）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
宮地與一太夫（印）	牧志摩殿・川崎才兵衛殿	状、縦紙	1	
舟木二楽（印）	川崎才兵衛殿	状、縦紙	1	
保多惣右衛門（印）	牧志摩様	状、縦紙	1	
有田半助（印）	牧志摩殿	状、縦紙	1	
借主牧志摩（印）ほか1名	田宮伊右衛門殿	状、縦紙	1	印が消されている（無効）
牧		冊、横半帳	1	
牧姓		冊、横帳	1	
牧氏		冊、横半帳	1	
		冊、横半帳	1	
牧		冊、横半帳	1	
		冊、横帳	1	
牧氏		冊、横帳	1	
牧氏		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	全体に×印あり
第六大区十三小区真壁郡下館士族今井金平（印）ほか2名		状、縦紙	1	前欠
		状、縦紙	1	後欠
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
下館町拾貳番地□族教員牧正寛	下館町長田宮太平殿	状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		冊、横半帳	1	
會主玉水嘉一（印）	牧正寛殿	状、縦紙	1	
		包紙	1	
		冊、縦帳	1	後半の月日は追加ノ部のもの
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
通信省		状、縦紙	1	
通信省		状、縦紙	1	
通信省		状、縦紙	1	
通信省		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横帳	1	
真壁郡下館町借用人牧正寛（印）ほか1名	下館信用組合理事組合長清宮正唯殿	状、縦紙	2	封筒とも
		冊、横帳	1	後欠カ
		状、折紙	1	前後欠



資料番号	マイク	年代	表題
E-38-1	◇	子年5月6日	(質入証文)
E-38-2	◇	2月12日	記(売掛受取・米式斗四升代三円十一錢一厘などメ金壹円廿三錢六厘)
E-38-3-1	◇	4月9日	覚(奥様入用の品々・小半紙など)
E-38-3-2	◇	5月4日	覚(売掛受取・メ三朱余り)
E-38-3-3	◇		覚(金銭出入・しよふき代金一分式朱メ金三分式朱、銭千百八十三文)
E-38-3-4	◇		覚(売掛受取・酒代金壹分)
E-38-3-5	◇	3月21日	覚(売掛受取・蠟燭代式百文などメ七百五十文)
E-38-3-6	◇	3月14日	覚(売掛受取・絹代式朱余り)
E-38-3-7	◇	3月14日	覚(売掛受取・御肴代)
E-38-4	◇	4月29日	(売掛受取・メ皆金壹兩壹分一朱三百六拾式文)
E-38-5	◇	5月14日	記(売掛受取・仙辺代六匁五歩など)
E-39-1	◇	子年12月31日	記(受取覚・半紙一状代金壹錢八厘などメ金七錢四厘)
E-39-2	◇	子年大晦日	記(受取覚・メ三円二十三錢六厘)
E-39-3	◇	丑年2月3日	記(受取覚・真木百七拾五本・代金三円六錢貳厘五毛)
E-39-4	◇	丑年2月11日	記(受取覚・下た一足代三百式十文)
E-39-5	◇	丑年2月12日	記(受取覚・メ式千七百七十五文)
E-39-6	◇	2月12日	記(受取覚・たこ代などメ三貫百五拾文)
E-39-7	◇	2月12日	記(受取覚・諸品代金壹兩)
E-39-8	◇	2月12日	記(受取覚・壹文)
E-39-9	◇	1月31日	記(受取覚・麦代六斗五合代十八錢五厘などメ貳円六十六錢四厘)
E-39-10	◇	2月	記(受取覚・杉くき四本代金三百文)
E-39-11	◇	2月	覚(受取覚・メ式兩式朱)
E-39-12	◇	3月31日	記(受取覚・風呂敷代拾錢ほかメ七拾七錢壹厘)
E-39-13	◇	6月10日	記(受取覚・上米メ壹円九十式錢六厘)
E-39-14	◇	9月30日	記(受取覚・上米壹円)
E-39-15	◇	10月4日	記(受取覚・上米壹斗四夕代壹円拾錢九厘などメ三円七十三錢八厘)
E-39-16	◇	11月2日	記(受取覚・米メ三円八十五錢三厘)
E-39-17	◇	11月15日	記(受取覚・麦壹斗代金式十七錢九毛などメ三円九十九錢九厘九毛)
E-39-18	◇	12月21日	記(受取覚・立通代壹円十式錢五厘などメ金式円五十錢)
E-39-19	◇	12月23日	記(受取覚・舟木代金壹円式十五錢)
E-39-20	◇	12月30日	記(受取覚・酒二代二百文などメ千五百五十文)
E-40-1	◇	子年12月	覚(元利差引につき)
E-40-2	◇	丑年7月18日	覚(金壹兩壹歩御預につき)
E-40-3	◇	7月11日	覚(元金三兩の利足等の金銭書上)
E-40-4	◇	10月26日	覚(牧様御物成の内から金壹兩受取)
E-40-5	◇	11月12日	(書状、金子調達方につき)
E-40-6	◇		覚(元金・利足書上)
E-40-7	◇		覚(金子代米書上・金四兩式朱式歩代米八俵壹斗七合九夕)
E-40-8	◇		覚(メ金拾五兩・代米式拾六俵三斗四升四合四夕の金子書上)
E-40-9	◇		覚(金子書上・金壹兩壹歩余り・牧出金分)
E-40-10	◇		覚(金子差引書上)
E-40-11	◇		(酒代錢三百文など色々金銭差引書上)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、継紙	1	前後欠
田柳家内	牧様	状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	後欠
常州下館井格屋(印)	牧様・御取次様	状、縦紙	1	後欠/E-38-3は綴
		状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
常州下館巴屋吉次郎(印)	牧様	状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
新巴屋屋要七(印)	上様	状、縦紙	1	
		状、継紙	1	前欠
板屋善吉(印)	牧様・御取次衆中様	状、継紙	1	
伊藤子節	露朝様	状、継紙	2	括りひもとも
田柳家内	牧様	状、継紙	1	
根口直藏	牧婦童様	状、縦紙	1	
下たや清助	牧様	状、縦紙	1	
大坂屋作右衛門	牧様	状、縦紙	1	
	牧様	状、縦紙	1	
巴屋吉次郎	牧様	状、縦紙	1	
いとや九兵衛	旧藩内牧様	状、縦紙	1	
田柳家内	牧様	状、縦紙	1	
釜屋安兵衛	牧様	状、縦紙	1	
釜屋安兵衛	牧様	状、縦紙	1	
間々田忠平	牧様	状、縦紙	1	
田柳家内(印)	牧様	状、継紙	1	
田柳家内(印)	牧様	状、縦紙	1	
田柳家内	牧様	状、継紙	1	
田柳家内(印)	牧様	状、継紙	1	
田柳家内	牧様	状、縦紙	1	
とりや喜三郎	牧様	状、縦紙	1	
田柳家内	牧様	状、縦紙	1	
森木	牧様	状、継紙	1	
小田勇助(印)	牧様	状、縦紙	2	括りひもとも
石崎小助	牧様	状、縦紙	1	
三輪清助		状、継紙	1	
大木嘉内	小田勇助様	状、継紙	1	
中村安吉	牧様	状、縦紙	2	封筒とも
		状、継紙	1	後欠
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		綴	1	2枚一綴り

資料番号	マイク	年代	表題
E-40-12	◇		(金子書上)
E-40-13	◇		(金子書上)
E-40-14	◇		(金子書上)
E-41	◇	子年12月	(金銀錢勘定につき)
E-42	◇	子年12月	(金子勘定につき)
E-43	◇	丑年2月12日	記(金三朱受取につき)
E-44	◇	丑年2月	記(年々染ちん勘定書上)
E-45	◇	丑年1月28日	記(真木四拾本代金七拾六銭受取)
E-46	◇	卯年7月13日	覚(扇子式本代三匁壺分などメ金三分三朱百七拾貳文代金書上)
E-47	◇	卯年7月13日	覚(金式歩一朱頂戴につき)
E-48	◇	卯年7月13日	覚(金式分内寅大晦日メ残り一朱受取)
E-49	◇	卯年7月13日	覚(壺両受取)
E-50-1	◇	卯年7月	覚(店との代金式朱など代金差引勘定メ金一朱)
E-50-2	◇	7月10日	覚(拾壺匁一分代金請求)
E-51	◇	卯年7月日	覚(角之木代金一分式朱六百六十文受取)
E-52	◇	卯年7月	覚(鎌などメ八百八十八文受取)
E-53	◇	卯年7月	覚(大四寸百本式百五拾文など各種釘代金メ拾壺貫六百貳拾四文受取)
E-54-1	◇	卯年7月	覚(木槓代八百拾六文受取)
E-54-2	◇	卯年	卯年盆払(金壺両三分セニ式百文板や払などメ金拾兩三分二朱セニ二貫四百三十二文)
E-54-3	◇	7月14日	覚(御茶料金壺朱受取)
E-54-4	◇	7月13日	おほへ(桐下駄一足代式百貳十四文などメ三百四拾八文受取)
E-54-5	◇	卯年7月13日	覚(火入式つ九匁などメ金式朱四百七十二文受取)
E-54-6	◇	卯年7月	覚(壺両四十文受取)
E-54-7	◇	7月	覚(メ式兩ト四百廿六文受取)
E-54-8	◇	卯年7月24	覚(メ八百文受取)
E-54-9	◇	卯年7月13日	覚(まぐろ壺切壺朱などメ金式兩貳貫八百四十四文受取)
E-54-10	◇	卯年7月13日	覚(メ壺貫四百三拾貳文受取)
E-54-11	◇	卯年7月	覚(金子勘定書上)
E-54-12	◇	卯年7月	覚(手掛代三貫三百文などメ金式分式朱貳百拾五文受取)
E-54-13	◇	7月13日	覚(筆壺本代壺匁式分などメ金壺兩貳分式百七文)
E-55-1	◇	卯年7月	覚(亥年品々メ壺貫九百十八文などの内壺朱受取)
E-55-2	◇	卯年7月	覚(酒代金式朱三貫四百六十七文差引勘定)
E-55-3	◇	7月	覚(諸品代金壺兩貳朱二貫拾八文差引勘定)
E-56	◇	卯年	卯年盆前(炭代金壺兩セニ四百文など諸払代金書上)
E-57	◇	辰年6月	請取申米之事(御政務御役料米式俵式斗受取)
E-58	◇	辰年12月～巳年3月	覚(辰十二月より三月迄米代などの書上)
E-59	◇	巳年3月	覚(金八兩壺歩金子借用証文)
E-60	◇	巳年3月	覚(金式兩金子借用証文)
E-61	◇	未年3月1日	覚(金拾五兩金子借用証文)
E-62	◇	未年極月・申年極月	覚(未年・申年年貢収納書上)
E-63-1	◇		撰州上牧村屋敷未申勘定書付

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、豎紙	1	端裏書:「金五兩」
		状、豎紙	1	
		状、継紙	1	前後欠
田宮伊右衛門	牧様	状、継紙	1	前欠
中村兵左衛門	牧様・御取次衆中様	状、継紙	1	前欠
市川屋留吉	牧様	状、豎紙	1	
武蔵屋重蔵	牧様	状、豎紙	1	
飯ノ間十郎(印)	上	状、継紙	1	
鶴屋宗兵衛	牧様御内	状、継紙	1	
小嶋恒一(印)	牧様・御使衆中	状、豎紙	1	
鶴屋宗兵衛	牧様	状、豎紙	1	
樋口村荷屋周蔵	牧様	状、継紙	1	
田中屋佐助	牧様	状、豎紙	1	
松吉(印)	牧様	状、豎紙	1	
釜屋安兵衛	牧露朝様	状、豎紙	1	
釜屋安兵衛	牧様・御取次中様	状、継紙	1	
釘屋長十	牧様	状、継紙	1	
岡芹村平助	御城内牧様御内	状、豎紙	1	
		状、豎紙	1	
□□玄良手代伊東招順(印)	牧様御使衆中様	状、豎紙	1	
野屋真次郎	御城内牧様	状、豎紙	1	
釜屋吉兵衛	牧様	状、継紙	1	
間田惣助	牧様	状、豎紙	1	
巴屋吉次郎	牧様御内	状、豎紙	1	
巴屋吉次郎	牧様御内	状、豎紙	1	
みそや清次	牧様	状、豎紙	1	
根本伝吉	牧様御取次衆中様	状、継紙	1	
武蔵屋十兵衛(印)	牧様御使衆中様	状、継紙	1	
中村五右衛門	牧様御取次中様	状、継紙	1	
板屋善吉(印)	牧様	状、継紙	1	
志ら井十右衛門	牧様御取次様	状、豎紙	1	
近江屋宗三郎	露朝様	状、継紙	1	
巴屋吉次郎	牧様御内	状、豎紙	1	
		状、折紙	1	
牧乾	岡本宛	状、豎紙	1	
		状、継紙	1	
牧志摩(印)	川崎才兵衛様	状、豎紙	1	
宮地与一太夫(印)	牧志摩様	状、継紙	1	
与田中助(花押)	牧様	状、豎紙	1	
牧庄右衛門	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
		包紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
E-63-2	◇	未年12月	覚（年貢収納書上）
E-63-3	◇	申年12月	覚（年貢収納書上）
E-64	◇	亥年5月19日	覚（金式千七百六拾三両三歩式朱・銀式拾五匁三分式厘三毛借用）
E-65	◇	亥年5月20日	覚（金千九百九拾六兩借用）
E-66	◇	2月6日	（水引など結納のために調えるべき品々代金を書上げた書状）
E-67-1	◇	2月10日	種覚（下種壺斗七升五合代金六貫五百式拾壺文などメ拾九匁書上）
E-67-2	◇	2月10日	覚（種式斗六升式合代金壺匁三分八百七十三文差上）
E-68-1	◇		（きせる銀三百二十九匁などメ金拾五兩式歩七匁七分九厘代金覚）
E-68-2	◇	4月12日	（書状、免状・皆伝之儀につき御届）
E-68-3	◇		覚（免状相譲り申につき・皆伝相済申につき両者御届につき）
E-69	◇	6月6日	記（□円九錢七厘五毛）
E-70	◇	6月14日	小遣おほへてふ
E-71	◇	6月17日~9月24日	目出度覚（買い物・支払いの覚）
E-72	◇	6月より	小遣おほへ
E-73	◇	7月12日	御普請大工方一式（石方金八拾七兩など書上）
E-74	◇	7月13日	覚（金壺兩借用）
E-75	◇	7月	覚（メ金壺兩三朱八百三拾六文代金請求）
E-76	◇	9月9日	誌（壺円九十五錢三厘受取）
E-77	◇	10月10日	（書状、扶持米不足につき米一俵借用）
E-78	◇	10月25日	覚（種五斗八升代金式兩三歩百五拾九文渡方につき）
E-79	◇	11月24日	おほえ（脇差金式分式朱四百文などメ金壺兩壺分壺朱式百式拾四文代金請求）
E-80	◇	11月28日	覚（大半紙十状代式百六拾八文など紙代金書上）
E-81	◇	12月20日	覚（半紙十状代金七匁八分など金壺兩三分三朱七拾文紙売掛）
E-82	◇		露朝様町方買掛り内払覚（吉田屋金式朱式百四拾二文など）
E-83	◇		買内（半紙十状など品物書上）
E-84	◇		覚（金式拾兩の元利返済などにつき）
E-85	◇		覚（大工手間賃・材木代など当初の予定より金六兩三歩三朱錢四百四文不足につき）
E-86	◇		（馬代金金式兩など借入金銀・利息の覚）
E-87	◇		（硝石代金式歩など出銭覚）
E-88	◇		（米拾八俵式斗五升代金六拾六兩壺分銀壺匁八分六厘八毛など米代金覚）
E-89	◇		（御仕切金小手形・七拾九兩）
E-90	◇		（小為替覚・壺枚式円五十錢など）
E-91	◇		（計算書・保田七・九九七など書上）
E-92	◇		記（蘭代金六拾式円など金銭払方の覚）
E-93	◇		（連中割戻し金三歩錢五百六十六文などさし引金壺兩壺歩三朱錢四百文入用の覚）
E-94	◇		（橘くすり十式ふく代金壺朱など諸入用の覚）
E-95	◇		覚（メ式十式兩）
E-96	◇		覚（浅黄絹式反四百七拾式文など反物売掛につき）
E-97	◇		（役に関する覚）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
牧庄右衛門	牧志摩殿	状、継紙	1	
牧庄右衛門	牧甚五兵衛殿	状、継紙	1	
大須加長右衛門(印)ほか1名		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
北窓幸風	奥山大人	状、継紙	1	
かまや才一郎	上様	状、継紙	1	
かまや才一郎(印)	上様	状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
加藤源六	牧様御取次中	状、継紙	1	
牧乾	佐々木孫助	状、継紙	1	内容は2枚分
田柳家内	牧様	状、縦紙	1	
梅・むめ		冊、横半帳	1	
		冊、横帳	1	
梅		冊、横帳	1	裏に字の練習跡あり
有田半助	牧甚五兵衛様	状、継紙	1	
山口屋長蔵(印)	城内大まき様	状、継紙	1	
板谷平吉	牧露朝様	状、継紙	1	
田柳家内	牧様	状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
かまや才一郎(印)	上様取次衆	状、縦紙	1	
	牧様	状、継紙	1	
田町卯兵衛(印)	牧様御内西村弥一左衛門様	冊、横帳	1	
板谷善吉	牧様	状、継紙	1	
		冊、横帳	1	
牧		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	下書きカ
		状、継紙	1	
		冊、縦帳	1	
		状、継紙	1	文字が裏表両面に書かれている
	牧志摩殿	状、縦紙	3	包紙カ
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
		冊、横帳	1	
牧		状、縦紙	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	後欠
		状、折紙	1	前後欠

## F 養蚕

資料番号	マイク	年代	表題
F-1	◇	明治25年1月～	小川利光・飯泉惣三郎出勤日扣
F-2	◇	明治25年	養蚕諸費払（縄代金三銭など）
F-3	◇	明治26年5月～	養蚕雇出勤扣
F-4	◇	明治28年4月	養蚕日誌
F-5	◇	明治29年4月22日～	養蚕日誌
F-6	◇	明治30年5月	養蚕日誌
F-7	◇	明治31年5月3日～	養蚕日誌
F-8	◇	6月5日～6月29日	養蚕中雇日扣
F-9	◇	10月12日	（書状、原種用蚕種検査済につき請取のため出頭通知）

## G 日記

資料番号	マイク	年代	表題
G-1	◇	享和元酉年9月11日～	大坂逗留中日記（扣）
G-2	◇	嘉永3戌年2月	日記（扣）
G-3	◇	明治11年8月20日～ 12月25日	茨城師範校入学中日記
G-4	◇	明治12年1月6日～ 明治13年3月16日	茨城師範入校日記No2
G-5	◇	明治17年5月	道中日誌（下館～東京）
G-6	◇	卯年9月	日記
G-7	◇		（日記の一部）
G-8	◇		（日記の一部）
G-9	◇		（日記の一部）

## H 書簡

### a 近世

資料番号	マイク	年代	表題
H-a-1	◇	寛政9年8月29日	（金子御用立や入用多く必要なので金策についての書状）
H-a-2	◇	安永4年2月25日	（牧系図の儀、惠應寺日慈聖師へ伝達のこと承知した旨）
H-a-3	◇	未年1月2日	（凶年による窮状を訴える書状）
H-a-4	◇	1月10日	（年賀への返答）
H-a-5	◇	1月21日	（逗留所の御陣屋内役所から見える金剛山・桂木山の風景など近況に関する書状）
H-a-6	◇	1月26日	（徳右衛門が12月6日に帰宅し安心したことなど）
H-a-7	◇	4月2日	（奥山勘解由が小家まで立ち寄ったことなど）
H-a-8	◇	5月12日	（来月家を引き払おうにも若者ばかりで困っている旨の書状）
H-a-9	◇	7月7日	（道中御見送りのお礼・当月20頃までに打払をすることおよびそのあらし）
H-a-10	◇	7月20日	（洪水・御妹牧野備中守様との婚姻などで御屋敷勘定不足に付き借金返済の日延べ願ひ承知の旨）
H-a-11	◇	3月27日	（安諸助十郎明日その表に参る由についての返答書）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、横半帳	1	
		冊、横帳	1	
飯泉惣三郎		冊、横半帳	1	
牧氏		冊、横半帳	1	
牧氏		冊、横半帳	1	
牧氏		冊、横半帳	1	
牧氏		冊、横半帳	1	
小川利光		冊、横半帳	1	
真壁郡役所内茨城縣原種用蚕種検査所	牧婦童殿	状、縦紙	2	封筒とも

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
牧		冊、縦帳	1	
牧		冊、横半帳	1	
		冊、縦帳	1	
杞柳堂		冊、縦帳	1	
牧姓		冊、横半帳	1	
牧		状、折紙	2	後欠
		状、折紙	2	文字の練習跡などあり／前後欠
		状、折紙	3	前後欠
		状、折紙	1	前後欠

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
久徳与五左衛門	牧甚五兵衛様	状、継紙	1	
牧監物正忠（花押）	牧仙蔵様	状、折紙	1	
牧三耕正忠	牧志摩様	状、折紙	2	明治期の書簡カ
加藤源六鷹蔵（花押）ほか1名	牧乾様御取次中	状、折紙	1	
牧志摩	牧御惣容様	状、継紙	1	
真光院	御姉様	状、継紙	1	
加藤源六	牧先生様	状、継紙	1	
牧甚五兵衛	西村□□□殿	状、縦紙	1	
加藤源六	御取次様	状、継紙	1	
庄右衛門	牧甚五兵衛様	状、継紙	1	
つた	御姉様	状、継紙	1	



資料番号	マイク	年代	表題
H-a-12	◇	8月28日	(六月頃より持病の病気悪化につき出張日延願)
H-a-13	◇	12月19日	(一昨年の件滞りなく済んだ旨など)
H-a-14	◇		(旦那様の病気見舞状)
H-a-15	◇		(明日源右衛門御地へ参由ついてなど)
H-a-16	◇		(源右衛門ほか1名真壁へ出陣し陣屋つくり詰めていることについて)
H-a-17	◇		(柿をいただき子供が大喜びしていただいた(食べた)ことのお礼など身の回りの出来事に関する書簡)
H-a-18	◇		(明日藤太郎殿其地へお出かけになる由などを知らせる書簡)
H-a-19	◇		(若狭殿が馬が好きであることは世間にかくれ無いことであるなどの風聞書留)

b 近代(牧正道(乾、其野、帰童)宛)

資料番号	マイク	年代	表題
H-b-1	◇	明治26年4月5日	(小学校教員になるための試験を受けるまでの経過や蚕種を大至急送ってほしいことなどについて)
H-b-2	◇	明治26年5月9日	(早速蚕種を送っていただいたお礼)
H-b-3	◇	明治26年6月4日	(下都賀郡へ向かう途中にそちらへ立ち寄る旨)
H-b-4	◇	明治26年6月26日	(貴家の蚕種をいただきたく頼む)
H-b-5	◇	明治26年8月13日	(つる病気につき借家に移ること、当地は閑静であることなど)
H-b-6	◇	明治26年8月17日	(借家は宿からはなれ山の中で不自由であるが暮らし向きは良いことなど)
H-b-7	◇	明治26年9月23日	(先日より学校へ行って楽しく登校していることなど)
H-b-8	◇	明治44年1月31日	(御送りの畠物并に御書面儘に拝見したこと)
H-b-9	◇	明治44年2月27日	(越太郎が病気になる、静かなところで養生するため笠間あたりに住むことになりそうだということ)
H-b-10	◇	明治44年4月26日	(母上様御不在諸事御不自由の事などご機嫌伺い)
H-b-11	◇	明治44年7月29日	(書簡、暑気休暇中先生来校日程調整につき)
H-b-12	◇	明治44年7月31日	(御姉上様の御容体を伺い、快方に向かうことを願う)
H-b-13	◇	明治45年7月23日	(先日お邪魔した際のお礼・御病人の容態や看病の様子やお守りを頼んだことなど)
H-b-14	◇	1月23日	(書簡、午後四時ころよりおいらせの程くれくもお待ち申上まいらせ候)
H-b-15	◇	2月26日	(御書面の趣了承について)
H-b-16	◇	4月22日	(蚕種料1円65銭持参について)
H-b-17-1	◇		(封筒)
H-b-17-2	◇	5月24日	(今般募集の玉詠のことについて送ってほしいという旨)
H-b-17-3	◇	5月26日	(小田部庄左衛門よりの案内が来たので返事がほしいという旨)
H-b-17-4	◇		玉詠募集緒言
H-b-18	◇	6月2日	(御依頼の儀につき仙太郎方へ罷越し取り決めをしたこと)
H-b-19	◇	9月5日	(先日の盗賊が4・5日前に捕縛され、取られたものが返ってくるとのこと)
H-b-20	◇	10月16日	(本日より検査を始めたので、受付順に検査をするので至急蛾を届けるとのこと)
H-b-21	◇	10月11日	(御出頭の上相談したい旨)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
加藤源六鷹蔵	牧様	状、継紙	1	
坂本孫之進	牧甚五兵衛様	状、折紙	2	包紙とも
いう	御あね様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	後欠
種むらせい	牧御もし様	状、継紙	1	
種むらせい	牧御もし様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	前後欠

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
栃木県河内郡石井村金子幸作様方鳥居八五男	牧婦童様(父上様)	状、継紙	2	封筒とも
栃木県河内郡石井大崎製糸所金子幸作	牧婦童様	状、継紙	2	封筒とも
ひじ方つる(封筒、土方越太郎)	まき母上様(封筒、牧婦童様)	状、縦紙	2	封筒とも
結城町赤荻平治	牧古君(婦童様)	状、継紙	2	封筒とも
土方越太郎	牧婦童様	状、継紙	2	封筒とも
土方つる(封筒、土方越太郎)	まき母上様(封筒、牧婦童様)	状、継紙	2	封筒とも
牧やへ(封筒、土方越太郎)	母上様(封筒、牧婦童様)	状、縦紙	2	封筒とも
猿島郡幸島村諸川鳥居八五男	牧婦童様(牧父上様)	状、縦紙	2	封筒とも
土方つる	牧婦童様(父上様)	状、縦紙	2	封筒とも
牧正寛	牧婦童様	状、継紙	2	封筒とも
益子町高階紹方	牧婦童様(牧先生)	状、縦紙	2	封筒とも
相沢八重(やへ)	牧婦童様(御父上様)	状、継紙	2	封筒とも
土方つる	牧婦童様(父上さま)	状、縦紙	2	封筒とも
ふもと	牧婦童先生・服部壺頼先生・衣笠梅太郎先生	状、継紙	2	封筒とも
高田正修	牧婦童様	状、縦紙	1	
結城町近藤正当	牧婦童様	状、継紙	2	封筒とも
伊藤景葉	牧婦童様	封筒	1	
小田部正盈	牧様・伊藤様	状、縦紙	1	
景葉	正道様	状、縦紙	1	
小田部正盈		状、縦紙	1	
岡部昌胤	牧婦童様	状、継紙	2	封筒とも
牧正寛	牧婦童様(父上様)	状、縦紙	2	封筒とも
原蚕種検査所内吉方恭治	牧婦童様	状、縦紙	2	封筒とも
大山経之助	牧婦童様	状、継紙	2	封筒とも

資料番号	マイク	年代	表題
H-b-22-1	◇	11月19日	(封筒)
H-b-22-2	◇		(先日折角御出で下されたのに、何の御馳走もできなかったことを詫 びる旨など)
H-b-22-3	◇		(牧父様が御出で下されたのに何のご馳走もできず御無礼仕ったこと を詫びる旨など)
H-b-23	◇	11月24日	(現在の家が勤務上遠くて不便なので借家をしたいと考えていて、そ れゆえ休むことを了承してほしい旨)
H-b-24	◇	31日	(昨夕東京より来客があり、てしま氏方へは訪問いたしかねるとい うことを御含み下さいとの旨)

b 近代 (牧正寛宛)

資料番号	マイク	年代	表題
H-b-25	◇	明治23年2月23日	(書簡、送金をしてくれるように懇願)
H-b-26	◇	明治23年3月3日	(本月30日の観花会開催通知葉書)
H-b-27	◇	明治23年4月3日	(学校退校後の近況報告)
H-b-28	◇	明治23年10月30日	(五月に東京で開かれた大日本教育者大集会の節に御厄介になったこ との御礼など)
H-b-29	◇	明治23年11月9日	(財政困難で不如意につき御送金を願う)
H-b-30-1	◇	明治23年12月28日	(封筒)
H-b-30-2	◇	明治23年12月3日	受領証書 (郵便為替の領収書、金20銭)
H-b-30-3	◇	12月24日	記 (社費として金20銭受け取った事)
H-b-30-4	◇		会員之証
H-b-31	◇	明治23年12月20日	(第二回同窓会において万国 (旗力) 運動について協議したので通知 するべきところ、病気でできず、古川氏より便りがきたのでそれを 知らせる)
H-b-32	◇	明治26年12月2日	(老母が10数日前より篤疾なので、帰省ができないこと)
H-b-33	◇	明治41年6月24日	(校友会の幹事になってしまったこと、和歌の会のこと、旅行やら何 やらでお金が不足していることなど見聞きしたことや近況報告)
H-b-34	◇	明治41年9月日	(下館町に本社支局を設置するので、御垂示や御愛読などを願う)
H-b-35	◇	明治41年9月12日	(文部省の教育功績者顕彰姓名に姓名を拜見したことについてお喜 び)
H-b-36	◇	明治44年1月26日	(日々の愚痴や早く帰りたい旨などに関する近況報告の書簡)
H-b-37-1	◇	明治44年1月31日	(封筒)
H-b-37-2	◇	1月30日	(御丑子様御留学中に関する様子等)
H-b-37-3	◇		(牧婦童様・御姉様脚気を煩い三度の食事も意のごとくならなかった が、米糠の妙薬により全快したことなどを知らせる)
H-b-38	◇	明治44年2月4日	(関西地方へ公用の御出張をしたことに関する様子を尋ねることや当 地 (台湾) に関すること・近況など)
H-b-39	◇	明治44年4月17日	(来る19日に家族を信濃丸にて日本に帰すことなど)
H-b-40	◇	明治44年5月25日	(家族が大勢出て行ったことや最近出火が多いので、火の用心を伝える)
H-b-41	◇	明治44年6月24日	(当地多大の被害を受けたけれども無事なので御安心してくださいと の旨)
H-b-42	◇	明治44年7月2日	(暑中休課中なので他の病院を紹介すること)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
も楚木福岡俊彦	牧婦童様	封筒	1	
とし彦	牧御父上様	状、継紙	1	
とし彦	正寛様	状、継紙	1	
浜田周之	牧正道様	状、継紙	2	封筒とも
金谷貴男	牧婦童様	状、縦紙	2	封筒とも

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
I.Torii (愚弟)	牧正寛様・上牧三郎様	状、継紙	2	封筒とも
発起人宮川正敬ほか6人	牧正寛様	状、はがき	1	
多治見国明	牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
黒子尋常小学校中久喜信吉	牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
鳥居八五男	牧正寛・上牧三郎殿	状、継紙	2	封筒とも
東京小石川表町国家教育社	牧正寛殿	封筒	1	
牧正寛	国家教育社	状、縦紙	1	
国家教育社	牧正寛様	状、縦紙	1	
国家教育社	牧正寛君	状、縦紙	1	
金沢鉄郎	牧正寛君	状、継紙	2	封筒とも
鳥居八五男	牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
茨城県女子師範学校寄宿舎内 牧亀代	牧正寛様 (父上様)	状、縦紙	2	封筒とも
茨城日報社下館支局/茨城日 報社長大塚任天	牧正寛殿	状、縦紙	2	封筒とも
福井県越前国大野郡大野町清 水稲垣坪一郎	茨城県真壁郡下館町牧正寛 様	状、継紙	2	封筒とも
台湾斗六小学校高木ひろ子	牧正寛様	状、縦紙	5	封筒とも/書簡右うえに番号あ り
東京府下南足立郡北千住町井 刈利祐	牧正寛殿	封筒	1	
井刈利祐	牧婦童様・牧おらく様・ 牧正寛様	状、継紙	1	
		状、継紙	1	後欠カ
高木五男	牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
台湾斗六公学校方波見幸之助	牧正寛様	状、縦紙	3	封筒とも
方波見幸之助	牧正寛様・牧花子様	状、縦紙	2	封筒とも
木村行義	牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
東京都赤坂区青山南町5丁目 81番地青山病院宮幡亮	牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも

資料番号	マイク	年代	表題
H-b-43	◇	明治44年7月2日	(御姉様が御難病で大学病院の御診察をうけたことその容態について心配する)
H-b-44	◇	明治44年7月25日	(常総新聞の購読依頼)
H-b-45	◇	明治44年7月30日	(高木氏と相談してお金を送るところ、送金を延引したことを伝える)
H-b-46	◇	明治44年7月29日	金円借用之証(土地購入費用として金子借用証文の雛形と土地購入)
H-b-47	◇	大正元年8月14日	(母上様の御逝去につき哀悼の言葉)
H-b-48	◇	大正2年8月8日	(再び福井氏方に御厄介になることに決定した旨を知らせる)
H-b-49	◇	大正6年1月1日	(南洋防備隊民政事務官就任挨拶状)
H-b-50	◇	大正6年4月1日	(町会議員に立候補したので、御賛助と投票を依頼する書簡)
H-b-51-1	◇	大正6年4月1日	(封筒)
H-b-51-2	◇	大正6年4月1日	立候補宣言書
H-b-51-3	◇		(立候補挨拶文)
H-b-51-4	◇		(名前を記したビラ)
H-b-52	◇	1月19日	(昨夜大酩酊し欠礼のことについての詫び状)
H-b-53	◇	3月6日	(明朝列車にて帰ることについて)
H-b-54	◇	3月14日	(旅の様子)
H-b-55	◇	3月27日	(四人証書の調製・廻送方について)
H-b-56	◇	4月5日	(金5円を差し上げるべきところ延引したことについて)
H-b-57	◇	5月9日	(入学中にお世話になったお礼)
H-b-58-1	◇		(封筒)
H-b-58-2	◇	6月9日	(台湾も近来向上進歩しているが、内容の改善はまだまだ程遠いなど台湾内外の情勢など)
H-b-58-3	◇	6月10日	(御半紙・御茶を送っていただいたお礼)
H-b-59	◇	6月13日	(残金の一割として5円差し上げる旨)
H-b-60	◇	6月11日	(縁談が整い結婚式も済んだことを報告)
H-b-61-1	◇		(封筒)
H-b-61-2	◇	3月21日	(柴田氏のことにつき気の毒であるとの旨や出金の事に関して)
H-b-61-3	◇	6月23日	(書簡、柴田氏の儀貴家にもみ願置き汗顔の至り都合をつけ何とか仕るべき旨)
H-b-62	◇	6月30日	(弟が死去したことについてのお悔やみ)
H-b-63	◇	7月1日	(東京高等商業学校を卒業後は教育に携わりたいとの旨)
H-b-64	◇	7月6日	(病気であったのだが薬甲にて全快したこと)
H-b-65	◇	8月21日	(今般御内室様が御他界したことに關するお悔やみなど)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
松沢守朔	牧正寛様(御兄上様)	状、継紙	2	封筒とも
水戸市上市南三ノ丸3番地常総新聞社	牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
台湾斗六方波見幸之助	茨城県真壁郡下館町牧正寛殿	状、縦紙	2	封筒とも
台湾山内島三郎方高木五男	茨城県真壁郡下館町牧正寛様	状、縦紙	4	封筒とも
台湾総督府中学校学寮内高木五男(五男ヒロ)	茨城県真壁郡下館町牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
東京市芝区本芝福井氏方牧次夫	茨城県真壁郡下館町牧正寛様(父上様)	状、縦紙	2	封筒とも
南洋新領地椰府島軍政庁高橋繁三	茨城県下館町牧正寛殿	状、縦紙	2	封筒とも
茨城県真壁郡下館町中村藤右衛門(町会議員候補者中村藤右衛門)	牧正寛先生	状、縦紙	2	封筒とも
伊勢山田市久保倉大夫字仁館主西田周吉	茨城県下館町牧正寛殿	封筒	1	
衆議院議員選挙立候補者西田周吉		状、縦紙	1	
衆議院議員選挙立候補者西田周吉		状、縦紙	1	
衆議院議員選挙立候補者西田周吉		状、縦紙	1	
久木	牧正寛君(牧先生)	状、縦紙	2	封筒とも
田中鍊太郎	牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
京都市下京区若林方田中鍊太郎	常陸国真壁郡下館町牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
県庁文書課大関義方	牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
瀬端東作	牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
木村安助	牧正寛殿	状、継紙	2	封筒とも
台湾斗六小学校高木五男	茨城県下館町牧正寛様	封筒	1	
高木五男	牧正寛様・外御一同様	状、継紙	1	
ひろ子	御両親様	状、継紙	1	
伊藤景治	牧正寛様	状、継紙	4	3点封筒
福岡とし彦	下館町牧正寛様	状、縦紙	2	封筒とも
常陸国真壁郡下館町伊藤景治	牧正寛様	封筒	1	
伊藤景治	牧正寛様	状、縦紙	1	
伊藤景治	牧正寛様	状、継紙	1	
小島平三郎・養田安忠	牧正寛君・上牧三郎君	状、継紙	2	封筒とも
東京市日本橋区本町高島佐一郎	茨城県真壁郡下館町牧正寛様	状、縦紙	3	封筒とも
柴田三郎	真壁郡下館町牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
関東州新旅順月見町戸倉庸太郎	下館町牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも

資料番号	マイク	年代	表題
H-b-66	◇	10月3日	(御高意にまかせ借用したことについて)
H-b-67	◇	4日	(山鳥の件につき)
H-b-68	◇		(ご無沙汰して申し訳ないこと、学を構えるため留学することなど)
H-b-69	◇		(先の手紙の返事や本年学年試験は来る13日より24日まで都合12日間であることなど)
H-b-70	◇		(書簡、内容不詳)

## b 近代 (その他宛)

資料番号	マイク	年代	表題
H-b-71	◇	明治13年6月25日	(四日に根岸重之様御住居(御宗家)へ向け同行し面談したことなどについて)
H-b-72	◇	明治26年2月25日	(柴田吉信殿が大怪我をし、一命も危ういこと)
H-b-73	◇	明治44年4月24日	(技芸学校の件での相談を承知し、お金を送ることなど身近なことのやり取り)
H-b-74	◇	昭和4年10月	(敬老会開催)
H-b-75	◇	1月11日	(金子入用につき金2円渡して下さいとの旨)
H-b-76	◇	2月26日	(国庫債券の手続きについて御相談したい旨)
H-b-77	◇	3月13日	(頼んでいた助手の件につき連絡をしていなかったことなどの詫状)
H-b-78	◇	3月17日	(全快次第にお伺いする旨)
H-b-79	◇	7月8日	(越正臣・牧大夫作の詩などの写し)
H-b-80	◇	10月15日	(15円ご返却した旨)
H-b-81	◇	10月28日	(菊花を頂戴したい旨)
H-b-82	◇	10月30日	(お世話になったお礼)
H-b-83	◇	12月3日	(無事に到着したので御安心下さいとの旨)
H-b-84	◇	16日	(いらっしゃることをお待ちしておりますとの旨)
H-b-85	◇	18日	呑代(壺酒一つ)
H-b-86	◇		(謡曲の件、仲間不案内につき人名符を拝借したいという旨)
H-b-87	◇		(御地は関東と風土・人情も変わっているなど御地の様子)
H-b-88	◇		(選奨の栄を蒙ったことを知らせる書簡の下書)
H-b-89	◇		(書簡、遠方色々お土産に預り忝なき旨)

## I 教育関係

資料番号	マイク	年代	表題
I-1	◇	明治22年12月22日	(茨城県西南教育大会の案内状)
I-2	◇	明治23年4月8日	入学御願(茨城県真壁郡中村平民農喜代作長男塚越采三郎の入学願)
I-3	◇	明治23年11月2日	(尋常小学校を衆議院議員飯村丈三郎氏の上京祝賀の会場として借り受けたい旨の書簡)
I-4	◇	明治23年11月11日	(13日に行われる五所村尋常小学校開校式への招待状)
I-5-1	◇		(封筒)
I-5-2	◇	明治23年11月	(白井文三郎君の徴兵送行会の案内状)
I-5-3	◇		白井・土肥両君ノ兵営ニ入ルヲ送ル(送辞原稿)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
澤辺祐尚	牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
条賀正経	牧正寛君	状、縦紙	2	封筒とも
宮松伸三	正寛様	状、縦紙	1	
牧一	父上様	状、縦紙	1	
下館信用組合	牧正寛様	状	1	未開封

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
東京京橋区惣十郎町奥山麓	渋谷庸守様	状、縦紙	3	封筒とも
桜井栄八・柴田常雄	牧正温殿	状、縦紙	2	封筒とも
台湾斗六小学校官舎内高木ひろ子(姉)	茨城県真壁郡下館町牧かめよ殿	状、継紙	2	封筒とも
茨城県下館町同仁会長間々田惣助	牧こく殿	状、縦紙	2	封筒とも
石川	牧殿	状、継紙	1	
牧婦童	大日方直廉様	状、継紙	2	封筒とも
石川小四郎	牧君	状、縦紙	2	封筒とも
高島さく	牧様(牧御老先生)	状、継紙	2	封筒とも
清	牧大夫殿	状、縦紙	1	
沢登	上牧様	状、継紙	2	封筒とも
中村商店	牧様(牧御尊老様)	状、継紙	2	封筒とも
みつ	牧御一同様	状、継紙	2	封筒とも
ふくおかあい	牧こく様	状、縦紙	2	封筒とも
竹森猿之助	牧御老人様	状、縦紙	2	封筒とも
知事	牧閣老	状、縦紙	2	封筒とも
今井信正	牧老人様	状、縦紙	2	封筒とも
		状、継紙	1	
		状、縦紙	2	
榊原尾了	牧太夫	状、縦紙	1	後欠

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
茨城県西南教育会事務(8名印有)	真壁郡下館町土居二郎君・牧政寛君	状、継紙	2	封筒は明治23年
真壁郡中村大字口戸塚越喜代作(印)	茨城県真壁郡下館尋常小学校御中	状、縦紙	2	封筒とも
田宮町長	牧校長殿	状、継紙	2	封筒とも
五所村長添野正造	下館尋常小学校訓導牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
発起人	牧正寛様	封筒	1	
発起人(全14人)		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	



資料番号	マイク	年代	表題
I-6		明治24年3月31日	証書（尋常科第一年ノ修業ヲ証ス）
I-7		明治30年3月30日	修業証書
I-8		明治30年4月8日	辞令（学年長ヲ命ズ）
I-9		明治34年4月16日	辞令（第四年級二ノ組組長ヲ命ズ）
I-10		明治35年4月10日	辞令（第五年級二ノ組組長ヲ命ズ）
I-11		明治40年3月30日	卒業証書
I-12		明治40年4月11日	入学許可証（広島高等師範学校研究科）
I-13		明治40年4月11日	辞令（広島高等師範学校附属中学校英語科ノ授業ヲ囑託ス、月手当金四拾円給与）
I-14		明治40年6月28日	辞令（任広島高等師範学校助教諭兼広島高等師範学校訓導五級俸給与）
I-15	◇	明治41年7月29日	（同窓会案内状）
I-16	◇	明治42年11月4日	（辞令、本会基本金及会員募集委員ヲ囑託ス）
I-17	◇	明治44年1月10日	（医術開業の挨拶状）
I-18	◇	明治44年4月7日	（書簡、本月10日御出頭を21日に延期したい旨）
I-19	◇	明治44年5月25日	（地久節祝賀式案内状）
I-20	◇	明治44年7月15日	（麦作立毛品評会・苗代品評会褒賞授与式案内状）
I-21		昭和45年3月22日	表彰状
I-22		大正3年1月15日	辞令（任広島高等師範学校教諭兼広島高等師範学校教授・叙高等官七等）
I-23		大正4年3月30日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金拾八円下賜）
I-24		大正5年3月31日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金拾八円下賜）
I-25-1	◇		（封筒、茨城県真壁郡下館男子尋常高等小学校）
I-25-2	◇	大正5年4月～11月	茨城県教員互助会々費受領証
I-26	◇	大正6年1月1日	（年賀状）
I-27		大正6年3月31日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金五拾円下賜）
I-28		大正7年3月30日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金五円下賜）
I-29		大正8年1月8日	辞令（免本官専任広島高等師範学校教授）
I-30	◇	大正8年3月29日	吊辞（牧正寛死去に伴うもの・大正2年勲八等に叙せられるなど詳しい事績が書かれている）
I-31		大正8年3月31日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金四拾円下賜）
I-32		大正9年3月23日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金百円下賜）
I-33		大正9年12月24日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金百貳拾円下賜）
I-34		大正10年12月	辞令（在職中職務勲励ニ付、其賞トシテ金貳百円下賜）
I-35		大正10年12月23日	辞令（職務勲励ニ付其賞トシテ金四百円下賜）
I-36		大正11年4月1日	（封筒）
I-37		大正11年12月18日	辞令（金四百円下賜）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
下館尋常小学校	牧一	状、縦紙	1	
下館高等小学校	牧一	状、縦紙	1	
下館高等小学校	牧一	状、縦紙	1	
栃木県第二中学校	牧一	状、縦紙	1	
栃木県立栃木中学校	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校長：北条時敬	牧一	状、縦紙	1	
文部大臣：牧野伸顕	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
文部省	牧一	状、縦紙	1	
下館尋常小学校同窓会会頭三舟太郎（印）	牧正寛殿	状、縦紙	1	
真壁郡教育会総理事村成美(印)	牧正寛殿	状、縦紙	1	
下館東町雨甲斐新平	女子部校長牧正寛殿	状、縦紙	2	封筒とも
下館町立女子技芸学校	牧正寛殿	状、縦紙	2	封筒とも
下館町立女子技芸学校長久木久俊	下館女子尋常高等小学校長牧正寛殿	状、縦紙	2	封筒とも
下館町農会長・同地主会長森市太郎	牧正寛殿	状、縦紙	2	封筒とも
共立女子学園理事長：鳩山薫	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：山本権兵衛	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
	下館女子小学校長牧正寛殿	封筒	1	
	会員和田公平殿	状、縦紙	1	
台北城南小学校荒井陽三郎	茨城県下館女子小学校牧正寛様・職員御一同様	状、縦紙	2	封筒とも
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：原敬	牧一	状、縦紙	1	
下館町学務委員総代外池格次郎		状、継紙	1	
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校	牧一	状、縦紙	1	
広島高等師範学校	元広島高等師範学校教授：牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
		封筒	1	表面に「大正十一年四月一日私立青山学院専門部囑託昭和十八年四月一日 青山学院女子専門部囑託昭和二十年三月三十一日 青山学院専門部及女子専門部囑託ヲ緯任ス」
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	



資料番号	マイク	年代	表題
I-74		昭和11年4月11日	辞令（昭和十一年度予科二年六組生徒訓育主任ヲ命ス）
I-75		昭和11年6月5日	辞令通知書（野外訓練実施ノ為、千葉県下志津へ出張ヲ命ス、二日間、発六月十一日、帰全十二日）
I-76		昭和11年8月3日	辞令通知書（教務打合ノ為、福岡・熊本・鹿児島・宮崎ノ各県下へ出張ヲ命ス、十日間、発九月六日、帰九月十五日）
I-77		昭和12年4月2日	辞令（職務勲励ニ付為其賞金百五十円下賜）
I-78		昭和13年4月1日	辞令（入学試験手当トシテ金百五十円給与）
I-79		昭和13年4月1日	辞令（本年度入学試験手当トシテ、金百五十円給与）
I-80		昭和13年4月12日	辞令（昭和十三年度予科第一学年一組生徒訓育主任ヲ命ス）
I-81		昭和13年12月16日	辞令（職務勲励ニ付為其賞金貳百四十円下賜）
I-82		昭和14年3月31日	辞令（本年度入学試験手当トシテ金貳百拾五円給与）
I-83		昭和14年11月21日	辞令（昭和十四年度文部省視察委員ヲ囑託ス）
I-84		昭和15年4月10日	辞令（昭和十五年度予科第三学年四組訓育担任ヲ命ス）
I-85		昭和15年6月27日	辞令（職務勲励ニ付為其賞金壹百円下賜）
I-86		昭和16年4月1日	辞令（入学試験手当トシテ金貳百拾五円給与）
I-87		昭和16年6月28日	辞令（職務勲励ニ付為其賞金壹百円下賜）
I-88-1		昭和17年11月4日	依頼書（教員試験答案の成績付・報告）
I-88-2-1		昭和17年8月6日	封筒
I-88-2-2		昭和17年8月6日	依頼書（第七十七回予備試験問題印刷・校正ノ為メ御来省相煩度）
I-88-3		昭和17年3月5日	辞令（教員検定委員会臨時委員免るる）
I-88-4		昭和16年7月22日	辞令（教員検定委員会臨時委員仰せ付けらる）
I-88-5		昭和17年6月24日	通達（主任委員選定並に予備試験問題提出二関スル件）
I-88-6-1		昭和17年6月9日	依頼書（臨時職員として英語担当を依頼）
I-88-6-2		昭和17年6月12日	特殊郵便物受領証
I-88-7			通知（回答用ハガキ封入洩二付御送附ス）
I-89		昭和18年4月15日	辞令（本会実業英語教科書原案ノ執筆ヲ委嘱候也）
I-90		昭和24年1月1日	辞令（共立女子専門学校講師を委嘱する）
I-91-1	◇	昭和37年4月18日	（学生の出欠簿）
I-91-2	◇	昭和43年	成績記載帳（共立女子大学）
I-91-3	◇	昭和44年	成績記載帳（共立女子大学）
I-92	◇	1月31日	（経費・予算で購入した備品・消耗品の詳細の照会状）
I-93-1	◇		（封筒）
I-93-2	◇	2月2日	（吹野猛次郎の採用願）
I-93-3	◇		（吹野猛次郎の名前書）
I-94	◇	2月9日	（退官後の中学校校長などへの再就職依頼状）
I-95-1			（封筒）
I-95-2		2月24日	（書簡、辞令進行中の所文務省より勅令改正の旨）
I-96	◇	2月	（退官後の中等学校の校長への再就職推薦依頼状）
I-97	◇	4月4日	（欠勤届）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
文部省	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
教員検定委員会	牧一	状、縦紙	2	封筒とも
教員検定委員会第二部	牧一	封筒	1	
教員検定委員会第二部	牧一	状、縦紙	1	
内閣	牧一	状、縦紙	1	
内閣	牧一	状、縦紙	1	
教員検定委員会	牧一	状、縦紙	2	牧一は英語担当予定／文部省書留封筒あり
教員検定員会長：菊池豊三郎	牧一	状、縦紙	2	文部省書留封筒あり
牧一	菊池豊三郎・高瀬荘太郎	状、縦紙	1	
教員検定委員会第二部	牧一	状、縦紙	2	文部省封筒あり／封筒裏に「十七年」と記載
実業教育振興中央会会長・実業教科書委員会会長：橋田邦彦	牧一	状、縦紙	2	封筒（実業教育振興中央会）あり
共立女子学園	牧一	状、縦紙	1	
		冊、縦帳	1	原則非公開
牧教授		冊、縦帳	1	原則非公開
プロフェッサーマキ		冊、縦帳	1	原則非公開
田宮町長	牧校長殿	状、継紙	2	封筒とも
猿島第一高等小学校在勤長沼梅仙	牧正寛様	封筒	1	
長沼梅仙	牧正寛君	状、縦紙	2	
		状、縦紙	1	
牧一	野尻丈七様	状、継紙	1	
東京商科大学	牧一	封筒	1	
松本文紀（東京商科大学庶務課）	牧一	状、縦紙	3	
牧一	持永義夫様	状、継紙	1	
根岸豊久	下館尋常小学校長牧正寛様	状、縦紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
I-98	◇	7月14日	(書簡、中学校もしくは農学校の卒業生を教員に採用したいなどの採用方針や学校出身のものに対する採用後の訓練など)
I-99	◇	9月16日	(書簡、東京高師へ入学したい旨承諾していただきたい旨)
I-100		10月16日	(送付状、免許状下付に付)
I-101	◇	10月29日	欠席御届(病気につき欠席)
I-102	◇	12月16日	欠席届(病気につき3・4日岩吉欠席することに関する届け)
I-103	◇	31日	(来月部会の件修身か歴史かどちらを選択するかを尋ねる書簡)
I-104	◇		(明日改めて出願する旨の書簡)
I-105	◇		(栃木中学創立四十周年記念の祝の書)
I-106			牧一履歴書(英語)
I-107			牧一履歴書
I-108			名刺(東京産業大学予科教授:牧一)
I-109			封筒(牧一殿)
I-110			名刺(東京商科大学事務官:黒川善一)
I-111-1			牧一履歴書(昭和20年3月31日から昭和21年4月1日)
I-111-2			牧一履歴書(昭和20年3月31日から昭和21年4月1日)
I-111-3			牧一履歴書(昭和20年3月31日から昭和21年4月1日)
I-112			視学委員二関スル調
I-113			課題ノート
I-114			名刺(東京商科大学附属商学専門部教授:従四位勲五等牧一)
I-115			教員個人調(表紙のみ)
I-116			英語技能に関する証明書
I-117			英語技能に関する証明書

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
高崎市秋田町伊藤際三郎	茨城県下館町牧正寛様	状、継紙	2	封筒とも
加藤藤吉	牧学校長殿	状、縦紙	2	封筒とも
東京産業大学庶務部高橋	牧先生	状、縦紙	1	
高木政茂	真壁郡教員集会所幹事	状、縦紙	2	封筒とも
下館荒町保護者深見きわ・二男深見岩吉	下館男子尋常科一学年受持教師牧かめよ殿	状、縦紙	2	封筒とも
竹島尋常高等小学校小島平三郎	牧正寛君	状、継紙	2	封筒とも
高木政茂	牧正寛君	状、縦紙	1	
劉秋郎(印)		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		名刺	1	
東京商科大学	牧一	封筒	1	
東京商科大学事務官:黒川善一	牧一	名刺	1	
		状、縦紙	2	封筒(牧名誉教授殿)あり
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
東京商科大学	牧一	状、縦紙	1	
牧一		冊、縦帳	1	採点済み/「二年級壺三組十九号牧一」と記入有
		名刺	2	
		状、縦紙	1	キレ付属「現金ハ来る二十一日会計課ニ於テ御支払可致候」
神田記念財団実行委員会		状、縦紙	1	未使用
神田記念財団実行委員会	シライシ ケンゾウ	状、縦紙	1	原則非公開

## J 学芸・宗教

### a 絵図

資料番号	マイク	年代	表題
J-a-1	◇	(享保17年以前)	勢州神戸城内堀外之絵図
J-a-2	◇	天明4辰年4月22日	(表・河内国名所の図/裏・東日本の図)
J-a-3	◇	文化3年9月	百城縄張図
J-a-4	◇	文化8辛未年	(江戸絵図)
J-a-5		慶應4戊辰年秋8月	(烏山以北日光・若松ほか街道宿場道法図)
J-a-6	◇	大正12年6月20日	東京府豊多摩郡渋谷町平面図
J-a-7	◇	午年6月	□□大火場所附(京都火災絵図)
J-a-8	◇		大坂御城 御本丸御殿之図
J-a-9	◇		(江戸城本丸御殿平面図)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		鋪	1	
従五位下常陸介源朝臣幸足(印)		鋪	1	
近藤左伝太藤原景光・広親写		卷子	2	
江戸日本橋南一丁目須原屋茂兵衛		鋪	1	
	牧正道	絵図	1	
製図者・渋谷町役場代表者技師鮫島秀彦/発売元・東京府豊多摩郡中渋谷二百六十番地成蹊堂		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	1	



資料番号	マイク	年代	表題
J-a-10	◇		備中松山城図并根小屋之図
J-a-11	◇		澤山ノ城跡 (城下町割図)
J-a-12	◇		信州松本夜討図 後
J-a-13	◇		上州三之輪之城攻絵図
J-a-14	◇		信州上田原合戦絵図
J-a-15	◇		信州時田地蔵峠合戦絵図・信州川中島合戦図
J-a-16	◇		川中島合戦図
J-a-17	◇		長篠合戦図
J-a-18	◇		陣屋割図
J-a-19	◇		(門目論見図)
J-a-20	◇		東都芝萬松山泉岳禪寺略図
J-a-21	◇		(河内旧跡の図)
J-a-22	◇		(日光社参街道図)
J-a-23	◇		(関東周辺の図)
J-a-24	◇		(下館周辺の図)
J-a-25	◇		魯西垂火船之図
J-a-26	◇		(鞍の図)
J-a-27	◇		(河童の絵)
J-a-28	◇		(ぶどう・なでしこ・ゆりの絵)
J-a-29			(絵図断簡)
J-a-30			方図八陣大備図
J-a-31			泉州境新川之図 (新川筋村々絵図)
J-a-32			佐渡図
J-a-33			春日山詳図 (越後国春日山城よりの間数并方角道矩書上あり)
J-a-34			日本国之絵図 (国別大名名前書上あり)
J-a-35			景虎公総繩図
J-a-36			聖堂之図
J-a-37			下館之図
J-a-38			二本松 (城郭図)
J-a-39			五十騎小屋割
J-a-40			遠州諏訪原之図
J-a-41			(大坂城周辺洪水被害図)
J-a-42			勢州桑名之城図
J-a-43			勢州桑名郡長嶋城図
J-a-44			越後高田城
J-a-45			(反別地籍図)
J-a-46			(鶴や次兵衛御本陣ほか大工町などへの分宿図)
J-a-47			日光御山之絵図
J-a-48			賀州小松表合戦図

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		鋪	3	封筒とも
		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	2	
		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	1	
泉岳寺 蔵版		鋪	1	
富松氏		鋪	1	楠正成等について諸書からの引用を付す
		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	1	
		鋪	1	
		冊、豎帳	1	「勘左衛門殿ヨリ写取也」とあり
		鋪	1	
古研		鋪	3	
		鋪	1	
		絵図	1	彩色／左側一部欠
		絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色／付箋あり
		絵図	2	彩色／袋とも／袋には「一」「越州春日山図」とあり
		絵図	1	彩色／天和年中の大名配置を記しているカ
		絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色
		絵図	1	
	正實 (花押)	絵図	1	
		絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色／付札あり
		絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色／開封不可
		絵図	1	彩色／武家地に居住者名あり／開封不可
		絵図	1	彩色／図中に「拾式ヶ村用水堰」が描かれている／開封不可
		絵図	1	
	御絵図所植山弥平治	絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色／慶長5年の合戦の模様

資料番号	マイク	年代	表題
J-a-49			備中之国之図
J-a-50			出雲国松江城図
J-a-51			(武蔵・相模・上野・下野・常陸・下総国絵図)
J-a-52			嶋原有馬郡原之城惣寄手の図
J-a-53			肥前国長崎之図
J-a-54			(神戸町近在の図)
J-a-55			(千早城・水分五社大明神など周辺図)
J-a-56-1			越州高田城図 勢州桑名城図(袋)
J-a-56-2			勢州桑名城
J-a-57			(徳大寺公純・一橋中納言など武家・公家行列の図)
J-a-58	◇		(筑波山絵図)

b 詩歌

資料番号	マイク	年代	表題
J-b-1	◇	寛延2巳巳年10月中旬	堂上方和歌秘書 全
J-b-2	◇	文化12年5月	(詩歌)
J-b-3	◇	明治17年／明治18年／ 明治39年／大正7年	(金婚賀などの和歌六十四首)
J-b-4	◇	明治32年11月9日	牧正道哥集
J-b-5	◇	明治33年11月6日	三十三年十一月六日正道君の閣生の業を見る也(和歌九首を書き上げたもの)
J-b-6	◇	明治33年12月	明治三十三年十二月神奈川・静岡両県下学事視察の途上にて(横浜などで作った和歌六首を書き上げたもの)
J-b-7		明治39年8月1日	金婚祝歌(歌書上)
J-b-8	◇	(明治期)	「うきことも楽しきこともともにへし…」(和歌書上)
J-b-9	◇	(明治期)	(和歌短冊)
J-b-10	◇	丙辰年1月	(漢詩五首)
J-b-11	◇	午年6月吉日	俳事言葉ヌキ書
J-b-12-1	◇	5月1日	「おろかなるもくすなりともすてやらで…」(辞世の句)
J-b-12-2	◇		(花などに関する俳句)
J-b-13-1	◇		(和歌一首)
J-b-13-2	◇		(和歌一首)
J-b-13-3	◇	11月22日	(和歌二首)
J-b-14	◇		教訓十五ヶ条(和歌等を作る際の心構えや初心の覚悟などに関する教訓)
J-b-15	◇		御祝 一葉(和歌)
J-b-16	◇		函根路(箱根周辺の名所を読んだ和歌五首の書付)
J-b-17	◇		月并歌(春月を歌った和歌など全六首書上)
J-b-18-1	◇		詠富松正安君追悼和歌
J-b-18-2	◇		兼題二題六葉(和歌草稿)
J-b-19	◇		薄暮松風(和歌書付)
J-b-20	◇		十二(七夕に因む和歌集)
J-b-21	◇		歌仙

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色
		絵図	1	彩色／開封不可
		絵図	1	彩色
		絵図	1	開封不可
		絵図	1	
		絵図	1	彩色
	牧氏	絵図	1	袋内文字あり
		絵図	1	彩色
		絵図	10	
		絵図	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		冊、縦帳	1	
		状、折本	1	
		短冊	64	短冊64点一括
牧橋□		冊、縦帳	1	
景孝		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状	2	「石川総管公御筆」とあり
橋正道		状、継紙	1	
		短冊	64	
富松正惇秋香(印)		状	5	状5点一括
露朝女		冊、縦帳	1	
道然居士	正道様	状、縦紙	1	
やす子		短冊	13	短冊13点一括
直興		状	1	
改称 春来		状、継紙	1	
春来		状	1	
光荣		状、継紙	1	
	貴父上	短冊	2	封筒とも
		状、縦紙	1	
与し嘉加葉	催主御中	状、縦紙	1	
橋正寛		状、縦紙	1	
早瀬清音・ほか1名		状、縦紙	1	
哥二・ほか2名		状、縦紙	1	
牧乾		状、折本	1	
		状、継紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
J-b-22	◇		那智瀧（和歌）
J-b-23	◇		（和歌一首）
J-b-24	◇		（和歌一首）
J-b-25	◇		（和歌一首）
J-b-26	◇		（和歌三首）
J-b-27	◇		（和歌三首）
J-b-28	◇		（大山君の射道の熟練に感じて送った和歌三首）
J-b-29	◇		（和歌四首）
J-b-30	◇		（和歌六首）
J-b-31	◇		（和歌十二首）
J-b-32	◇		（和歌十三首）
J-b-33	◇		（和歌十六首）
J-b-34	◇		（和歌四首）
J-b-35	◇		（送別の和歌草稿）
J-b-36	◇		（和歌集）
J-b-37	◇		（和歌書付）
J-b-38	◇		（和歌二首）
J-b-39	◇		（学問・儒者についての狂歌）
J-b-40	◇		（漢詩二首）
J-b-41	◇		（漢詩文・和歌）
J-b-42			夏目詠六唐商客倭歌（和歌）
J-b-43			湖月（和歌）
J-b-44			（寒山寺七言絶句拓本「月落烏啼…」）

c その他

資料番号	マイク	年代	表題
J-c-1	◇	慶長19年11月吉日	（薬効書）
J-c-2	◇	寛永2年	愚眼書（先人の臣下の善行・悪行を認め、君臣の道を明らかにする というもの）
J-c-3	◇	寛永9年4月吉日	察病三十風見知之事（病気療治の秘書）
J-c-4	◇	延宝9酉年1月日 （元は長禄2年8月15日）	鷹書口伝（鷹に関する18の秘事・36の口伝を書いた書物）
J-c-5	◇	享保13年	雑記（信長公・秀吉公・家康公に関する記事など）
J-c-6	◇	享保20乙卯年11月21日	元服之規式（根岸氏よりの伝）
J-c-7	◇	明和7庚寅年11月	薬法覚書（薬名とその効能などを書いた書物）
J-c-8-1	◇	寛政2子戌年1月	塗物秘事伝書（蒔絵塗物口伝書）
J-c-8-2	◇		火色付覚
J-c-9	◇	寛政2亥年2月11日	借用申馬大豆之事（馬大豆5斗軍中要用につき借用・写）
J-c-10	◇	寛政3亥年5月	（書状、寛政3年5月に牧正達が大阪より上牧村へ参った時に酔って認 めた書）
J-c-11	◇	寛政10戊午年7月22日	庸軒流花道中目録（正統略系図・花道の奥義等を書いたもの）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		短冊	17	綴（短冊）9／短冊7／包紙とも
黛選		短冊	1	
次具□		状、竖紙	1	
□孝		状、竖紙	1	
	台湾嘉義庁	状、竖紙	2	封筒とも
牧三耕		状、竖紙	1	
牧御隠居様		状、竖紙	1	
		状、竖紙	1	
光		状	1	
近信		状、竖紙	1	
正道・ほか4名		短冊	13	短冊13点一括
正みち・ほか4名		短冊	16	短冊16点一括
黛選	橘巷君	短冊	4	短冊4点一括
		短冊	2	短冊2点一括
		綴	8	8点一括
		冊、竖帳	1	
		状	2	
静人		状	1	
藤夫子		状	1	
正達		状	3	
平紀成		状	1	状のみ
散位光祖		状	1	状のみ
	張継	状	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
大崎市右衛門	富松十左衛門殿	冊、竖帳	1	
		状、継紙	1	
帆足久左衛門尉友義・ 尾池五郎三郎・高島長右衛門・ 石川弥左衛門尉	富松兵左衛門尉殿	状、継紙	1	
斉藤越前守利永		冊、竖帳	1	
		冊、横半帳	1	
		冊、横半帳	1	
江戸本町四丁目北側酢屋平兵衛		冊、横帳	1	
牧正達		冊、竖帳	1	
		状、継紙	1	
西塔武蔵坊弁慶	鶴殿五郎兵衛との	状、竖紙	1	寛政2年は戌年
		状、竖紙	1	
一古斎蘭石（印）	豊水軒豊義	状、継紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
J-c-12	◇	文化6己巳年1月元日	(「人」の字書初め)
J-c-13	◇	文政2年6月	七足変唄切紙
J-c-14	◇	文政12己丑年5月大安日	(印仏・大黒天)
J-c-15	◇	嘉永3庚戌年2月吉日	女中常服略記(季節ごとの服や布地の解説などが書かれた書物)
J-c-16	◇	安政4年	安政五年つちおえむま乃天保壬寅元暦
J-c-17	◇	文久2年	(文久2年幕府役人附)
J-c-18	◇	文久3年	高祖御撰二十八宿日取配当記
J-c-19	◇	(養和元年7月日) 明治2己巳年2月6日写	借用申馬大豆之事(馬大豆5斗軍中要用につき借用・写)
J-c-20	◇	明治8年5月	(印仏・大黒天)
J-c-21	◇	明治8年5月	(印仏・大黒天)
J-c-22	◇	明治11年7月～8月	(平均算・利息算・損益算などの起業のための数学問題集)
J-c-23	◇	明治12年1月9日	経済学・博物学教授法(星座や星に関する事項のメモ)
J-c-24	◇	明治12年4月10日	熱海温泉筆話(熱海温泉の観光案内)
J-c-25	◇	明治27年1月27日	下館町(古河及関宿近傍第一号・二万分之一尺)
J-c-26	◇	明治31年12月	作法帳(歩み様・立礼式の心得などを書いたもの)
J-c-27	◇	明治32年2月15日	婦人第一身體固之礼(来客之手続キ・本膳品蓋所様之事などを書いたもの)
J-c-28	◇	明治38年5月20日	征露記念戦利品彼我之死傷見立鏡(日露戦争時におけるロシアの損失や日本の戦利品等を書いたもの)
J-c-29	◇	大正9年8月	裏組目録(箏組曲の伝授目録)
J-c-30	◇	昭和8癸酉年夏	書(戊申詔書の一節)
J-c-31	◇	昭和11丙子年立春	書(「徳潤身」)
J-c-32-1	◇		(和歌十六首)
J-c-32-2	◇	辰年1月10日	江戸廻之□□江被仰出書
J-c-33-1	◇	5月9日	(外池重輔宛の書状・封筒の書き方などを練習したもの／東京見物に行くという内容)
J-c-33-2	◇		(絵／提灯の絵)
J-c-34	◇	12月18日	十二月十八日稽古納(番組・仕舞に関する書付)
J-c-35-1	◇		往昔武家鑑
J-c-35-2	◇		(本家菊池・分家大橋両家系図、菊池家・大橋家両家の躰養子出入関係などに関する書付)
J-c-36	◇		武門要鑑抄二十二卷(包紙に要鑑抄貫目とあり／武門要鑑抄の目次の書上)
J-c-37	◇		養生篇拔萃(養生篇上、養生法則ノ大要、硫化水素や胃の形状に関することを書いたもの)
J-c-38-1	◇		仙詞養生訓
J-c-38-2	◇		(大名名前・石高書上)
J-c-39	◇		(教訓書)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
八十四才蔵		状、縦紙	7	
村岡平兵衛景広	牧十右衛門	卷子	1	
		状、縦紙	1	
		冊、横半帳	1	
伊勢度会郡山田箕曲主水		状、継紙	1	
		状、縦紙	1	
本所押上御旗世話人箕輪町奥村松林・銀座三丁目山城屋久兵衛・三十間堀四丁目布屋喜三郎		状、縦紙	1	
西塔武蔵坊弁慶	鶴殿五郎兵衛との	状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		冊、縦帳	1	
杞柳堂所蔵		冊、縦帳	1	
著述出版人・静岡県士族東京深川区冬木町十番地寄留伴埜三司		状、縦紙	1	
著作権所有印刷兼発行者陸地測量部		鋪	1	
下館高等小学校二学年女生徒牧ひろ		冊、横半帳	1	
	富松つね子との	状、縦紙	1	
編集発行印刷者・大阪市南区松屋町三十九番邸榎本松之助／発行所・法令館		状、縦紙	2	包紙とも
権大教正山木千賀(印)	牧ちよ子殿	状、折紙	2	包紙とも
劉須七十四翁(印)		状、縦紙	1	
秋郎(印)		状、縦紙	1	
正みち・ほか4名		短冊	16	
		状、継紙	1	前後欠
茨城県真壁郡下館町牧四男	茨城県真壁郡下館町外池重輔様	状、継紙	2	封筒とも
四ノ一牧四男		状、縦紙	1	
		状、折紙	1	
		冊、縦帳	1	
		状、縦紙	8	
		状、縦紙	2	包紙とも
		冊、縦帳	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	前後欠



資料番号	マイク	年代	表題
J-c-40	◇		易学啓蒙諺解（姓氏等の語句の意味の説明や朱肉・白墨製法や漢詩を書いたもの）
J-c-41	◇		高名文集（楠公碑文・孝者目的論・中等算術など）
J-c-42	◇		山陽詩抄卷之一・山陽詩抄卷之二・山陽詩抄卷之三（山陽詩抄卷之一～三を書写したものカ）
J-c-43	◇		輿地拔萃 NO. 1（イタリア・ロシアなど各国の気候・風俗・都府・産物・沿革等を書いたもの）
J-c-44	◇		輿地誌略 NO. 2（輿地誌略の巻八～九を抜書したもの／アメリカなどの各国の人種・宗教・気候・都市等を書いたもの）
J-c-45	◇		墨帖（天地の文（「天地日月東西南北…」）と題する文）
J-c-46	◇		（京都の寺社（比叡山・東福寺など）巡行記）
J-c-47	◇		（京都・奈良の寺社（比叡山・東大寺など）巡行記）
J-c-48	◇		廿四（能の隅田川に因む散文）
J-c-49	◇		（宇佐宮・日田・伏見などの紀行文）
J-c-50	◇		（東海道の宿場名を入れ込んだ散文）
J-c-51	◇		（書状文例）
J-c-52	◇		（梅についての書付）
J-c-53	◇		梅七組活方之事
J-c-54	◇		忍文七字ノかな霞ノ習
J-c-55	◇		御てほん
J-c-56	◇		（毛筆手習）
J-c-57	◇		（書状文例）
J-c-58	◇		（オランダ文字25字の書付）
J-c-59	◇		（オランダ文字の書付）
J-c-60	◇		化学（学習の覚書）
J-c-61	◇		復習雑問（数学文章題）
J-c-62	◇		杜若十組活方之事
J-c-63	◇		風炉長板六段并飴替
J-c-64	◇		石州流鎮信派茶立前扱目録
J-c-65	◇		石（茶道に関する目録）
J-c-66	◇		清元直伝本 清元延寿太夫節附
J-c-67	◇		さんせう久しくたくわへ様（家事留書）
J-c-68	◇		（着物の柄行についての書付）
J-c-69-1	◇		初産着仕建次第
J-c-69-2	◇		（初産着の縫い方についての書付）
J-c-70	◇		（男女別産着の縫い方についての書付）
J-c-71	◇		（着物の仕立て方についての書付）
J-c-72	◇		としこみそ之法他（味噌・醤油製法）
J-c-73	◇		（薬物調合法・効能等書付）
J-c-74	◇		楽焼法（焼き物製法）
J-c-75-1	◇		（小地塗蒔絵筆壺本を調え差し上げる旨、及びその製法）
J-c-75-2	◇		（春慶塗の手順などについての書付）
J-c-76	◇		（漆の塗り方等についての書付）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
折原玄甫		冊、横帳	1	
		冊、縦帳	1	
頼襄子成		冊、縦帳	1	
		冊、縦帳	1	
		冊、縦帳	1	帳崩れ
牧多満		冊、縦帳	1	
		状、折本	1	
		状、折本	1	
牧乾		状、折本	1	
		状、継紙	1	
		状、折本	1	前後欠
		状、折本	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、折本	1	
第四学年生 牧かめよ		状、縦紙	4	
		状、折本	1	前欠
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
祀柳堂		冊、縦帳	1	
		冊、縦帳	1	
		状、縦紙	1	
此ぬしせい		冊、縦帳	1	
此ぬしまた		冊、縦帳	1	
		冊、縦帳	1	
正本所 訂刻発行・作者 松本申二述カ		冊、縦帳	1	刊本／跋文：遠櫻山人
		綴	1	
		状、縦紙	1	
		状、継紙	1	
岩村意休重久・ほか4名		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	前欠
		冊、横半帳	1	
		冊、横半帳	1	
		状、継紙	1	
		状、継紙	1	
		状、縦紙	1	前欠
		状、縦紙	1	後欠

資料番号	マイク	年代	表題
J-c-77	◇		塗物覚
J-c-78	◇		(鉄・鍋に関する石東甫・白川侍従の教訓書付)
J-c-79	◇		(馬の養生法などについての覚書)
J-c-80	◇		官許長短柄竹業
J-c-81	◇		諸国湊道のり附
J-c-82	◇		田舎大金持之覚(岩城・相州・上総ほかの大金持名前書上)
J-c-83	◇		従伏見松山迄道法
J-c-84	◇		奉御礼 当社当堂 橘正供武運長久息災延命祈所
J-c-85-1	◇		開山吞龍上人之像
J-c-85-2	◇		天満宮自作(天満宮肖像)
J-c-86-1	◇		養蚕豊熟 衣笠神(印仏)
J-c-86-2	◇		(印仏)
J-c-86-3	◇		日本元社 蚕養主神(印仏)
J-c-87	◇		伝教大師御作日本三昧(印仏)
J-c-88	◇		伝教大師御作日本三昧(印仏)
J-c-89	◇		下毛足利学校聖像

#### K 東京帝国大学史料編纂掛

資料番号	マイク	年代	表題
K-1	◇	昭和2年7月7日	(貸付依頼状、「正親町天皇綸旨 天正十年十月三日左中将花押」一点につき)
K-2	◇	昭和2年7月25日	(書簡、送付用の箱ができ次第正親町天皇綸旨を送付する旨)
K-3-1	◇	昭和2年8月6日	(書簡、正親町天皇綸旨送付につき別紙受領証の送付依頼)
K-3-2	◇	昭和2年8月	証(受領証雛形)
K-4	◇	昭和2年8月8日	(書簡、書留小包到達の旨)
K-5	◇	昭和2年8月13日	(書簡、正親町天皇綸旨を領取した旨)
K-6	◇	昭和3年8月22日	(書簡、古文書借用につき深謝の旨)
K-7	◇	昭和3年8月22日	(書簡、正親町天皇綸旨返付の旨)
K-8	◇		請求書(雛形、東京帝国大学迄古書運搬並荷造費共)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、継紙	1	後欠
		状、継紙	1	
		冊、縦帳	1	前欠
会長 村上巨・彫板 梅沢政三		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、折本	1	
		冊、横帳	1	
		冊、横半帳	1	
上野国新田大光院		状、縦紙	2	包紙に「御影」とあり
勅願所 京北野天満宮 妙藏院		状、縦紙	1	
蚕霊山星福寺		状、縦紙	1	
常陸国鹿島郡豊良浦日向川村 別当蚕霊山		状、縦紙	1	
茨城県常陸国水戸馬口労町		状、縦紙	1	
寛海印施		状、縦紙	1	
寛海印施		状、縦紙	2	同一のもの2点
		状、縦紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
東京帝国大学文学部史料編纂掛事務主任 史料編纂官文学博士 辻善之助	牧帰堂殿	状、縦紙	2	封筒とも
茨城県下館町 故牧帰童孫 現戸主 牧一	東京帝国大学文学部史料編纂掛事務主任 史料編纂官文学博士 辻善之助殿	状、縦紙	1	
茨城県下館町 牧一	東京帝国大学文学部史料編纂掛事務主任 史料編纂官文学博士 辻善之助殿	綴	1	
東京帝国大学文学部史料編纂掛事務主任 史料編纂官文学博士 辻善之助	茨城県下館町 牧一殿	綴	1	
東京帝国大学文学部史料編纂掛	茨城県下館町 牧一殿	状、縦紙	1	
東京帝国大学文学部史料編纂掛事務主任 史料編纂官文学博士 辻善之助	牧一殿	状、縦紙	2	封筒とも
東京帝国大学総長事務代理 法学博士 小野塚喜平次	牧一殿	状、縦紙	1	
東京帝国大学文学部史料編纂掛事務主任 史料編纂官文学博士 辻善之助	牧一殿	状、縦紙	2	封筒とも
	東京帝国大学文学部史料編纂掛御中	状、縦紙	1	

L 書籍

資料番号	マイク	年代	表題
L-1-1		安永癸巳年	陰隲文
L-1-2		安政5年年正月上旬	てにをは活辞一覧（下二段活用など活用例ほか文法一覧）
L-1-3			中ノ島金毘羅町□江塾記
L-1-4			とし保木 天
L-1-5		安永2癸巳年冬臘月	もし保木 地
L-2		明治2己巳年6月	官許列藩一覧 全
L-3	◇	明治9年10月20日	漢訳伊蘇普譚
L-4		明治17年10月	ウヰルソン氏第一 リードル独稽古 全（英語学習書）
L-5		明治20年3月15日	英語函解（三）（事物の英和単語書上）
L-6	◇	明治27年3月5日	CHUSHINGURA OR THE LOYAL RETAINERS OF AKAO （英語版忠臣蔵）
L-7		明治29年10月1日	POETICAL GREETING FROM THE FAR EAST Japanese Poems
L-8		明治辛未年中秋	童家英学初歩
L-9		昭和15年11月30日	写真週報（紀元2600年祝典臨時号）
L-10			日本叢書五一 日本の英学
L-11-1			方便種教示の近道（読本）
L-11-2			兵法雄備集十三
L-11-3			らすきん氏読書論（表紙のみ）
L-11-4		大正5年1月	教育に関する勅語（『主婦の友』付録）
L-11-5		明治9年秋	天文ヨリ明治迄凡四百年ノ間仁義禮智信神儒佛忠孝貞善悪見鏡鏡（見立番付）
L-11-6			商人秘用外国ことは早覚 全（英単語をひらがなで書上）

M その他

資料番号	マイク	年代	表題
M-1		天正10年10月3日	正親町天皇繪旨写
M-2-1			葉妙寺姓系図 由緒書（袋）
M-2-2			（牧家初代から12代まで法号・墓地など書上）
M-2-3			由緒書（初代富松内膳から牧仙蔵まで）
M-2-4		元禄15年極月14日	浅野内匠頭家来口上
M-2-5		12月13日	（48人志あるにつき死後の御見分口上書一通建て置く旨）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
河合氏		冊、縦帳	1	河合家蔵書を有志のために印刷したもの
紀藩吉岡鶴成 雲藩矢嶋正名再校		冊	1	
禮之介		冊、縦帳	1	
		冊、縦帳	1	
不見庵存無		冊、縦帳	1	
御用御書物所東京日本橋南壱丁目須原屋茂兵衛		冊、縦帳	2	袋とも
出版人・東京第四大区三小区小石川大門町二十一番地青山清吉		冊、縦帳	1	
挿訳兼出版者東京芝区愛宕下町四丁目式番地真野秀雄㊦		冊、縦帳	1	第4版
東京皇都出版社／画工兼出版人 日本橋区長谷川町十九番地福田熊次郎		状、縦紙	1	一部欠
著者・井上十吉・発兌書林東京日本橋区本町三丁目博文館		冊、縦帳	1	
K. Floren z／発行者 東京市京橋区日吉町十番地長谷川武次郎／絵書印刷者 東京市本所区押上町百五十四番地小宮ヤス		冊、縦帳	1	縮緬本
東京 桂潭島一徳校		冊、縦帳	1	
内閣情報部		冊、縦帳	1	
福原麟太郎／生活社刊		冊、縦帳	1	
教訓舎春水		冊、縦帳	1	
		冊、縦帳	1	
文学士小林一郎訳述		状、縦紙	1	東京 弘道館発行
大勲位伯爵東郷平八郎謹書㊦		状、縦紙	1	『主婦の友』第20巻第1号付録
東京東花堂蔵版		状、継紙	1	
西京誓願寺出席売卜者池田寿考堂板		状、縦紙	1	

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
左中将（花押）	羽柴筑前守殿	状、縦紙	1	裏打ちあり／奥に「箱ノ蓋ノ書付」「正親町院賜秀吉公御繪紙」（ママ）「左中将慶親」とあり
	牧氏	包	1	
		状、縦紙	1	
		冊、横帳	1	
		状、継紙	1	
大石内蔵助良雄（花押）	恵光様ほか2名	状、継紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
M-2-6		12月13日	(M-2-5の写の一部)
M-3		明和4年閏9月21日	(大目付池田筑後守よりの書付写)
M-4		天明3年8月19日	上牧在処売払度段牧監物江申出候処返書ニ反対の趣申来返書
M-5		寛政元年1月	公儀被仰出書并書付品々入
M-6		寛政6寅年4月15日	折紙
M-7		寛政8年12月26日	(鶴殿五郎兵衛秘蔵の品を一覧ののち、返却に際しての書状案文)
M-8		寛政8年12月26日	(別紙朱印の通りの拝領についての礼状案文)
M-9	◇	寛政9年閏7月	(命名状、馬名東雲)
M-10		享和3年9月朔日	御意御書取入
M-11	◇	文化6年9月	先年白川久徳氏より無心申越候扣抜書
M-12-1		万延元年5月	撰州鶴殿□□書状下案并宗旨証文下書其外書状入
M-12-2			撰州鶴殿村方之来状入
M-13		万延元年12月	(包紙)
M-14-1		慶應2丙寅年8月	慶應二丙寅六月毛利大膳父子家茂公御征伐諸家攻口之図(包紙)
M-14-2		11月20日～23日	(井伊掃部頭名代小堀大膳へ父掃部頭我意に任せるなどし不慮の死につき高の内10万石召し上げの旨ほか諸大名宛書付写)
M-14-3		慶應2丙寅年	(芸州防州国境小瀬川周辺における合戦経過書上図)
M-14-4			野暮点土(「天下争乱…」など書上)
M-14-5		慶應2年8月	芸州三筋道大図(長州方大砲設置の印あり)
M-14-6			(付箋、「此画図ハ書面トハ別也」とあり)
M-14-7		6月24日～8月	(井伊掃部頭殿など公辺陸軍隊小瀬川附近攻略につき落首ほか様子書上)
M-14-8		8月15日	芸地之来状之内(書状、細川勢の奮戦により戦争大勝利ほか戦争様子書上)
M-14-9			(神田橋ほかに御救小屋建設など世上評判書上)
M-14-10		7月2日～10日	筑後久留米侯御藩より借用写之(長防士民中よりの懇願の写あり)
M-14-11		慶應2寅年8月	(芸州防州国境小瀬川周辺における合戦経過書上図)
M-14-12		慶應2寅年8月	(長州～安芸・伊予・豊前などへの進軍図)
M-14-13		慶應2寅年8月	(山口・小郡周辺道法・地勢図)
M-14-14			(福原首・増田首・国司首ほか敷地内諸藩配置図)
M-14-15		戊辰年11月	防長藩治職制
M-15		明治2年2月6日	撰州鶴殿村鶴殿五郎兵衛宅江 正道上京之節写取候書類
M-16		明治10年2月12日	明治九年新古暮 請取并書判入
M-17		明治14年8月4日	親類書扣
M-18	◇	明治26年4月	(修身教授用掛図広告)
M-19	◇	明治33年4月23日	(学年長任命書)
M-20-1	◆	明治34年4月	牧婦童写真模写図
M-20-2	◆	昭和11年5月	茨城県人会牧婦童の写真
M-21		明治36年4月	広島来状入(明治36年中の牧一ほかより牧正寛宛の書簡・はがき一括)
M-22		明治41年8月10日	国民軍幹部適任証書
M-23	◇	明治44年1月	暮醬油景品附(大安売り広告)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
大石内蔵之介	恵光様ほか2名	状、竖紙	1	前欠
	石川若狭守	状、竖紙	1	
		包紙	1	包紙のみ
牧均正		包	1	袋のみ
		包紙	1	包紙のみ
烏丸光廣(祖)公		状、竖紙	1	裏に和歌を貼る
牧監物・岩島主膳・荒木能登守	鶴殿五郎兵衛	状、竖紙	1	
鹿島土肥貫雅敬		状、折紙	1	
		包紙	1	包紙のみ
富松正真		状、竖紙	1	
牧		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	包紙のみ
牧志摩	上牧衛守	包紙	1	包紙のみ
牧正道写		包紙	2	こよりと
		状、継紙	1	
牧正道写		絵図	1	彩色
		状、竖紙	1	
		絵図	1	彩色
		付箋	1	どこかの図面から脱落したもののカ
		状、継紙	1	
大須加	牧太夫様	状、継紙	1	
	牧太夫様	状、継紙	1	
	牧太夫様	状、継紙	1	
牧正道写		絵図	1	彩色
牧正道写		絵図	1	彩色
牧正道写		絵図	1	彩色
		絵図	1	
		冊、竖帳	1	
牧正道		包紙	1	包紙のみ
牧		包紙	1	包紙のみ
牧正寛	柴田六経	包紙	1	包紙のみ
出版所 済美館		状、竖紙	1	
下館高等学校	第弐学年女 牧かめよ	状、竖紙	1	
		絵	2	牧正寛による説明書あり
		写真	1	
		状	1	書簡6 / はがき15
歩兵第十一聯隊長陸軍歩兵大佐 石田保謙	牧一	状、竖紙	1	
下館町新坂 クスリヤ 田宮源太郎 醬油部		状、竖紙	1	



資料番号	マイク	年代	表題
M-24		大正元年8月13日	書簡
M-25		大正3年1月15日	辞令（五級俸下賜）
M-26		大正3年3月10日	辞令（叙従七位）
M-27		大正4年11月11日	辞令（陞叙高等官六等）
M-28		大正4年12月15日	災害寄付に関する礼状
M-29		大正5年5月20日	辞令（叙正七位）
M-30		大正6年5月21日	辞令（陞叙高等官六等）
M-31		大正6年11月19日	辞令（陞叙高等官五等）
M-32		大正6年12月28日	辞令（叙従六位）
M-33		大正8年1月8日	辞令（十級俸下賜）
M-34		大正8年1月9日	辞令（陞叙高等官五等）
M-35		大正9年1月31日	辞令（陞叙高等官四等）
M-36		大正9年2月20日	辞令（九級俸下賜）
M-37		大正9年3月10日	辞令（叙正六位）
M-38		大正10年4月14日	辞令（叙高等官四等）
M-39		大正10年4月14日	辞令（八級俸下賜）
M-40		大正11年4月12日	献立（早稲田大学教授慰労会）大正11年4月12日晚餐於帝国ホテル
M-41		大正11年5月17日	辞令（叙高等官三等）
M-42		大正11年5月17日	辞令（七級俸下賜）
M-43		大正11年6月20日	辞令（叙従五位）
M-44-1	◇	大正12年3月22日	目録（記念品1点）
M-44-2	◇	大正14年5月7日	（案内状、敬老会開催につき）
M-45		大正15年8月7日	辞令（五級俸下賜）
M-46		昭和2年7月15日	辞令（叙正五位）
M-47-1			終戦当時書簡
M-47-2		昭和25年8月29日	金銭消費貸借契約公正証書正本（金1800円借用につき）
M-47-3		昭和26年2月1日	家屋賃貸借契約証書
M-47-4			（樋口さんとあった結果、厚生省水長さんから照会の榮養士につき）
M-47-5-1		昭和26年3月26日	物品受領書（標準英語文法式級字典、「牧先生」宛封筒入）
M-47-5-2		昭和26年6月19日 昭和26年7月2日	請求書（集国給食費指針59冊分7434円、同領収書とも）
M-47-5-3		昭和25年8月29日	入金通知書（9月5日～20日返済分元利合計1700円、「完済」の印あり）
M-47-6		昭和20年2月7日	履歴書（茨城県士族牧一）
M-47-7-1		昭和41年5月13日	祝電・祝辞等在中（教育会館において伝達式挙行）
M-47-7-2-1			祝電
M-47-7-2-2			（「牧一殿」名前つきりボン）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
方波見幸之助	牧正寛	封筒	1	封筒のみ／書留便
文部省	牧一	状、縦紙	1	
宮内大臣：渡邊千秋	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：大隈重信	牧一	状、縦紙	1	
北海道庁長官：依孫一	牧一	状、縦紙	1	
宮内大臣：波多野敬直	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：寺内正毅	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：寺内正毅	牧一	状、縦紙	1	
宮内大臣：波多野敬直	牧一	状、縦紙	1	
文部省	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：原敬	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：原敬	広島高等師範学校教授：牧一	状、縦紙	1	
文部省	牧一	状、縦紙	1	
宮内大臣：波多野敬直	牧一	状、縦紙	1	
内閣総理大臣：原敬	牧一	状、縦紙	1	
文部省	牧一	状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
内閣総理大臣：高橋是清	牧一	状、縦紙	1	
文部省	牧一	状、縦紙	1	
宮内大臣：牧野伸顕	牧一	状、縦紙	1	
二十日会	牧こう殿	状、継紙	1	
下館町教育会長水越喜之助	牧こう殿	状、縦紙	2	包紙とも
文部省（東京商科大学）	牧一	状、縦紙	1	
宮内大臣：一木喜徳郎	牧一	状、縦紙	1	
		包紙	2	包紙のみ／くくりひもとも
東京市麹町区一番町拾九番地 式東京民事地方裁判所所属公証人岡退		綴	1	
		綴	1	
	牧さん	状、縦紙	1	学校法人共立女子学園罫紙
千代田区神田錦町一ノ一三 篠崎書林	牧先生	状、縦紙	2	封筒と中に物品受領書（請求書）一枚あり
第一出版株式会社	共立女子大学 牧一殿	状、縦紙	3	封筒とも／封筒は共立女子大学のもの 封筒一枚とその中に請求書一枚と領収書一枚あり
⑩東京都中央区新川町1-5 国民金融公庫業務部	金田殿	状、縦紙	1	
右（茨城県士族）牧一⑩		綴	1	5丁
牧一		包	2	くくりひもとも／袋には「東京都千代田区霞ヶ関三丁目四番地文部省」とあり／「牧一殿」との付箋あり
		包	1	
		服章	1	

資料番号	マイク	年代	表題
M-47-7-23			(名刺、東京グリーン・サービス協会 世界のフラワーセンター京華園 専務取締役 伊東健次)
M-47-7-24			(名刺、文化服装学院連鎖(東京) 文化国際服装学院 学校法人三宅学園 院長三宅コウ)
M-47-7-25			(名刺、重症心身障害児療育施設 財団法人 秋津療育園 指導科主任 草野照子)
M-47-7-26			(名刺、民生委員児童委員 札幌市婦人団体連絡協議会常任委員 三吉やよい婦人会会長 角寛子)
M-47-7-3		昭和41年4月20日	(書簡、貴家家柄ほか懐かしきこと申し上げる旨)
M-47-7-4		昭和41年6月2日	(書簡、記杯御下賜の栄誉につき御祝詞申し上げの旨および妙西寺墓地修復につきなど)
M-47-7-5		昭和41年5月13日	(書簡、叙勲につき祝辞を申し上げる旨)
M-47-7-6		昭和41年5月6日	(書簡、叙勲につき祝詞を申し上げる旨)
M-47-7-7		昭和41年5月2日	(書簡、叙勲につき祝辞を申し上げる旨)
M-47-7-8		昭和41年5月19日	(書簡、叙勲につき祝詞をいただきお礼の見本葉書)
M-47-7-9		昭和41年5月吉日	(書簡、祝賀会開催につき鳩山先生ともども御臨席をねがう旨)
M-47-7-10		6月3日	(書簡、銀杯御下賜を受けられたにつき御祝詞申し上げる旨)
M-47-7-11		6月5日	(書簡、銀杯御下賜を受けられたにつき御祝詞申し上げる旨ほか)
M-47-7-12		6月2日	(書簡、銀杯御下賜を受けられたにつき御祝詞申し上げる旨ほか)
M-47-7-13		昭和41年5月28日	(書簡、銀杯御下賜をうけられたにつき御祝詞申し上げる旨ほか)
M-47-7-14		6月5日	(書簡、結構なるお品をお送りいただきにつき御礼)
M-47-7-15		昭和41年6月5日	(書簡、銀杯御下賜を受けられたにつき御祝詞申し上げる旨)
M-47-7-16		昭和41年4月29日	(電報、晴の栄誉をたたえ益々ご活躍を祈る旨)
M-47-7-17		昭和41年4月29日	(電報、栄えあるご叙勲を心からお祝い申し上げます旨)
M-47-7-18		昭和41年4月29日	(電報、銀杯を祝し健康を祈る旨)
M-47-7-19		昭和41年4月30日	(電報、栄えある賜杯を受賞せられ心からお祝い申し上げます旨)
M-47-7-20		昭和41年4月30日	(電報、銀杯の栄誉おめでとうございます旨)
M-47-7-21		昭和41年4月29日	(電報、栄えある叙勲お祝い申し上げます旨)
M-47-7-22		昭和41年4月29日	(電報、栄えあるご叙勲を祝し今後のご活躍を祈る旨)
M-47-7-23		昭和41年5月8日	(電報、ともに杯をあげてこの度の栄誉をお喜び申し上げます旨)
M-47-7-24		昭和41年4月29日	(電報、栄えある勲章受賞を祝し今後のご活躍を祈る旨)
M-47-7-25		昭和41年5月11日	(電報、晴れの叙勲お祝い申し上げます旨)
M-47-7-26		昭和41年5月10日	(電報、晴れの叙勲お祝い申し上げます旨)
M-47-7-27		昭和41年4月30日	(電報、今回の叙勲を謹んでお祝い申し上げます旨)
M-47-7-28			御祝(熨斗紙)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		名刺	1	
		名刺	1	
		名刺	1	
		名刺	1	「共立女子大文芸学部三年 角芳子母」との注記あり
尾鍋文雄	牧大兄	状、竖紙	3	封筒とも
上坂猛	牧一様	状、竖紙	3	封筒とも
株式会社三省堂取締役社長 小倉正風	牧一先生	状、竖紙	2	封筒とも
国際商科大学学長 金子泰蔵	共立女子短期大学副部長 牧一先生	状、竖紙	2	封筒とも
社団法人如水会理事長 中島慶次	牧一殿	状、竖紙	2	封筒とも
鳩山薫	牧一様	状、竖紙	2	封筒とも
共立女子学園鳩山先生叙勲 祝賀会事務局 共立女子学園 桜友会 後援会	牧一殿	状、竖紙	2	封筒とも
土方才子	牧一様	状、竖紙	2	封筒とも
青山誠子	牧一先生	状、竖紙	3	封筒とも
福島弥兵衛 花子	牧一先生	状、竖紙	2	封筒とも
佐藤亮一	牧一先生	状、竖紙	5	封筒とも
新関良三	牧一先生	状、竖紙	3	封筒とも
曾我良彦	牧叔父上様	状、竖紙	3	封筒とも
クロイワ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
ブンキョウガクエン シマダ イシコ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
フジワラ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
ヒタチゾウセンカイチョウ マツバラヨソマツ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
ヨコヤマミツコ	マキ一殿	状、竖紙	2	封筒とも
タダツルヨ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
トウキョウシリツタンキダイ ガクキョウカイジンキョク チョウ スズキタケオ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
ミヤモトサブロウ	マキイツ殿	状、竖紙	2	封筒とも
トウキョウシリツタンキダイ ガクキョウカイ カイチョウ サセヒサシ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
シガクキョウサイクミアイリ ジチョウ ササキリョウキチ	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
シガクキョウサイクミアイソ ウムブチョウ シミズシン	マキハジメ殿	状、竖紙	2	封筒とも
イバラキケンチジ イワカミ ニロウ	マキイツ殿	状、竖紙	2	封筒とも
文京学園島田依史子		包紙	1	

資料番号	マイク	年代	表題
M-47-7-29		昭和41年4月29日	(英語教育の功績による授与を祝う旨)
M-47-7-30			御祝(熨斗紙、福砂屋の商標あり)
M-47-7-31			(番号札、「牧一殿 7 2号車」とあり、裏に陛下のお言葉のメモあり)
M-47-7-32		昭和41年5月8日	(賜杯の栄誉を祝う旨)
M-47-7-33		昭和41年5月9日	(拙著を御一読くだされば幸いにつきならびに叙勲を祝う旨)
M-47-7-34		昭和41年5月13日	(銀杯を賜る名誉を祝う旨ならびに亜細亜大学の関係のため先生をお祝いする会を欠席する旨)
M-47-7-35		昭和41年5月7日	(杉江様宛(○の中に虎)羊かん2つ御届けご案内の旨)
M-47-7-36		昭和41年4月29日	(春の叙勲での賜杯栄誉を祝う旨)
M-47-7-37		昭和41年4月30日	(銀杯の叙勲を祝う旨)
M-47-7-38		昭和41年6月6日	(銀杯御下賜の栄誉を祝う旨)
M-47-7-39		昭和41年6月1日	(教育の功績が認められたにつき祝詞をのべる旨)
M-47-7-40		昭和41年5月30日	(銀杯拝復遊ばされたことを祝う旨)
M-47-7-41		昭和41年6月2日	(銀杯御下賜の栄誉を祝う旨)
M-47-8		昭和3年4月10日	東京商科大学豫科教授牧一殿 同令夫人(新宿御苑における観桜会への招待状)
M-48		昭和7年6月15日	辞令(勅任官ヲ以テ待遇セラル)
M-49		昭和7年10月1日	辞令(叙従四位)
M-50		昭和8年1月5日 昭和8年4月29日	昭和8年新年宴会時の席案内札と駐車許可証、天皇誕生日宴会の儀時の駐車許可証
M-51		昭和8年11月1日	辞令(陞叙高等官二等)
M-52-1		昭和11年2月7日	通知文書(紀元節宴会召状)
M-52-2		昭和11年2月8日	御断書(紀元節宴会)
M-53		昭和12年1月5日	昭和12年新年宴会時の席案内札と駐車許可証、封筒
M-54			新宿御苑注意事項と(新宿御苑)正門参入者自動車置場図
M-55		昭和13年1月15日	辞令(叙正四位)
M-56		昭和14年12月8日	文部省視学委員二関スル件
M-57		昭和15年8月28日	牧一身分証明書
M-58		昭和20年2月	牧一履歴資料
M-59-1		昭和22年2月	外国人著作権の調査に関する報告(辞典)
M-59-2		昭和22年2月	外国人著作権の調査に関する報告(単語)
M-60		昭和23年4月1日	辞令(厚生省復員局翻訳、通訳員)
M-61-1		昭和23年12月9日	企業再建整備計画認可公告
M-61-2		昭和24年1月13日	企業再建整備計画案認可の報告
M-61-3		昭和24年1月18日	郵便封筒

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
乾亮一	牧一先生	状、竖紙	1	
鶴見誠		状	1	
		状	1	裏書:「陛下のお言葉は いろいろとつくしてくれて有がとう 今後ともつくしてくれるやう 脉を大切に」
角倉邦彦	千代田区神田一ツ橋 共立女子大学 牧一様	状、竖紙	1	
守田藤之助	牧一様	状、竖紙	1	
山崎三郎	牧一	状、竖紙	1	
株式会社大丸東京店郵送課	牧一	状、竖紙	1	
風巻義雄	牧一様	状、竖紙	1	
森愛子	牧一様	状、竖紙	1	
桜井キヨ	牧一様	状、竖紙	1	
本林勝夫	牧一先生	状、竖紙	1	
新庄よしこ	牧一先生	状、竖紙	1	
水野弘元	牧一先生	状、竖紙	1	
宮内大臣:一木喜徳郎	東京商科大学豫科教授 牧一殿 同令夫人	状、竖紙	3	封筒・紙片とも/封筒に菊の紋章あり/封筒中招待状のほか紙片あり
内閣	牧一	状、竖紙	1	
宮内大臣:一木喜徳郎	牧一	状、竖紙	1	
宮内省カ	牧一カ	状、竖紙	3	
内閣総理大臣:齊藤実	牧一	状、竖紙	1	
東京商科大学	牧一	状、竖紙	1	
牧一	宮内省式部職御中	状、竖紙	1	
宮内省カ	牧一カ	状、竖紙	3	封筒とも
		状、竖紙	1	
宮内大臣:松平恒雄	牧一	状、竖紙	1	
文部省普通学務局長	東京商科大学長殿	状、竖紙	1	文部省視察委員として牧一囑託
文部省(文部大臣:橋田邦彦)	牧一	状、竖紙	1	
		冊、竖帳	1	中に「三除平均点便覧」が挟まっている
松邑孫吉	警視總監	状、竖紙	3	契約内容に関する報告書(著作権者:牧一)/標準英語文法・作文辞典
松邑孫吉	警視總監	状、竖紙	1	契約内容に関する報告書(著作権者:牧一)/英語重要単語の統計的研究
厚生大臣:竹田儀一	牧一	状、竖紙	1	
日本特殊工業株式会社 宮本光一・渡邊忠雄		状、竖紙	1	牧一が再建に際して援助をしていた
日本特殊工業株式会社: 宮本光一	牧一	状、竖紙	1	牧一が再建に際して援助をしていた
日本特殊工業株式会社	牧一	封筒	1	

資料番号	マイク	年代	表題
M-61-4			名刺（日京製作所：新井右友・新井英价）
M-62		昭和24年1月26日	辞令（引揚援護庁復員局連絡課翻訳員免職）
M-63		昭和41年4月29日	昭和四十一年春の勲章受章者および受杯者名簿
M-64-1		昭和41年4月29日	（目録、銀杯1個を賜る旨）
M-64-2			（香典袋、金五千円と記された内袋あり）
M-64-3			（目録、祭料金五千円）
M-65-4-1			（写真、牧夫妻の着席を牧一側から撮影したもの）
M-65-4-2			（写真、牧一のスピーチを撮影したもの）
M-65-4-3			（写真、牧夫妻ほかの乾杯を撮影したもの）
M-65-4-4			（写真、牧夫妻の着席を令夫人側から撮影したもの）
M-66		昭和46年5月1日	故牧一葬儀次第（於 青山学院P・S・講堂）
M-67	◇	昭和46年	常陸国 行方郡牛堀村 須田家文書目録
M-68	◇	子年12月	覚（反物書上げ）
M-69		卯年9月19日	断簡（包紙の上書）
M-70	◇	1月16日	（書状、兼ねて約束していた書物ができたので送ること、及びこの間の返書を拝見した旨）
M-71-1		2月8日	封筒（文部省体育局局长室 局長柴沼直殿 親展）
M-71-2		2月8日	（3月退官のため就職口を探している旨）
M-72	◇	3月5日	（高山宗敏一族の身元保証書）
M-73		閏3月5日	書簡
M-74-1	◇	4月	口上（重詰などの届け書）
M-74-2	◇		（折詰御詰の御用証書）
M-75		8月12日	（書簡断簡）
M-76	◇	24日	口上代
M-77	◇		御屏風更張覚
M-78	◇		覚（牧藤左衛門より預かった将軍家御系図ほかの文書・書物の書上）
M-79	◇		借用物覚（食器類）
M-80	◇		（御頼みの裕羽織を下された者の名前書付）
M-81	◇		（望外の書き添えに対する返書）
M-82	◇		回生真訣折衝飲（効能書）
M-83	◇		（打ち身の薬の書付）
M-84	◇		（握奇門についての書付）
M-85	◇		松嶋遊覧会々員募集趣意
M-86	◇		（色紙紙切れ）
M-87	◇		（集会を開く際の手順などを知らせる書付）
M-88			断簡
M-89			木幡大明神 御神供 病犬除
M-90-1			（家紋の染見本）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
日京製作所：新井右友・新井英价	牧一	名刺	1	
引揚援護庁	牧一	状、縦紙	1	
文部省	牧一	冊、縦帳	1	
内閣総理大臣佐藤栄作 <sup>㊤</sup>	勲三等牧一	状、縦紙	1	
		包	1	内袋・水引とも
天皇陛下	故一橋大学名誉教授牧一	状、縦紙	1	
		写真	1	カラー写真
		写真	1	カラー写真
		写真	1	壇上に「鳩山薫…」との垂れ幕あり／カラー写真
		写真	1	カラー写真
		状、縦紙	1	
国立史料館		冊、縦帳	1	
中村五右衛門	牧様御内麻生勘兵衛様	状、継紙	1	
		包紙	1	上包のみ
大嶋玄兵衛殿	富源之右衛門様	状、継紙	1	
牧一	文部省体育局局长室局長：柴沼直	封筒	1	
牧一	柴沼直	状、継紙	1	
日水（花押）		状、縦紙	1	
牧志摩	鶴殿五郎兵衛	状、継紙	1	前欠／状のみ
尾張町通り一丁目 大和田		状、継紙	2	包紙とも
下館町御城内一丸町 蛇目屋 若狭		状、縦紙	1	
種次郎	御阿年様	状、縦紙	1	断簡
若狭	志摩殿	状、継紙	2	包紙とも
		冊、横帳	1	
		状、折紙	1	
		冊、横半帳	1	
		状、縦紙	1	
		状、折紙	1	
調査所上総国東金町 出店江戸 日本橋通老丁目 大野伝兵衛		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	後欠
		状、縦紙	1	
発起人 西茨城郡西山内村 稲田 谷中喜平・ほか7名		状、縦紙	1	
		状	5	包紙とも
		状、継紙	1	前欠
		状、縦紙	1	「正道君」手紙の宛名カ
		包	米粒 14	包紙の中に米粒
		布片	5	包紙の中に布と紙



資料番号	マイク	年代	表題
M-90-2			(型紙)
M-91			(切り絵)
M-92			ぼたん
M-93			神仙一角丸
M-94			(小児薬王肝臓圓の包)
M-95			初産着仕立覚書入 四通
M-96			御勝手向御用帳面書付等
M-97			御家督一件書付共入
M-98			証文一通
M-99			上様御仕切金書付入
M-100			御墓御位牌写三枚
M-101			口達書
M-102			関札
M-103			大神宮生湯
M-104			(覚書の包紙)
M-105			(上包) (右若狭守御筆とあり)
M-106			(金 二百疋の包紙)
M-107			口上覚
M-108			家光公御書・御黒印
M-109			不明
M-110			(書簡断簡)
M-111			断簡
M-112			断簡
M-113			断簡
M-114			断簡
M-115			断簡
M-116			(断簡)
M-117			断簡
M-118			(包紙のみ)
M-119			(包)
M-120			(白紙)
M-121			断簡
M-122			盛京之折紙
M-123			(天満宮とある包)
M-124			厚免のかミ 難有物
M-125-1			御婦れ入 (じん香)
M-125-2			御婦れ入 (御代官様手つから御志ほり被遊之切)
M-125-3			御婦れ入 (ちとめ)
M-125-4			御婦れ入 (きんり様御手かちん)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		型紙	12	包紙の中に布と紙
		切り絵	4	包紙の中に3枚の切り絵 (兎、花、花)
		ぼたん	4	包紙の中に3つのボタン
		包	1	越中富山の薬 / 効能の書かれた紙が同封 / 黒い粉が包み紙の中に入っている
京都東洞院通仏光寺上ル町		包	1	包み紙の中に黄色い粉が入っている
		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	包紙のみ
		包	1	上包のみ / 内側に墨書あり
		包紙	1	上包のみ
		包紙	1	包紙のみ
東福寺		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	上包のみ
		包紙	1	上包のみ
		状、縦紙	1	状は白紙 / 包紙とも
		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	上包のみ
		包紙	1	
		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	包紙のみ
		包	1	開封不可
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	1	前後欠
		状、縦紙	1	
		状、折本	1	
		状	1	
		状	1	
		状、縦紙	1	
		包紙	1	包紙のみ
		包	1	包のみ
		状、縦紙	1	
		状、縦紙	6	状6枚
		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	包紙のみ
		包	2	包紙とも / 中に和紙のキレ有
		包	1	木粉入
		包紙	2	紋染の布入
		包紙	1	赤布なし
		包紙	2	赤布あり

資料番号	マイク	年代	表題
M-125-5			御婦れ入（禁裏様御口とうのひも）
M-125-6			御婦れ入（右大将よりの病み止め）
M-126			証文
M-127			不明
M-128			将軍家御花押字入
M-129			（書簡断簡）
M-130			長州藩 祖式金八郎
M-131			（書簡断簡）
M-132			（書簡断簡）
M-133-1			（封筒、明治十五年六月）
M-133-2			（封筒、東京岩岡商報）
M-133-3			（封筒、明治三七年三月二日）
M-133-4			（封筒、二月二三日）
M-134			（天正一〇年一〇月三日 正親町天皇繪旨の上包）（写）
M-135			親類書
M-136			由緒書 一冊
M-137			（橘姓牧系図上包）
M-138			親類書
M-139			正実様正達様御実名入
M-140			（牧乾殿 とある付箋）
M-141			（戸籍断簡 士族上牧退掣分）
M-142			断簡
M-143			（包紙）
M-144			（包紙）
M-145			（書状の上包）
M-146			（牧乾宛の書簡）
M-147			山椒など書付
M-148			（封筒）
M-149			帳簿カ
M-150			著作権に関するメモ書き
M-151			本カード
M-152-1			牧一履歴書（官職等歴：大正2年6月～昭和14年8月）
M-152-2			牧一履歴書（学業と官職等歴：明治40年3月～大正□年2月）
M-152-3			牧一著作歴
M-152-4			牧一履歴書（官職等歴：昭和16年6月～昭和24年4月1日）
M-153			東京都23区地図
M-154			軍機極秘親展
M-155-1			景虎公総縄図（袋）
M-155-2			（城代同河内守定行ほか年別加増者人名書上、城郭図）
M-155-3			（紙、未記入）
M-155-4			（「北東ハ川曲郡南ハ安芸郡…」ほか地勢書上）
M-155-5			（「獨奈別無下酒…」など漢文書上）

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		包紙	2	橙色の糸入
		包紙	1	白い粉末入
		包	4	包3枚／中身開封不可
		状	1	開封不可
		包紙	1	
		状	1	
		板	3	封筒とその中に板2枚有
		状、豎紙	2	紙2枚有
正奥		状	1	
上牧三郎	牧三寛	封筒	1	
		封筒	1	
井口次光	石川重之家扶中	封筒	1	
石川家扶	下館町石川重之家扶中	封筒	1	
	（羽柴筑前守）	包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	紙2枚
		包紙	1	包紙のみ
		包紙	1	包紙のみ
	牧乾	状	1	
		状、豎紙	1	
		状	2	状2枚
柴田理兵衛・雨森頼母	牧乾	包紙	1	包紙のみ
牧志摩	牧三耕	包紙	1	包紙のみ
近江	牧志摩	包紙	1	包のみ
	牧乾	包紙	1	上包のみ／開封不可
		状、豎紙	1	
		封筒	1	封筒のみ
		状	1	
		状、豎紙	3	
牧一		状、豎紙	1	
		状、豎紙	1	
		状、豎紙	1	
		状、豎紙	1	
		地図	1	
		状、豎紙	1	表紙のみ
	牧氏	包	1	
		状、豎紙	3	前欠／帳崩れカ
		状、豎紙	1	
		状、豎紙	1	
		状、豎紙	1	方眼紙に書かれている

資料番号	マイクロ	年代	表題
M-156			(徳川家系図、廣忠から綱吉まで縁者書上)
M-157			(筑後久留米ほか九州地方歴代入封大名書上・城郭図帳)
M-158			(堀田加賀守正盛ほか年別石高・人名書上、城郭図)
M-159			(播州姫路など山陽道ほか歴代入封大名書上、城郭図帳)
M-160			主図合結記 目録 (ほか入封大名書上・城郭図あり)
M-161			(紙片)
M-162			(二本松など歴代入封大名書上・城郭図帳)
M-163			(袋)
M-164			(高崎など歴代入封大名書上・城郭図帳)
M-165			(水口など歴代入封大名書上・城郭図帳)
M-166			(加州金沢など歴代入封大名書上・城郭図帳)
M-167			(淡路須本など歴代入封大名書上・城郭図帳)
M-168			(袋)
M-169			(天正18年4万石松平因幡守康元ほか歴代大名書上)
M-170			国絵図 武蔵・相模・上野・下野・常陸・下総 (袋)
M-171			由緒書写 (富松内膳正賢ほか7名書上)
M-172			(「古文書」と書かれた5桁の郵便番号欄ありの封筒に六角形が記された和紙2点入り)
M-173-1			第五版正則ニューナショナル第二リード独案内
M-173-2			(水素の化学式ほかについての化学関係ノート)
M-173-3			筆算自録 卷ノ五 (乗法・開平・開立の問題集)
M-174-1			雑事雲州談艸 (太閤・大猷院ほか諸人逸話書上)
M-174-2			(牧家蔵谷文見画浴沂図来詩)
M-175			(イリノイ州立大学同窓会写真)
M-176			(叙勲の際の皇居における集合写真)
M-177			(叙勲の際の皇居における集合写真)
M-178			(牧一大礼服写真)

差出・作成	宛名	形態	数量	備考
		状、継紙	1	円状の系図
		冊、縦帳	1	一部帳崩れ／前後欠カ
		状、縦紙	4	彩色／帳崩れカ
		冊、縦帳	1	彩色／前後欠カ
		冊・状	12	
		状	1	紙片は細長い台形
		冊・状	4	
	牧氏	包	1	袋には「天草嶋原一揆合戦場之図 一枚」／「富岡之城図 一枚」／「嶋原有馬郡原之城惣寄手之図 一枚」とあり
		冊・状	18	十津川郷の図などもあり
		冊・状	2	
		冊、縦帳	1	
		冊・状	6	
	牧氏	包	1	袋には「勢州桑名城国・江州膳所城国・大坂城責之図・佐渡之国之図 四枚入」とあり
		状、縦紙	1	帳崩れ
	牧乾㊦	包	1	
		状、縦紙	3	紙片が3つ
		状	1	
森修一訳著		状、縦紙	1	大阪書房 吉岡氏発售／表紙のみ
		冊、横半帳	1	
旧下館藩執権武牧正寛		冊、縦帳	1	
		冊、横半帳	1	表紙に「外ニ雑談ヲ記」とあり
茂木片岡恒再拜㊦		状、縦紙	1	裏打あり
		写真	1	額入り
		写真	1	額入り
		写真	1	額入り
東京神田駿河台 主婦之友写真館		写真	1	

## 2. モノ資料

### A 絵画・書

資料番号	年代	表題	落款
A-1		百鬼夜行絵巻	無
A-2		風俗図鑑	無
A-3		梅図	柳圃老人
A-4		竹図	新梢出墻柳圃
A-5		蘭生幽谷不以無人不香	余山隸
A-6		蘭図	幽
A-7		(帯刀した人物など)	無
A-8		(盆栽の松の図)	無
A-9		桜に鳥図	有
A-10		月梅図 (林直保筆)	林伊教直保筆
A-11		菊図	無
A-12		柿本人麿図 (伝土佐光芳筆)	光芳
A-13		日の出と松	文普
A-14		松菊図 (藤田素堂筆)	有
A-15	江戸	管公図	無
A-16		渡唐天神図	無
A-17	明治・大正	能楽松風図 (藤田蓬壺筆)	有
A-18		葦に雁図	無
A-19		白梅に鶯図	無
A-20		大黒天図 (福神のうた)	無
A-21		敬神崇祖	正三位子爵 源朝臣石川重之書 七十六歳
A-22		管公図	無
A-23		徳川系図	無
A-24	明治	菊花図	有
A-25		春 村に桜花咲く	雲鳳
A-26	明治44年7月3日表装	牧婦童肖像	横須賀香汀
A-27		夏秋山水図	有
A-28		松竹 (清心院様幼時御筆と手形)	無
A-29		筑波山麓村図	有
A-30	大正期	月下虎図 (水野南溪筆)	南溪
A-31	明治～大正	福の御舞い (中山秋湖筆)	秋湖
A-32	明和5年12月	大黒天図	櫻園宮居書
A-33		竹図	白華山人
A-34		雪山山水図	有
A-35		山水図	有

印	法量 (全体)	形態	数量	備考
無	30.9×957.6	卷子	1	
無	30.6×1010.1	卷子	1	
白文方印	210.8×25.3	軸	1	
白文方印	210.5×25.3	軸	1	
白文長方印	211.0×26.4	軸	1	
朱文方印/白文方印	210.6×26.4	軸	1	
無	80.8×63.2	捲り	1	
無	138.5×112.0	捲り	1	画中に「徼性木 法橋深昏写之」とあり
朱文楕円連印	187.5×50.0	軸	1	
朱文円印	183.0×46.7	軸	1	
朱文方印	90.0×44.5	軸	1	
白文方印	118.0×37.9	軸	1	
朱文円印	177.5×54.8	軸	1	
朱文円印	185.4×53.3	軸	1	軸裏:「松菊図 旧宇都宮藩藤田素堂筆」
無	141.4×42.1	軸	1	軸裏:「天満宮」/「天神」
朱文方印	91.2×29.0	軸	1	軸裏:「天満宮」/「天神」
朱文方印/白文方印	192.3×44.1	軸	1	
無	149.7×53.8	軸	1	
朱文方印/白文方印	183.0×53.4	軸	1	
無	91.0×44.6	軸	1	
朱文方印/白文方印	34.5×131.8	捲り	1	
無	59.4×18.1	軸	1	軸裏:「河州道明寺天満宮」
無	32.2×955.4	卷子	1	
朱文方印/白文方印	183.8×64.3	軸	1	軸裏:「霞谷菊花画」
朱文方印/白文方印	121.5×60.3	軸	1	山口雲鳳筆か
朱文方印	149.8×59.5	軸	1	軸裏:「牧婦童肖像 明治四十四年七月三日表装」/「観世十七世大夫清尚」の貼紙あり
朱文長方印	210.0×60.8	軸	1	
無	116.0×56.1	軸	1	軸裏:「清心院様御幼年之時御書及御掌形」
朱文方印/白文方印/朱文長方印	154.6×144.1	軸	1	
朱文方印/白文方印	204.0×61.1	軸	1	
朱文方印	206.0×59.9	軸	1	
朱文方印/白文方印	180.4×57.8	軸	1	
朱文方印/白文方印	208.5×65.4	軸	1	
朱文方印/白文方印/白文長方印	190.4×65.1	軸	1	軸裏:「雪山山水」
朱文方印/白文方印	209.5×90.1	軸	1	



資料番号	年代	表題	落款
A-36		鶴図	東寅
A-37		清湖山水図	有
A-38		山水図	無
A-39		陣立図	無
A-40		山水図	有
A-41		雪景図	有
A-42		山水図	崑山冬
A-43		竹図	有
A-44		山水図	有
A-45		山水図	有
A-46		徳川氏十六将図	無
A-47		橘姓牧氏系図	無
A-48		山水図	文晁
A-49		花鳥図深山ノ春	錦嶺
A-50		古歌短冊	無
A-51		古歌短冊	無
A-52		詠歌色紙カ	無
A-53		若松福寿草画賛和歌寄合書	有
A-54		短冊	無
A-55		公家衆寄合書古歌懐紙卷	各紙裏に有
A-56		撫子画賛・詠峯雪和歌	有
A-57		秋木群鳥図 寄合画賛	有
A-58		松紅梅図寄合画賛	有
A-59		稲刈図寄合画賛	無
A-60		書（強毅而勁直）	無
A-61		書	有
A-62		五言絶句	有
A-63		七言絶句	無
A-64		書	古聖堂主人劉須
A-65		書	有
A-66		書	王鄭章隸古
A-67		書	有
A-68		書	有
A-69		七言絶句	有
A-70		書	無
A-71		名号	無
A-72		書	甲辰正月 源総般筆
A-73		五言律詩	有

印	法量（全体）	形態	数量	備考
朱文方印／白文方印	188.7×68.3	軸	1	
朱文方印／白文方印	195.7×68.8	軸	1	軸裏に「清湖山水」の貼紙あり
白文方印	210.3×65.4	軸	1	
朱文方印／白文方印	202.3×74.6	軸	1	
白文方印	179.3×78.9	軸	1	軸裏：「大魂山水之図」
白文方印	209.8×74.3	軸	1	
朱文方印	194.2×80.0	軸	1	
白文方印	209.1×78.5	軸	1	
朱文方印／朱文円印	200.9×72.9	軸	1	
朱文方印／白文方印	242.5×66.4	軸	1	
無	168.9×80.1	軸	1	軸裏：「徳川氏十六将図」
無	188.2×79.1	軸	1	軸裏：「橘姓牧家系図」
白文方印	201.1×74.5	軸	1	軸裏：「谷文晁山水」
朱文円印（錦嶺）	165.6×48.6	軸	1	錦嶺（笠井錦嶺カ）筆
無	178.0×39.0	軸	1	
無	176.5×41.5	軸	1	
無	109.0×36.2	軸	1	
無	209.7×48.2	軸	1	
無	160.5×41.2	軸	1	
無	31.4×336.0	卷子	1	
無	165.5×64.7	軸	1	
無	207.7×76.1	軸	1	
有	199.1×75.1	軸	1	
無	204.6×72.9	軸	1	
朱文方印／白文方印／朱文円印	206.7×48.6	軸	1	
朱文長方印(浩然之氣楽樵漁)／朱文円印(謙山)／白文方印	209.1×49.8	軸	1	
朱文方印／白文方印（平山省齋）／朱文方印	184.2×50.4	軸	1	軸裏：「平山大教正書」「旧徳川氏若年寄」
無	186.2×52.9	軸	1	軸裏：「茨城県知事人見寧書」
無	212.1×47.5	軸	1	
朱文印／朱文方印(張文海印)／白文方印(伯川書庫長寿)	208.9×48.0	軸	1	
朱文方印／白文方印	176.9×46.0	軸	1	軸裏：「王鄭章書」
白文方印	181.4×47.2	軸	1	
朱文長方印／白文方印（山内晋印）／朱文方印(希逸氏)	188.9×44.2	軸	1	軸裏：「香雪書」
白文方印／朱文方印	199.6×49.5	軸	1	落款部分に「庚辰仲秋」との年記あり
無	163.7×44.1	軸	1	
無	146.9×55.0	軸	1	
朱文長方印／朱文方印／白文方印	189.5×44.0	軸	1	
朱文方印	210.3×48.0	軸	1	

資料番号	年代	表題	落款
A-74		摩利支天之像	無
A-75		書(名号)	無
A-76		書	有
A-77		五言絶句	有
A-78		書	正三位子爵源重之書
A-79		拓本	無
A-80		書(心清聞妙香)	常静仁書
A-81		書	有
A-82		「忠孝」拓本	岳飛並題
A-83		杜甫「丹青引贈曹將軍霸」	富松鶴雄
A-84		七言絶句	三溪
A-85		拓本	無
A-86		李白「春夜宴桃李園序」	常静仁書
A-87		書	有
A-88		書	晃堂書
A-89		拓本(河内観心寺)	浪華篠崎彌撰并書
A-90		拓本(弘道館記)	藤田彪謹書

## B 武器・武具

資料番号	年代	表題	落款
B-1		薄紫糸威二枚胴具足	
B-2		黒漆塗陣笠	
B-3		黒漆塗鏡	
B-4		黒漆塗紋散野弁当	
B-5		袖	
B-6		采配	
B-7		腰当	
B-8		黒漆塗軍配	
B-9-1		脇差(鞘)	
B-9-2		脇差(刀身)	
B-9-3		脇差(小柄小刀 筭)	
B-10		脇差	
B-11		火繩銃	井川与三兵衛喜久作
B-12		金扇	
B-13		黄麻地星宿模様陣羽織	
B-14		母衣串	
B-15		旗指物	
B-16		矢	

印	法量(全体)	形態	数量	備考
無	87.0×30.3	軸	1	
無	90.0×27.2	軸	1	軸裏:「結城妙国寺住職日英書 牧氏蔵」
朱文方印	138.2×37.7	軸	1	
朱文方印/白文方印	181.8×48.4	軸	1	印に「小笠原勝修」とある
朱文方印/白文方印	34.5×131.8	捲り	1	
無	198.3×72.5	軸	1	
朱文方印/白文方印	208.4×67.4	軸	1	
朱文方印/白文方印	180.2×68.3	軸	1	軸裏:「豊城夫人書」
方印	189.3×68.9	軸	1	軸裏に印あり
朱文方印/白文方印	186.6×69.9	軸	1	[盛唐]杜甫撰/富松鶴雄筆
朱文方印/白文方印(三溪居士)	181.5×76.5	軸	1	原富太郎(三溪)筆カ 軸裏:「菊池三溪翁之書 牧氏蔵」
無	193.4×72.7	軸	1	拓本の落款に「筒井政憲書」とあり
朱文方印/白文方印	202.8×80.3	軸	1	
朱文方印/白文方印(藤原高□)	189.7×81.8	軸	1	軸裏:「山岡鉄舟書」
白文円印	84.7×66.5	軸	1	軸裏:「晃堂書」
無	209.4×74.0	軸	1	
方印	207.8×74.6	軸	1	

印	法量(cm)	形態	数量	備考
	鉢高:17.4 / 胴高:47.0		1	
	径:44.8		1	牧家紋付/房付
	総高:26.0 / 総長:29.5 / 幅:14.0		一双	
	幅:18.6 / 高:9.7 / 奥行:9.2		1	牧家紋付/中2段
	総長:30.5 / 幅:23.0		一双	
	総長:46.6 / 径:10.3		1	黒漆塗箱入り
	長:25.5		1	
	総長:50.5 / 幅:27.2		1	
	総長(拵):50.4		1	鐔に「文久二壬戌歳仲夏 島一成鐔之」とあり
	刃長:33.8 / 反り:0.6		1	
	小柄長:9.7 / 小刀総長:21.0 / 筭長:20.0		2	桐箱入り/小柄銘:「安親」
	総長:76.1 / 刃長:33.9 / 反り:0.5		1	千段巻蒔絵
	銃身長:70.9 / 口径:1.8		1	
	橋長:27.2×44.0		1	袋付
	身丈:90.0		1	
	本体長:20.8 / 幅:34.0		1	原則開封不可
	長:45.8 / 53.0		2	一部のみ
	長:87.5		3	竹製漆塗

資料番号	年代	表題	落款
B-17		柄	
B-18		(不明)	
B-19		揚弓	
B-20		鞭	
B-21		鞭カ	
B-22		四方竹の弓の弓幹の一部	
B-23		(不明)	
B-24		(不明木片)	
B-25		釣竿	
B-26		鹿角前立	
B-27-1		鎌先(袋やり)	
B-27-2		鎌先(袋やり)	
B-27-3		鎌先(袋やり)	
B-28-1		鎌鞘	
B-28-2		鎌鞘	
B-29-1		鎌	
B-29-2		鎌	
B-29-3		鎌	
B-30-1		馬印(三面家紋)	
B-30-2		馬印(笠留)	
B-30-3		馬印(幡連)	
B-31		砲弾鋳型	
B-32		大砲弾込部	

印	法量 (cm)	形態	数量	備考
	総長：26.5		1	目貫金具：「二股槍」と「なぎなた」
	長：55.0		1	木刀のようなもの／ひも付
	長：49.5／19.0／10.6／10.6		1	現状4点
	長：45.2		1	一部のみ
	長：63.0		1	
	長：4.1／幅：2.5／厚：1.8		1	
	長：58.0		1	先端部分に鉄部分あり
	長：24.7／幅：1.2 長：2.1／幅：1.5		2	円形のものの一部
	長：60.7～52.0		8	2本カ／袋付
	長：60.0		2	
	刃長：18.5		1	目釘2／逆輪1付
	刃長：20.4		1	
	刃長：21.2		1	
	長：20.0		1	立鼓形
	長：26.8		1	笠形
	長：267.0		1	柄：木地上部 青貝(微塵) 螺鈿
	長：301.0		1	
	長：320.0		1	
	高：33.0／径：30.0		1	木地／紙貼／彩色
	径：9.0		1	木地金箔押
	総長：32.2～33.4／ 幅：4.7～5.2		5	革製塗漆／金箔押／銀箔押
	幅：11.0／奥行：9.7／高：7.0		1	銘：「二百目」「伊藤朋右衛門清定作」 ／附属文書：「坂本先生打控之写」
	本体 径：8.0／高：6.7 分銅 径：3.4／高：4.8		2	牧家紋付／分銅あり

### C 装束

資料番号	年代	表題	落款
C-1		子供用袴(目結小紋)	
C-2		子供用袴(浅葱地紗)	
C-3		袴(浅葱地小紋)	
C-4		藍染麻肩衣	
C-5		袴(浅葱地縞)	
C-6		袴	
C-7		袴(浅葱地鮫小紋)	
C-8		袴(浅葱地小紋)	
C-9		紅地牡丹模様金襴紙入	
C-10		藍木綿紙入	
C-11		紅地宝尽模様錦袋	
C-12		袴	
C-13		大礼服一式	

印	法量 (cm)	形態	数量	備考
	身丈：40.2／袴丈59.5		各1	牧家紋付
	身丈：65.5／袴丈88.5		各1	牧家紋付
	身丈：68.5／袴丈：93.0		各1	牧家紋付
	身丈：68.0		1	牧家紋付(肩衣のみ)
	身丈：65.0／袴丈：84.0		1	牧家紋付(腰板に「牧」と墨書の押紙あり)
	身丈：68.0		各1	牧家紋付(肩衣のみ)
	身丈：63.0／袴丈：154.5		各1	三つ葉竜胆紋付
	身丈：66.0／袴丈：99.5		各1	三つ葉竜胆紋付
	18.2×9.0		1	
	17.0×8.2		1	鏡付
	27.3×19.5		1	
			1	
			1	

D その他

資料番号	年代	表題	落款
D-1	明治20年10月	リードル英語双六	
D-2	明治24年1月3日	東京朝日新聞第1126号（明治24年1月3日）付録（扇を持つ女官の図）	
D-3	明治25年11月	文明遊名誉双六	
D-4	明治39年	牧一小学校教員免許	
D-5	大正元年	牧一イリノイ州立大学卒業証書	
D-6	昭和32年	写真絵皿	
D-7		文箱	
D-8		瓢箪製酒器（徳利）	
D-9		源氏付札	
D-10		双六コマ	
D-11		賽筒	
D-12		鍵	
D-13		感状	
D-14		（白）	
D-15		（霊山嶮山…）	志賀重郎
D-16		Illinois Alumni News（イリノイ大学新聞）	
D-17		萩野流鉄砲免状	
D-18		縞柄藍染木綿袋	

印	法量（cm）	形態	数量	備考
	82.5×46.0	双六	1	画工兼出版人：児玉又七
	50.2×33.8		1	
	72.2×51.0	双六	1	著者兼出版人：鹿兒島縣士族岩下方直／出版人：東京府平民早矢仕民治
			1	額入り
			1	額入り
	径：26.0		1	牧一大礼服姿／昭和32年卒業記念の贈り物
	30.3×40.3×8.0		1	蓋の一部朱漆塗「若狭守」
	徳利：8.0×23.0／杯：7.5×14.5		2	
			台紙1／札60	源氏物語54帖＋伊勢物語
	径：2.5×高：1.0		白14／黒12	
	径：3.4×高：9.5		1	
			1	
		卷子	1	
		卷子	1	なか何もなし
	29.4×70.5	額装	1	裏打ち有／牧正寛君
	43.3×29.2	新聞	2	
		箱	1	箱のみ
	32.8×16.5		1	ひも付



## 解 説

### [はじめに]

本目録は、昭和63年（1988）に刊行された『常陸国下館藩家老牧家文書目録』（学習院大学史料館編）に、新たに寄贈された資料を追加して再編集したものである。なお、昭和63年刊行の目録については、現在在庫はなく、今回再編するにあたっては資料番号や資料名の記載方法を全て変えている。

牧家資料は、昭和57年（1982）10月に本学の卒業生である江島昭氏、柴谷末雄氏から、本学経済学部の教授であった島野卓爾先生（1928～2004）の斡旋で当館に寄贈されたことに始まる。昭和63年刊行の目録では、最初の寄贈資料1391点のみが収録されていたが、その後、牧家第14代・章氏、15代・宣彰氏より直接資料の寄贈を受け、総点数が2,561点となったことで、今回改めて本目録を刊行することになった次第である。なお、牧家には第10代・正供の弟、正栄が別家して興った上牧家があり、昭和63年に目録を刊行後、平成4年（1992）に下館市教育委員会（現：筑西市）から、上牧家の所蔵する文書の目録『常陸国下館藩上牧家文書目録』が刊行されている。

### [牧家について]

牧家は、常陸国下館藩石川家（二万石）の城代家老を務めていた家である。始祖・元亮は、はじめ摂津国上牧村におり、薬師寺と称していた。後に富松と改姓し、尼崎の富松城に住んでいたと伝えられる。細川晴元（1514～1563）に仕え、晴元が三好長慶（1522～1564）と戦った際には軍功を上げたという。元亮には五男一女があり、三男の元重（正賢）が現在の牧家の初代にあたる。牧家の記録によれば、永禄11年（1568）の織田信長入洛の際、直々にその時の在所の名で「牧」と呼ばれたことで、富松から牧へと姓を改めたという。更に、信長より出陣の際の褒美として「一」の字を賜ったとされている。現在の牧家の家紋が「藤丸に一之字」「三ツ頭左巴」であるのは、この逸話が元となっている。

正賢は天正年中（1573～1591）、堀尾帯刀吉晴（1543～1611）に扶持米七百俵で召し出された。吉晴が浜松城主になるのは天正18年（1590）の小田原征伐後であるが、正賢はそれ以前から浜松に住み、活動していたようである。その後、出雲松江藩主となった堀尾家に従い、慶長6年（1601）に松江に移り住む。島根大学附属図書館蔵「堀尾期松江城下町絵図」によれば、城近くに確かに「牧志摩」<sup>1</sup>の家があったことが確認出来る【挿図1】。また、松江市和多見町にある日蓮宗慈雲寺の境内には、牧志摩（第3代・景正）の墓碑として建立された宝篋印塔がある<sup>2</sup>。松江時代の牧家は、堀尾家の家老として知行二千石程であった。

ところが、4代・正景の時に堀尾家が没落し、正景は浪人となり上牧に5年ほど戻った。そして、寛永15年（1638）に、美濃大垣藩第3代藩主・石川主殿頭忠総（1582～1651）に百人扶持にて召し出され、のち、知行五百石を賜った。5代・正虎の時には更に五百石加増し、千石取の家老となる。

享保17年（1732）、7代・正実の時に主君の石川総茂（1671～1733）が下館藩主になったことで、牧家も下館に移り住むこととなる。明治維新後も石川家に仕え続けるが、12代・正寛の時に石川家の当主・総管（1841～1899）が、明治4年（1871）に知事職を辞して東京に移住したため、正寛も石川家の家老を辞することとなった。正寛はその後、明治12年（1879）に茨城師範学校を卒業し、下館の地にて教育者として活躍した。下館女子尋常高等小学校で長年校長を務め<sup>3</sup>、大正8年（1919）に病死するまで、下館の初等教育に多大な貢献をしたことで知られている。その功勞を称える「牧先生彰徳碑」<sup>4</sup>が、現在も筑西市立下館小学校の敷地内に建てられている【挿図2】。

13代・牧一は正寛の長男で、栃木中学校を卒業後、官立の中等学校男子教員養成機関であった広島高等師範学校へ進み、本科英語部を卒業した。その後はアメリカのイリノイ州立大学、コロンビア大学などへ留学し、帰国後は広島高等師範学校、東京商科大学（現：一橋大学）などで教鞭を取った。



【挿図1】「堀尾期松江城下町絵図」部分  
島根大学附属図書館蔵 ※太枠は筆者による



【挿図2】「牧先生彰徳碑」

（柳澤 恵理子）

## 注

- 1 「志摩」は牧家第2代の正昆から使用している代々の名乗り。
- 2 松江石造物研究会「来待石製大型石塔調査（補遺）－松江・洞光寺宝篋印塔、牧志摩宝篋印塔－」『来待ストーン研究9』（平成21年10月）
- 3 『下館小学校創立百年史』（下館小学校創立百周年記念誌編集委員会、昭和48年）によれば、大正元年頃は男子校と女子校に分かれており、男子校の校長が三好太郎氏、女子校の校長が牧正寛であったという。
- 4 大正2年（1913）設置

## 〔牧家文書の特徴〕（古文書類総点数2,401点）

先述のとおり牧家は、代々下館藩石川家の城代家老を務めた。そのため牧家史料群は、藩政にかかわる記録が多い（A下館藩827点）。すでに昭和63年刊行の『常陸国下館藩家老牧家文書目録』において長佐古美奈子氏が、同史料群の中でも特筆すべき古文書を提示されており、本目録作成にあたって参考にした。

### ・藩政、家臣団にかかわる史料（A-a、b）

藩政にかかわる史料は、下館入封以前の伊勢神戸時代のものからあり、下館入封以降のものと同様、下館藩政、石川家政を知るうえで重要なものである。年代未詳ながら当館蔵史料群の中に分限帳や家中席順表などの史料がある。

### ・幕末、維新期の動勢に関する史料（A-a）（M）

明治維新の動乱の中、9代藩主総管は官軍側につくか、旧幕府軍側につくか態度を決せず、どちらつかずの状態を続けていた。両軍からの度重なる誘いに進退きわまり、総管は牧志摩（正道）らの主だった家臣のみを連れ、水戸へ逃れてしまう<sup>1</sup>。この水戸逗留中の日記【口絵1】、御用留、並びにこの時期の世情を伝える書状等の史料がある。維新期の情勢を解明するうえで興味深い史料といえる。

### ・下館藩財政にかかわる史料（A-c）

下館藩も他藩と同様、藩財政が破綻に瀕し天保飢饉後には借金が三万両にのぼっていた。下館藩ではその打開策として尊徳仕法を導入している。仕法の経緯、効果等については、すでに林玲子「下館藩における尊徳仕法の背景」（『茨城県史研究』第六号、1966年）に詳しく、ほかに竹中端子「天保改革の片鱗」（『お茶の水史学』第四号、1961年）、濱田佳代子「下館藩御用達商人の分析—中村兵左衛門家の場合—」（『学習院大学史料館紀要』創刊号、1983年）があるが、牧家文書は藩側の史料として注目されよう。

### ・藩主と家老との儀礼を示す史料（A-d）

年賀、暑中、寒中などの時候の挨拶に対する藩主からの答礼、家督相続、出産、任官の際の祝いに対する答礼などの書簡が多く残されている。また親戚筋にあたる亀山石川家、大久保家からの答礼もあり、家老としての儀礼のあり方が推察される。

### ・明治期の藩主と家老の関係を示す史料

明治維新後、藩は解体するが、実体としては依然藩主と家老の関係は続いていたとみられる。子爵石川家の家扶は元藩士の高橋、大日方が務めており、牧家は直接家政を担当していたわけで

はないが、元家老としてのかかわりをかなり残していたと考えられる。

その他にも次のような史料がある。

・系図・親類書（B）

・冠婚葬祭（C）

・炮術・武術（D）

・家計（E）

・養蚕（F）

・日記（G）

・書簡（H）

・教育関係（I）

・学芸・宗教（J）

・東京帝国大学史料編纂掛（K）

・書籍（L）

・その他（M）

炮術・武術（D）には、令和初の学習院大学史料館秋季企画展「武具ゾクゾク！—学習院大学史料館コレクション—」展にて展示した「刀剣授法」（資料番号 D-92-1）を含め、泰平の世における武士の「武」に対するあり方を伝える貴重な史料がみられる。江戸時代は、武士としての身分・権威を象徴する刀剣を授受することが、主従関係の確認、権威の付与、恩賞の授与など重要な局面において行われてきた。本史料は奥書から京都小笠原流の流れを汲む小笠原備前守秀清が記した「七十余巻之内」の伝書である。播州赤松家中の衣笠左衛門大夫、高田石見守を経て、慶長17年（1612）5月、祐文なる人物から牧氏へ伝わった。刀剣授受の七つの場面について、渡し手と受け手の間に置かれた刀剣と添え物の図が描かれている<sup>2</sup>。

東京帝国大学史料編纂掛にかかわる書類は8点（K）あり、いずれも昭和2年（1927）に大日本史料編纂のため、牧家所蔵（現当館蔵）の「正親町天皇綸旨写」<sup>3</sup>【口絵5】を史料編纂掛が借覧・影写した際のものである。なお、東京大学史料編纂所蔵『牧文書』（東京大学史料編纂所図書目録3071、31-26）は、この時に作成されたものである。

このほかに、東京大学史料編纂所には、

原蔵牧婦童 影印明治19年（1886）『石川忠総大坂陣覚書』（東京大学史料編纂所図書目録2040、5-178）

文部省維新史料編纂事務局移管本中に

原蔵牧正寛、影印大正4年（1915）『下館藩家老牧正道来翰留自元治元年八月至同年十二月二日』二冊（原題、筑波山出張中自筆留、常州中根村筑波山出張中来状留、II 212-4、5）

がある。

さらに平成に入ってから、代々の当主より数回に分けて史料の寄贈を受けた。古文書やモノ資



料など様々あるが、新規史料の中で特筆すべきは「牧一史料」群である。

#### ・「牧一史料」

同史料群は辞令類が多い。教育関係の辞令が多く、東京商科大学（現一橋大学）教授などを長年務めた氏の業績を克明に知ることができる。教育者としての業績が評価され、昭和41年(1966)4月29日、佐藤栄作内閣総理大臣より銀杯が贈られた。その折には、知人より多くの祝電が送られ、氏の交友関係の広さがうかがい知れる。

### [牧家モノ資料の特色]（モノ資料総点数160点）

- A. 書・絵画
- B. 武器・武具
- C. 装束
- D. その他

モノ資料で特筆すべきものは以下のとおりである。

#### ・「薄紫糸威二枚胴具足」【口絵10】

本具足の解説は、すでに柳澤恵理子氏により詳細な紹介がされているため<sup>4</sup>、本稿では具足全体からみえる分析結果を少々加えたい。

本具足は、三物のうち兜と胴、そして面具、籠手、脛当の小具足から成る。袖や佩楯はない。三枚張りの頭形兜は鉄地に黒漆塗である。前立に銅地鍍金の日輪形が使用され、額部の眉庇上には鉄黒漆塗のパネ付き角元が見え、後方にも二股の角元がみえる。首周りを守る韃は、鉄小札頭切付札七段下りの日根野形である。七段のうち五段までは黒漆塗で、下二段が金箔押である。また上三段は薄紫糸威、下三段は萌黄糸威、耳糸・畦目は萌黄糸、菱縫は赤糸一段である。胴は左脇に蝶番を設けた薄紫糸威の二枚胴であり、前立拳三段、後立拳四段、衝胴五段からなり、鉄碁石頭切付札を革包黒漆塗として薄紫糸で素懸に威しつける<sup>5</sup>。

具足の制作年を特定するのは難しい。特定には使用歴をみる。修理痕や他の制作年の確かな具足と比較し推定していくが、見た目からの判断だけではなかなか推定し難いところがある。たとえば兜に注目すると、韃の下二段に金箔押がみえる。この兜と胴の調和からすると違和感のある趣向は、注文主の一種のおしゃれであったのか。それとも修理痕なのかは定かでない。もしくは兜と胴がもとは別物であった可能性もある。

現在は威糸が色褪せてしまったが、制作当初は鮮やかな薄紫色の具足であったのだろう。なぜ「薄紫」色なのかは裏付ける史料的な根拠がなく不明であるが、牧家の家紋が「藤丸に一之字」であることを考慮すると、藤色から取られている可能性も考え得る。

#### ・「母衣串」

「母衣串」は、母衣という絹布を膨らませた状態に保つため中に入れる串である。母衣は中世前期に騎馬戦が主流だった時代、背後からくる矢や石の攻撃を防ぐ役割を果たした。武者の背につけた母衣は、馬が走ると空気が入り膨らむ。やがて歩兵戦へといくさの形態が変化すると、室町末期までには籠に布をかぶせたような形になる。この頃から精鋭の武士や特別な地位や役職に就く者が、主人の許可を得て母衣を使用する風潮が起き、制度化した例がある<sup>6</sup>。このような実用性や特別性のある「母衣（串）」だけに現存数は極めて少ない。牧家伝来の「薄紫糸威二枚胴具足」の背には、指物を入れる合当理と待受がみえることから、旗指物と合わせて母衣串が使用された可能性もある。

#### ・「黒漆塗紋散野弁当」

木地で黒漆塗の本作は、牧家の二種の家紋（「藤丸に一之字」「三ツ頭左巴紋」）を蒔絵で施す。カーブのきいた三日月型は、腰に巻くのを想定した作りなのだろう。

#### ・「黒漆塗軍配」

木地で黒漆塗の本作は、両面に金蒔絵で円を描き、星や時など吉凶を判じる図をみせる。柄の金具は銅地に菊唐草文が施される。

#### ・「火縄銃」

銃身に「井川与三兵衛喜久作」という摂州の鍛冶銘が刻まれていることから、江戸時代に堺で铸造されたことがわかる。重さは約9kgあり、種子島火縄銃のように両手で持ち照準を定める射撃法ではなく、おそらくは土囊などの上に置き照準を定めたのだろう。

#### ・「陣羽織」

陣羽織は当世具足の上に着用した。表地は染めた麻を基調とし、裏は白無地である。打ち返した襟裏には紺地龍文金襴、肩章には錦を用いている。背中には剣先星（破軍星）を配し、それを背にしていくさに挑むことで戦勝を祈念した。

#### ・「百鬼夜行絵巻」【口絵11】

「百鬼夜行絵巻」は、動物や古道具などをモチーフにした妖怪たちを描いた絵巻物で、国内外にいくつか現存している。室町期に制作された〈真珠庵本〉が著名であるが、ほとんどの作例は江戸時代以降のもので、その系統も複数に分類される。「牧家旧蔵本」は、江戸時代に写されたものと思われ、いわゆる〈真珠庵本〉系統の作例であるが、妖怪たちの図像配列は必ずしも〈真珠庵本〉と一致しない<sup>7</sup>。

## ・「柿本人麿図」【口絵9】

土佐光芳（1700~72）の署名がある本作は、江戸後期の作とみられ絹本着色である。「人麿図」は、鎌倉後期頃（14世紀初頭）までには、歌会の場に掛けるのが一般化し、歌人たちの上達を一身に受け止める存在となった。歌人にとって「人麿図」は、歌会を行なう際の必需品であり、自分が歌人であることを証明する機能も果たした。そのため、「人麿図」は数多く制作されたのである<sup>8</sup>。牧家資料には和歌関係史料も多数伝わることから、本作は時の当主が歌会を催した際に掛けられたものと推察する。

昭和63年の目録刊行時点で当館所蔵の牧家資料は、近世下館藩の行政にかかわるものが中心であった。その後寄贈を受け現在は、古文書類では近代牧氏の教育的活動の史料が充実し、モノ資料では具足や母衣串をはじめ武家に伝わる武具・工芸品、そして書・絵画など文化的活動を知り得る史料が豊富になった。

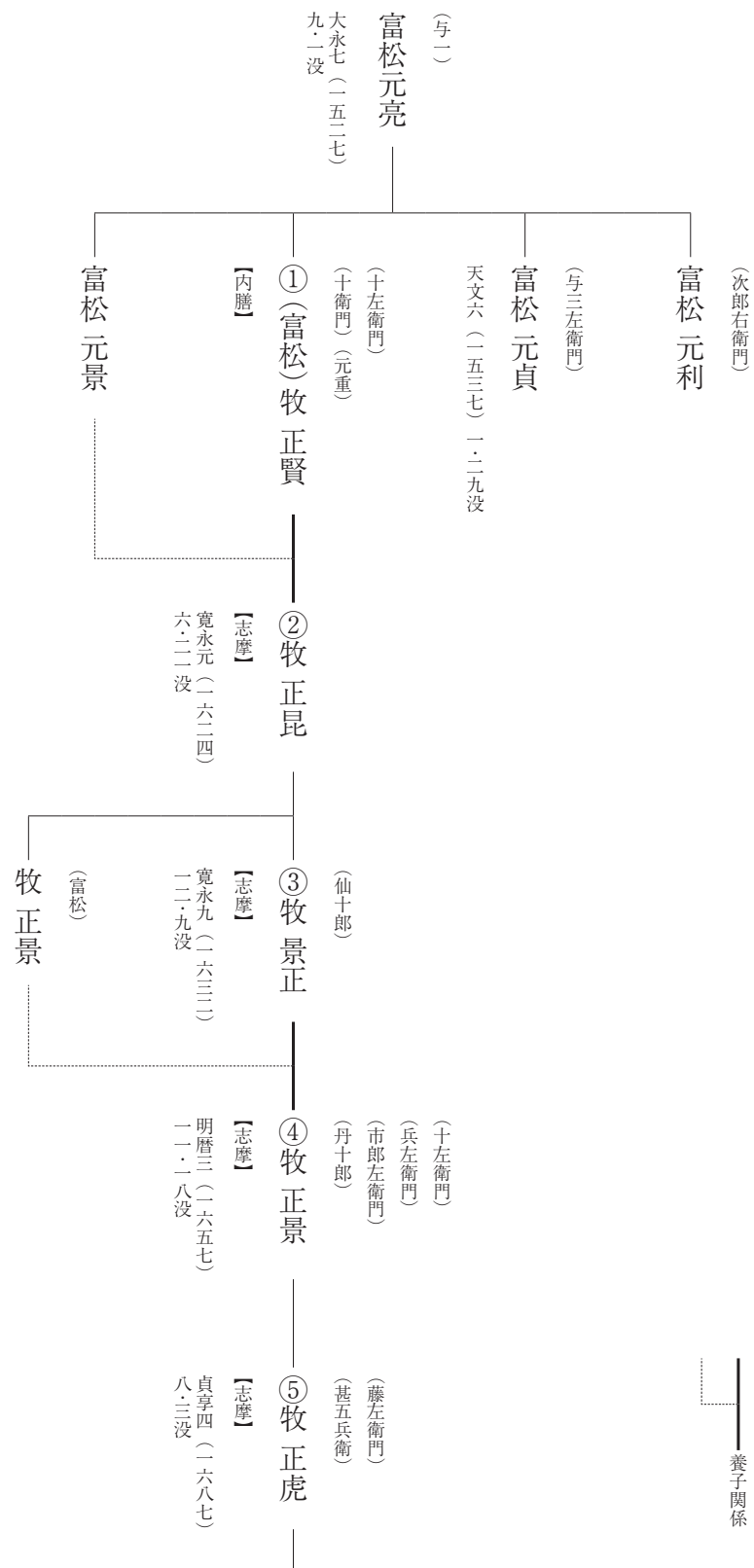
（小口 康仁）

## 注

- 1 下館市史編纂委員会編『下館市史』（下巻）大和学芸図書、1968年。
- 2 学習院大学史料館編「ミュージアム・レター」（No.41）2019年、田中潤解説「刀剣受授法」参照。
- 3 拙稿「[史料紹介] 常陸国下館藩城代家老牧家に伝わる史資料―書状・甲冑・絵画『牧家資料目録』刊行を受けて―」『学習院大学史料館紀要』（第26号）、学習院大学史料館、2020年。
- 4 柳澤恵理子「常陸国下館藩家老牧家伝来の武具について」『学習院大学史料館紀要』（第25号）学習院大学史料館、2019年。
- 5 前掲註4、柳澤論文。学習院大学史料館編「ミュージアム・レター」（No.41）2019年、小口康仁解説「薄紫糸威二枚胴具足」参照。
- 6 藤本正行『鎧をまとう人びと』吉川弘文館、2000年。
- 7 柳澤恵理子「[史料紹介] 常陸国下館藩家老牧家旧蔵の「百鬼夜行絵巻」について」『学習院大学史料館紀要』第26号、2020年。
- 8 佐々木孝浩「描かれた歌聖・人麿」出光美術館編『歌仙の饗宴』2006年。



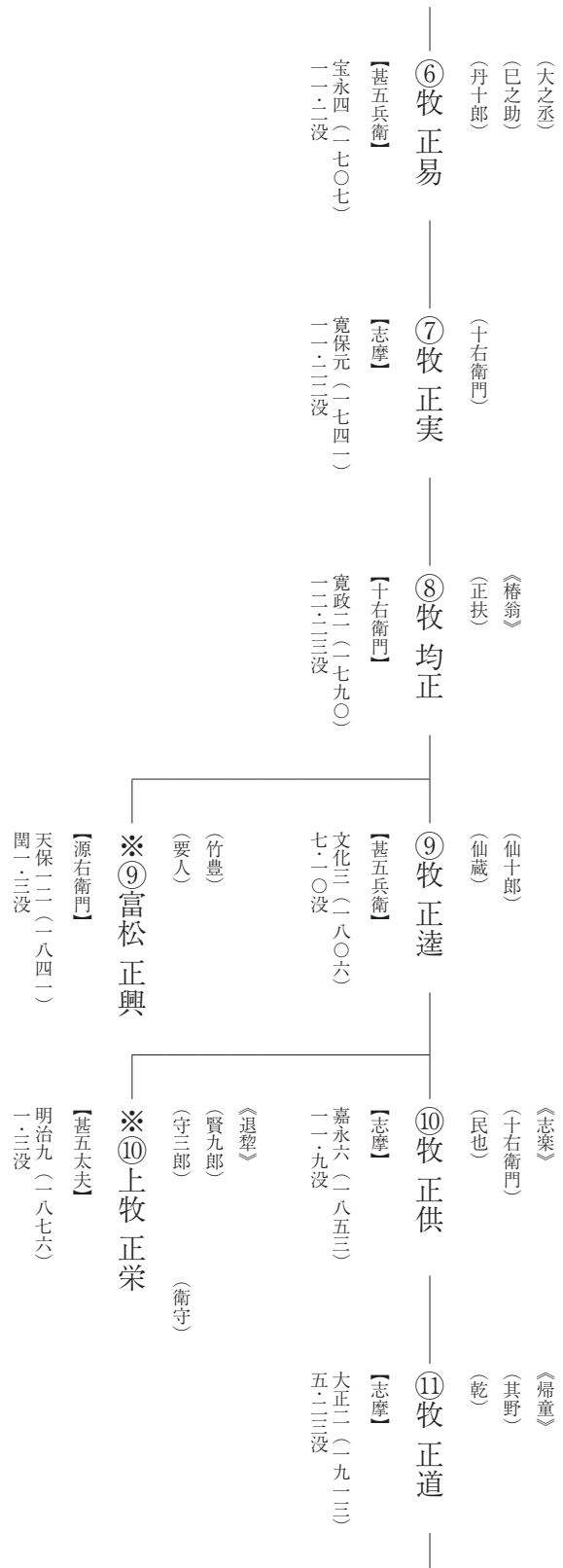
# 牧家家系図



( ) : 幼名  
 [ ] : 名乗り、官名  
 < > : 隠居名  
 …… : 養子関係

※⑨…寛政12年(1800)に兄・正達の家督を継ぐも、享和元年(1801)に家督を返し、石川家より150石を賜り別家して富松を名乗る。

※⑩…天保6年(1835)に兄・正供の家督を継ぐも、天保13年(1842)、正供再勤により家督を返し、新知130石を賜り別家して上牧を名乗る。



(仙十郎)  
(仙太郎)

⑫ 牧正寛

大正八(一九一九)  
一・二二没

⑬ 牧一

昭和四六(一九七一)  
四・三三没

⑭ 牧章

平成一四(二〇二二)  
七・二二没

⑮ 牧宣彰

昭和四七(一九七二)  
二・二六生

牧洪彰

平成二〇(二〇〇八)  
五・三一生

牧官彰

平成二三(二〇一一)  
一・二七生

---

学習院大学史料館所蔵史料目録 第23号  
常陸国下館藩家老牧家資料目録

令和2年(2020)3月31日発行

発行者 学習院大学史料館

代表者 水野 謙

東京都豊島区目白1-5-1 〒171-8588  
(電話) 03-5992-1173 〈内線〉6569

---